

<平成27年度修士論文（静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科）>

現代中国における校外音楽教育の研究

—長春市少年宮と顓順琵琶学校を中心として—

A Study on the Off-Campus Music Education in Modern China: Focusing on the Children's Palace in Changchun City and Xian Shun Pipa School

刘 斯佳 Sijia LIU

（論文指導：静岡文化芸術大学准教授 奥中康人）

目次

論文要旨：.....	1
序章.....	2
第一章 中国における学校音楽教育.....	5
第二章 中国の社会音楽教育施設—少年宮.....	10
第三章 中国の民間音楽教育—顓順琵琶学校の音楽教育.....	18
第四章 中国の社会音楽考級試験から見る校外音楽教育.....	24
第五章 結論.....	32
参考文献：.....	38
図表、写真.....	41
添付資料Ⅰ：.....	55
添付資料Ⅱ：.....	62

論文要旨：

21世紀、中国は経済発展に伴い、生活における衣食住などの物質的な満足から、音楽など精神的世界の豊かさを享受しようと努力している。中国の音楽教育は学校音楽教育と校外音楽教育に分けられ、さらに、校外音楽教育は社会音楽教育と民間音楽教育に分けられている。近年、学校音楽教育と比べ、校外音楽教育の方が盛んになっている。これまで学校音楽教育については研究が進められてきたが、校外の音楽教育、特に民間音楽教育については、あまり研究されてこなかった。

本研究では、まず第一章で学校音楽教育の歴史を新中国建立前、新中国建立後、改革開放以後から現代の順で説明した。また、学校音楽教育の現状を分析し、現在の学校音楽教育の問題点を明らかにした。第二章では、社会音楽教育として少年宮を取り上げ、少年宮の歴史・背景などを調査した上で、特に「長春市少年宮」を取り上げた。近年長春市少年宮の問題に関する記事が多くなり、現在学生が減り、衰退してきた事実を述べた。第三章では民間音楽教育のマンツーマン音楽教育と一種類の楽器の専門学校—顕順琵琶学校を取り上げて、現状と問題点を分析した。また、第四章で現在の中国の音楽教育において、重要な制度として認識されている社会音楽考級試験について分析した。音楽考級試験はどのようなものなのかを本論文で明らかにした。

校外音楽教育の目的はミュージシャンを養成することではなく、音楽を普及させ、子供の精神的糧を増し、心身健康な子供を養成することである。音楽上達の成果の追求ではなく、校外音楽教育を普及させ、子供は心から、生活を愛し、音楽を愛し、さらに一生音楽を伴い、生活の質を向上させることが目的である。学校音楽教育、社会音楽教育、民間音楽教育の間には、競争ではなく、お互いに支え、長所を持って短所を補足する考えが必要である。

キーワード：校外音楽教育 少年宮 顕順琵琶学校 考級

Abstract:

The music education in modern China is constructed not only in schools, but in social facilities and private institutions. In recent years, the music education that has been taught outside of schools is emphasized more than the one in schools. Until now, however, a lot of research topics were on the music education in schools and there was little research about the off-campus music education in China.

I tried to clarify the actual situations and problems of the music education in modern China to focus on this music education; especially through the research about the Children's Palace (as music education in social facilities) and Xian Shun Pipa School (as music education in private institutions.) At that time, I analyzed the Music Grade Examination system which is implemented outside of schools and I illustrated how the system works.

The three educations of school, social facilities and private institutions should support each others instead of competing.

Key words: Off-Campus Music Education Children's Palace Xian Shun Pipa School
Grade Examination

序章

まず、本論文の研究背景や問題意識、研究方法、先行研究などについて述べておきたい。

清の末期、中国における近代音楽教育は、「学堂楽歌」運動として始まった。「学堂楽歌」とは清末民初に新式学校で開設された音楽科で教えられていた歌曲である。さらに、新中国建立前の1919年になると、封建教育が批判され、「健全人格の養成、共和精神の発展」を提唱する「五四運動」によって中国新民主主義が始まり、「美育の普及」が推奨された。しかし、新中国建立後（1949～1977）になると、「文化大革命」の10年（1966～1977）で、教育事業の発展は破壊され、もちろん音楽教育も前に進まない状況に入った。改革開放以降から現代

（1978年以降）では現在中国の小中学校¹音楽教育は約一週間に2回（毎回40分）行われている。基本的には五線譜を習い、教師が電子オルガンを弾いて、合唱する。中学にも、音楽の授業はあるが、受験科目の授業に変える学校が多く、音楽教育は有名無実となっている。しかしながら、現代中国の音楽教育は学校だけではなく、社会教育や民間教育など、学校外でも行われていて、重要である。

1949年に、新中国政府が成立した後、共産党中央委員会は、教育について「新中国政府は、子供の利益から考え、なるべく子供たちのために、良好な物質条件、精神的糧を提供しなければならない」と呼びかけた。その後、学校教育の発展に従って、学校以外の社会教育施設も徐々に設立されてきた。学校外の社会教育には、児童公園、児童劇場、児童・少年図書館、少年科学技術センターなどのいろいろな児童活動の施設がある。

それらの教育施設の中でも、「少年宮」は最も重要な学校外の社会教育施設として認められている。1987年までに、中国国内では少年宮、児童活動センターなど8000箇所余り設立され、これに伴って、音楽教育のコ

ースが少年宮の重要な構成部分として、増設が進められてきた。

民間音楽教育は、1979年の「一人っ子政策」と近年の経済発展の影響で、親族が一人の子供に最も優れた教育をさせたいという思いから、優秀な先生を探してレッスンを受けさせる風潮によって徐々に規模が増大してきた。

また、近年注目されているのは、2006年に琵琶演奏家の周頤順が全国で初めての民間の琵琶専門学校²「頤順琵琶学校」（吉林省辽源市福镇大路2号）を創設したことである。つまり、先生のところで個人レッスンを受ける形から、民間の音楽専門学校へ通う形が出て来たのである。

このように、中国では学校外の音楽教育のほうが学校音楽教育より盛んになっている。だが、これまで中国では、学校音楽教育については研究が進められてきたが、学校外の音楽教育については、あまり研究されてこなかった。したがって、筆者は学校外の音楽教育（社会音楽教育と民間音楽教育）について、特に少年宮と頤順琵琶学校を手掛かりとして、現代中国における学校外の音楽教育の実態と問題点を明らかにしたい、その際に、考級試験にも焦点を当てたいと考えている。

前述したが、中国の音楽教育は学校だけではなく、校外に社会音楽教育と民間音楽教育もあり、学校音楽教育より盛んである。校外音楽教育を代表する施設として、「少年宮」（社会音楽教育機構）と、近年注目されている中国で初めての琵琶専門学校「頤順琵琶学校」（民間音楽教育機構）を取り上げ、分析していきたいと考える。当然のことながら、全国に多数ある少年宮をすべて調査することはできないが、筆者は子供の頃、長春市の少年宮に通ったことがあり、現在少年宮の関係者を紹介してくれた親戚がいるので、他の少年宮よりも、調査が容易であった。また、中国ではまだこうした調査に対してオープンではなく、情報公開も進ん

¹ 現在、中国では9年義務教育である。つまり、小学校6年間、中学校3年間。最近では、小学校5年間、中学校4年間の所もある。

² 中国には、琵琶以外の民間音楽専門学校と呼ばれている学校は今のところはないと思われる。

でないために、複数の少年宮を調査することが困難であり、全国の数ある少年宮から長春市少年宮を取り上げた。

本研究では、文献調査、実地調査とインタビュー調査等を研究手法の中心とした。文献調査では、まず、学校音楽教育の歴史、問題点を明らかにするため、文献を収集分析し、また少年宮について日本と中国で出版された文献や学術雑誌、関連ウェブサイトから全般的な資料を収集し、先行研究を整理した。そして、民間音楽教育についての文献が少ないので、実地調査とインタビュー調査を行った。実地調査では、中国吉林省に赴き、長春市少年宮、遼源市にある頤順琵琶学校を訪ねて、現在の状況を確認した。インタビュー調査では、小学校「長春市長鉄実験小学」の児童と保護者を対象とし、現在の学校の音楽教育の事情を調査する。また、社会音楽教育について、吉林省長春市にある少年宮の関係者を対象としてインタビューをする。そして、頤順琵琶学校の関係者、筆者が教わった楽器の先生たち(張雪莉、李×)、一緒に楽器を習った同級生(張春)を対象として、民間音楽教育のことについて聞き取り調査を行う。

中国の学校音楽教育に関する先行研究には、高崢³が『近代中国における音楽思想の成立—留日知識人と日本の唱歌』という著書を刊行しており、清末における近代学校制度の導入及び音楽教育に対する位置づけについて述べている。その中で、政府官僚らはなぜ音楽の教育について積極的に実践しなかったのかについて論じた。客観的な要因としては、音楽教育を実施するための教材、教員及び教育環境など、当時としては極めて不足していた。また、主観的な要因については、学校の教科設定に大きく左右された。当時音楽授業については随意科目になっていたからである(高 2010)。清末における学校音楽教育の事情が明らかになり、清の時代から学校音楽教育の位置も重要ではなかったこ

とが分かった。

孫悦涓は「中国学校音楽教育の歴史、現状及び発展の形勢」の中で、中国改革開放以来、特に 20 世紀末に 2 回の教育改革—『全国芸術教育の全体の企画』、『基礎教育の課程改革の綱要』—があつて、全面的に中国の素質教育を前進させたことを明らかにしている。この 2 回の教育改革は、現代中国の学校音楽教育の発展に新たな理念を与えた(孫 2006a)(孫 2006b)(孫 2006c)。

徐巧玲は「中国学校音楽教育の発展及び専門学校の音楽教育の問題」の中で、まず学校音楽教育の歴史を述べ、そして 80 年代以来、中国は小中学校の音楽教育の研究著作を沢山出版したことを紹介している。このことからこの時期の中国は学校音楽教育を重視していたと理解できる。だが、昔から中国の教育は試験のためということがあつて、学校音楽教育の発展が困難である。いろいろな問題を解決しないと、中国の学校音楽教育は前に進まない状況に入る(徐 2009)。

このような先行研究から、学校音楽教育についての研究は豊富に存在するが、校外音楽教育には触れていない。また、学校音楽教育は現実にはうまく機能してこなかったこともうかがえる。

少年宮に関する先行研究には、許德馨が『少年宮教育史』の中で、少年宮という社会施設の歴史や発展などを述べた。新中国成立初期、共産党や政府は児童・少年の教育を重視し始めた。現代化建設の目的を達成させるために、専門的な人材が必要なので、児童・少年の科学技術、文学、芸術、体育などの各方面への興味と特性を伸ばし、国家の経済と社会の発展に必要な人材を養成したいと考え、少年宮の誕生と発展の基礎を作った。この文献は少年宮の歴史・発展について参考になる。だが、現在の少年宮の事情(衰退してきたことなど)については全く触れていない。

錢初熹は、論文「中国の少年宮における美術教育の歴史と展望」の中で、中国少年宮の児童・少年の絵画教育の状況、問題点及びこれからの展望などについて論じた。中国の普通小学校では、児童・少年に絵画に

³ 高崢：北京師範大学外国語学院日本語専攻コースで卒業後、日本慶応義塾大学の入学し、2007 年に教育学の博士を取得した。

関する広い知識を与えることをめぐって教育内容が設定されている。また、小学校の美術教科書は、国家教育委員会が公布した「美術教育大綱」に規定した各学年の内容によって編纂されたものである。授業の内容は、教科書によって限定された範囲で行われる。授業はほとんど教室内で行われる。学校以外の教育組織としての少年宮では、中国国家教育部が制定する「美術教育大綱」がなく、教師は自主的に教材を開発しつつある。従って、授業の内容は大変自由で、豊富である(錢 1993)。錢の論文は少年宮の音楽教育については述べていないが、美術と音楽は隣接する芸術科目なので、参考になる点が多いと考えられる。

『中国文化刊』の記者、褚曉亮・李瞧、李大川などは、現在の少年宮の状況を述べた。近年の新聞や雑誌には、少年宮の問題を指摘する記事が多く見られる。そうした記事から、少年宮の実態を知ることができた。

考級試験に関する先行研究としては、張力元は「中国社会音楽考級 20 余年の発展の道(上、中、下)」の中で、音楽考級の 20 余年の発展史を述べた(張 2010)。しかし、中国音楽考級の歴史や発展などは参考になるが、現在の中国音楽考級の問題点、そして、音楽考級が社会音楽教育にどんな影響を与えたのかなどについて触れていない。

陳越は「学校音楽教育と社会音楽教育の比較—中小学校の授業と芸術考級試験の教学からの視点」の文章の中で、学校音楽教育と社会音楽教育がお互いに補足していると指摘した(陳 2014)。

楊海龍は「瀋陽市におけるピアノの民間音楽教育の現状調査と研究」の中で、社会音楽教育の普及の影響で、学校の音楽教育の単一である状況を解決したと述べている(楊 2012)。

多くの先行研究には、中国の音楽教育は学校音楽教育と社会音楽教育しかないと書いてある。民間音楽教育については音楽教育の一部でありながら先行研究は見受けられなかった。

民間音楽教育についての先行研究はあまりにも少な

いので、インタビューや実地調査をする。だが、「顓頊琵琶学校」の創立者周顓頊のことに関する記事があった(趙 2012a)、(趙 2012b)。

第一章 中国における学校音楽教育

1-1 中国の音楽教育

中国の政治、経済の時代区分では、1840 年のアヘン戦争を近代の幕開けとし、1949 年の中華人民共和国の成立から、それ以後を現代と規定されている。しかし、中国の教育史の時代区分では、清末の科举制度廃止と新しい学校制度の導入を境目として、古代教育と近代教育に区分されている（王 2004：18 頁）。中国において近代学校制度が本格的に導入されるのは、1904 年 1 月「奏定学堂章程」⁴（図 1：41 頁）の公布に端を発する。「この章程のもと、近代学校を全国に設立し、普及するための施策が相次いで打ち出されるにつれて、伝統的科举制度の廃止及び学校を頂点とする近代的教育行政制度の確立を一本柱とする近代学校教育体制が確立されつつあったのである」（高 2010：2 頁）。

「奏定学堂章程」の中の初等小学堂における科目構成では、必修科目と随意科目に分けられている。必修科目は中国語、算数、歴史、地理などである。随意科目では、絵画、手工と楽歌の 3 科目が設置された。この時は、音楽の授業があるが、随意科目の中にあり、選択してもしなくても良い位置であった。19 世紀の清末では、音楽という教育は学堂の科目から切り離されることがあった。しかし、「学堂楽歌」運動によって、中国近代学校受講科目の中に音楽が本格的に取り入れられた。「学堂楽歌」とは清末民初に新式学校で開設された音楽科で教えられていた歌曲である。この「学堂楽歌」運動によって、中国の音楽教育史は新たな幕が開き、中国近現代音楽教育発展の重要な標識となった（高 2003：36 頁）。

「維新変法」⁵運動の影響で、代表的なブルジョアジ

一主義者の康有為⁶、梁启超⁷は、日本を見習い、西洋文明を学び、各種の文化教育施設を設立することを提唱した。1898 年、資産階級改良派は新式の学堂に「楽歌」の授業を設けるように提言し、音楽を通して新思想を普及しようという目的があった。当時「楽歌」の内容は、資産階級の知識人が欧米の科学文明を習いたいという願望の反映、または「富国強兵」や「救国、生存をはかる」などの民主主義と愛国主義の政治要求を実現することであった。1907 年、清政府は「奏定学堂章程」のもと、「奏定女子小学堂章程」及び「奏定女子師範堂章程」を發布し、音楽教育を正式に学制公文書に入れた。1909 年に「学部奏請変通初等小学堂章程折」を公布し、初等小学堂は「楽歌」の授業を増設すると規定し、音楽の授業は全国の小中学堂で正式に実施された。

「学堂楽歌」の歌の多くは欧米あるいは日本の既存の旋律を選択して、中国の社会新思想を反映できる中国語の歌詞をつけて作られた替え歌で、こうした手法を「依声填词」⁸と呼んでいた。「学堂楽歌」は中国の伝統的な歌曲と違って、新たな様式であり、新式学堂の音楽授業で、小中学生に教えられた。「学堂楽歌」は当時社会文化生活の新たな気風になっていた。沢山の帰国留学生が歌を創作し、大量な楽歌の歌曲を作った。例えば、潘心工⁹は『学習唱歌集』、『国民唱歌集』などの楽歌曲を出版し続けた。これらの楽歌の作品は中国近代音楽教育の形成や発展に大きな影響を与えた。

1-2 中国の学校音楽教育の歴史

以下の部分では、（丁 2006）、（徐 2009）、（姚 2011）、

⁴ 「奏定学堂章程」は張之洞（1837 年－1909 年、軍機大臣）、栄慶（1859－1917 年、管学大臣）、張百熙（1847－1907、教育家）の 3 人で作った。

⁵ 「維新変法」とは、1898 年 9 月 21 日に康有為、梁启超から政治上の改良主義運動を起こした。西洋のことを学ぼうと提唱し、科学文化、政治の改革、教育制度などを改良する政治運動である。

⁶ 康有為（1858 年 3 月 19 日－1927 年 3 月 31 日）原名祖诒、広東省南海県蘇村人、中国政治家、思想家、教育家。

⁷ 梁启超（1873. 02. 23－1929. 01. 19）清朝の举人（科举試験の郷試に合格した人）、中国近代思想家、政治家、教育家、史学家、文学家。

⁸ 既存の音楽旋律に歌詞をつけること。

⁹ 潘心工（1870－1947）：音楽教育家。上海市で生まれた。潘心工は中国留学生を集まり、「音楽講習会」を作った。そして、わざわざ日本音楽家を先生として招聘し、中国楽歌の創作についての問題点を研究した。近代音楽講習活動を行う創始者。

(孫 2006a)、(孫 2006b)、(孫 2006c)を参照し、筆者が翻訳、中国における学校音楽教育の歴史を時代順にまとめる。

1-2-1 新中国建立前 (1919～1948)

新中国建立前の音楽教育発展史の中で、「学堂楽歌」の他にもう一つの重要な事件は美育観念を創造したことである。1919年、封建教育を攻撃して、「健全人格の養成、共和精神の発展」を提唱した「五四運動」によって、中国新民主主義が始まった。この時期、北京大学の学長—蔡元培が「五育¹⁰併重」、「美育の普及」を推奨した。彼は「宗教の代わり美育を学ぶ」と「人生のための芸術」を作り出し、当時多くの音楽家と音楽教育家が音楽実践活動を行う時の着眼点になっていた。1919年、蔡元培は学校で「美感教育」を重視する必要があると提言し、その後、日本の文部省にあたる教育部がこの法令に基づいて、学校教育に関する一連の章程が發布された。そして、その中に、学校音楽教育を明確に規定した。音楽教育は学校教育の中で一つ重要な構成部分という地位に確立された(馬 1999:28頁)。

1919年に学校音楽教育についての一連の章程を發布した後、1923年には『課程設置綱要』を發布した。綱要の内容には、小学校の学制は6年で、中学校の学制は3年で、9年の間に「音楽授業」が設置されていて、さらに「楽歌科」から「音楽科」の名前に変更した。音楽教育の内容も唱歌に加え、さらに楽譜を読む、楽理を習う、音楽の鑑賞が授業に取り入れられた。この内容は音楽教育の基礎となり70年代末まで続いた。そして、中国の学校音楽教育が規範発展の段階に入った。

1-2-2 新中国建立後 (1949～1977)

「文化大革命」の10年(1966～1976)で、学校教育事業の発展が破壊され、とりわけ音楽教育に深く損害を与えた。この時期、国家から發布されたすべての教

育政策、規定及び各種の教育理論の著作、教材、講義の中から、「美育」¹¹の痕跡は、消されてしまった。そして、この時期は多くの音楽教師が批判され攻撃され、転業する人が多くなった。今まで形成した音楽教学体系がすべて崩されて、学校で使われた歌曲は多く批判され、学校の音楽教師も迫害をこうむって、他の科目を教えるのか、或いは学校を辞めるのかの2つの選択しかなかった。学校音楽教育の存在は亡くなった。

この時期は学校音楽教育がほぼ停滞していたが、社会音楽教育が70年代初期に盛んに興った。一部の保護者達が一芸に秀でる子供に育てたく、楽器を買い、音楽教師を雇い、楽器を演奏する基礎技能と楽理知識を子供に学ばせていた。このことで、「文化大革命」の後、国家の音楽人材を作り、音楽教育の復興に基盤を作った。

1-2-3 改革開放以後から現代 (1978年以降)

「文化大革命」が終わり、改革開放で中国の状態が一新され、中国の学校音楽教育も発展の時期に入った。中国共産党の十一届三中全会を招集して、中国の美育は全面の教育の中で不可欠であると再び強調した。学校音楽教育は学校教育の中の重要地位と役割が人々に正しく認識されて、学校音楽教育の実践は徐々に学校教育の中で軌道に乗った。特に改革開放以来、中国共産党中央国務院から「全国教育事業会議」を三回招集して、音楽教育の地位は学校教育の中で少しずつ向上して行った。

1985年5月に、中国共産党中央国務院が改革開放以来の「第一回全国教育事業会議」を招集した。会議には美育音楽教育についての具体的な問題への言及がなかった。しかし、音楽教育は教育事業の中の一部であり、音楽教育の運命は教育事業の運命としっかりと結び付いている。「第一回全国教育事業会議」は美育と音楽教育については具体的に言及しなかったが、巨視的

¹⁰ 五育：軍国民主義教育、実力主義教育、市民道德教育、世界観教育及び美感教育

¹¹ 学生に美の鑑賞と美を創造する教育(音楽教育、絵画教育など)

教育体制の改革及び教育思想を大解放し、美育と音楽教育は学校が全面的に発展する教育の中で地位が徐々に回復することが期待できる。

1986年4月に、国务院副総理と教育委員会責任者を兼ねて李鵬は教育に関して『中華人民共和国義務教育法（草案）』の中で、「小中学校教育の中で、徳、体、美全面的発展の方針を貫徹し、音楽、美術、体育などの科目の教育をもっと重視するべきだ」と言明した。ここで、30年を掛けて、党と政府が改めて美育と音楽教育を重視し始め、音楽教育が学校教育の中に戻った。

この時期、国家教育委員会は人民音楽出版社に頼って、『中国音楽教育』という雑誌を作り始めた。そして、音楽教育の対外開放の政策で、中国はアメリカ、ドイツ、フランス、イタリア、オーストラリア、日本、など音楽教育について発達している国家と音楽教育の国際交流をした。

1989年『教育改革を深化し、全面推進する素養教育の決定』によって、根本から学校音楽教育の重要地位を確立した。

1986年から1992年までは新中国音楽教育の発展が初めての春と仮定すると、1993年は中国学校音楽教育の発展のもう一つの春に入ったと言える。1993年2月に、中共中央国务院から『中国教育改革と発展の綱要』を公布された。『綱要』の第35条に、「美育は学生健康的審美観念と審美能力を育成するし、全面的に発展する人材を育成する重要な役割がある。美育が教育教学の中での作用を発揮し、それぞれの学校の事情によって、様々な美育活動を開こう」と公布した。この『綱要』から見ると、中央国务院が初めて教育法規文書の中で、美育は学校教育の中での地位と作用を綱要の一条を作った。この重要な措置はその後の中国音楽教育を迅速に発展するため、音楽教育の新局面を論理的、政策的な保障を提供した。

1997年から、教育委員会は『芸術教育の仕事条例』を制定し始めた。音楽教師の素養を高めるため、全国小中学校音楽教師に基本的な知識と技能を勝負するコ

ンクールを開き、全国音楽教育論文の評議活動などを開催した。党と国家が音楽教育に対する認識を新たにしている。音楽教育は学校教育の中での地位がますます向上されてきている。

2001年『中小学音楽課程標準』、『中国九年義務教育全日制中、小学音楽教学要綱』（修訂稿）によって、中国の学校音楽教育は改革の実質段階に入った（表1:41頁）。

学校音楽教育は国民音楽素養の標識である。現代文明社会の中で、一つの国家、一つのまちの生活と文化水準を評価する時に、ただ国民の平均収入、あるいは全国人口の大学生が占める比率などをみるだけではない。音楽生活は国民素養、人民生活質量を評価できる重要な標識である。しかし、専門的な音楽団体の水準が全国人民の音楽の水準と一致するものではない。交響楽を聞く共感者と聴衆が存在することは水準の高い交響楽団を造るより難しい。質の高い国民音楽教育がないと、多くの音楽の共感者と聴衆も存在しないのである。国民の音楽素養は最も本質的に国民普通学校音楽教育の規模と質などの方面から表す。

1-3 学校音楽教育の現状と分析

1-3-1 学校音楽教育の現状

現在中国の小中学校音楽教育は約一週間に2回（毎回40分）行われる。基本的には五線譜を習い、教師が電子オルガンを弾いて、合唱する。ちなみに、筆者は小学校の時によくプラスチックの笛も習った（写真1:42頁）。中学にも、音楽の授業はあるが、受験科目¹²の授業に変える学校が多く、音楽教育は有名無実となっていると、董少校（記者）は2011年10月01日『中国教育新聞』第2版で報告している（後述）。

近年、中国の学校関係者は陰陽課程表（阴阳课表）という言葉に注目している。陰陽課程表とは、一部の学

¹² 「受験科目」国語、数学、英語、歴史、地理、物理、化学。

校では全国教育新政策¹³の形勢の下で表に教育主管部門実施素質教育の「負担を軽減する5項厳しい規定」¹⁴の検査¹⁵に対処しながら、目の前の高校入学試験のため、進学率を追求したいという現実に対応するという矛盾の産物の意である。

陰陽課程表は、ある学校では面従腹背で裏表のあるやり方をし、正常である教育教学過程の中で、2つの課程表を作っている。一つは教育部門の検査の為作ったもの、一つは実際に学生に使用されている事実の課程表である。

現在、高校入試、大学の入試の影響で、大半の学校は学生に副科¹⁶を逃すため八方手を尽くしている。教育主管部門は明文がある規定の中で、美術、体育、音楽などの科目は必要であると規定している。だが、一部の小中学校は、「副科」はあってもなくてもよい科目という位置で、副科の授業から試験科目の授業に変更されることが多い。

学生の成績の為、補習を受ける或いは副科を受験科目に変えることについて、先生たちの態度を示している(図2:42頁)。この表は2015年9月29日に中国教育新聞記事に載せられた。この表から、学生の成績のことを考え、補習を受ける或いは音楽などの副科を受験科目に変えることについては大半の先生、校長を含んで、賛成しないが、反対もしていない(黙認)ことが解る。

『中国教育新聞』の記者が保護者と小学校の先生に話を聞いたインタビュー記事が掲載されている(2010

年10月1日)。初めに保護者からの話を聞くと、小学校3年生の子供は音楽などの副科の教材はいつも新しい感じがする(未使用な感じ)。保護者会の時、担当の先生からは、私たちは学生の成績を考え、音楽などの授業を控えめしているとはっきり言われ、理解するようにと保護者たちに伝えられる。不満な保護者もいるが、子供のため、黙認せざるを得なかった。また、1人の小学校の先生から話を聞いた。毎年教育部から各学校の成績の良さをチェックされている。また、毎年、各学校の期末試験の成績も比較されている。そして、しょうがなく、副科の授業を受験科目の授業に変え、良い成績を取るようになっている。

また、筆者は、実験小学校5人の小学5年生¹⁷とその保護者たちから話を聞いた。彼達の話を見ると、毎週の音楽、体育の授業は、クラス担当の先生がいつも「副科」の先生に、今日は数学、国語の授業をする予定で、先生は休んで良いと伝える。しかし、実際は、子供たちは一週間1回の音楽授業を期待している。音楽の知識も習えるし、気分転換の作用もあると思うし、毎日ひたすらに国語、外国語、数学ばかりで、頭が痛くなると苦情を言っていた。保護者達は5人中の3人は学校の行動を賛成し、競争激しい社会の中で、子供の成績が良くなかったら、有名な学校に進学できなくなり、将来も見えなくなってくるという態度である。有名な学校に進学することは最も重要であることを示している。残りの2人は、学生を心配し、可哀想と考えている。子供の精神生活がそのうちに崩れてしまい、病気になる恐れがあると言った。

広い中国の中には、音楽教育が盛んな学校もあるかもしれないが、受験は全国的なブームであることを考えると、多くの学校で音楽教育が熱心に実施されているとは考えにくい。それゆえ、有名無実になっていると判断してもよいだろう。学校音楽教育の問題に対して、教育部門、学校、先生、保護者、全員が反省する

¹³ 例えば、困窮生に支援するや、幼稚園の教育を重視するなどの政策。

¹⁴ 「負担を軽減する5項厳しい規定」(2000年)とは、①学校のレベルが高いかどうかは進学率で決めることにはいけない。②義務教育の段階では、試験を免除し、付近の学校に入学させる。③学校は課程表の科目を随意に増減することは駄目。④学課以外の様々な活動を行うこと⑤学生の休み時間を補習すること、試験の成績で列を作ることなどは禁止。(職業技術2004:16頁)

¹⁵ 各学校へ行き、学校の課程表をチェックする。例えば、課程表の中、音楽、体育等の授業があるのか、学校で勉強する学生に負担をかけているのかを検査している。

¹⁶ 「副科」とは思想品德、体育、美術、音楽などを指す。

¹⁷ 2015年8月24日午後5時頃(授業が終わる時)、長春市の実験小学校の付近で、5人の小学生(各のクラス)と保護者に話を聞いた。

必要があると筆者は考える(後述)。

1-3-2 学校音楽教育現状の分析

曹理¹⁸という人物は、以下のようなことを述べている。学校教育は6歳から18歳まで、この時期人間は最も知識を受け入れやすい、理解しやすい時期である。学校音楽教育は青少年の審美素養と人文素養を養成すると同時に、青少年の人生目標を迫ることについても率いていけるし、人の精神世界を励んでいくことができる。音楽教育は人間に深層的な影響があり、他の科目が代替できない科目である。学校音楽教育の目的は、中国の学生の民族民間音楽の継承者を創り、演技者を創るだけでなく、鑑賞者と音楽の創造者を創ることである。学校音楽教育は中華民族の復興使命を実現する責任を担っている。新世紀、我々は学校音楽教育の基本認識では、経済と社会の発展と共に、人々の文化精神生活の追求もだんだん向上されている。政府は社会に優れた音楽教育を提供して、人民の音楽を享受し、芸術教育を享受する権利を満足させることが必要である。音楽教育は一つの国家の社会文明レベルの顕著的な標識である(曹 1993)。

このようなことを主張する人物もいるが、現状は残酷で、理想なものと違っていると筆者は考える。前述したが、2000年に政府は「負担軽減に関する厳しい5項の規定」を發布した。学校は課程表の科目を随意に増減すること、成績を重視し過ぎではいけないと規定したが、学校は守っていないようだ。

また、中国の「应试教育」(試験の為の教育)という古い考え方の問題もある。学校の教育に限らないが、中国音楽考级試験も同じ問題がある(第四章で述べる)。中国の子供は幼稚園から小学校の教科書を学んでいる。有名な小学校に入学するため、数学、国語を猛勉強す

るしかない。学校では受験科目の勉強は勉強というが、音楽などの副科の勉強は遊びという。

¹⁸ 曹理は1936年8月生まれ、出身は河北省武清市。「音楽の教育」について20冊以上出版している。例えば、『快樂音楽世界』(『楽しい音楽の世界』)、『中国音楽能力目標与培養』(『中学の音楽能力の目標と育成』)など。1959年、1960年、1983年、1989年、1993年、北京市の先進的な人物の称号、北京市教学成果獎などをもらった。1996年、国家国务院から「政府特別手当」を享受している。

第二章 中国の社会音楽教育施設—少年宮

2-1 少年宮の歴史と発展

2-1-1 少年宮とは

日本で言うなら、「児童館」のようなものである(佐藤 1973:136 頁)。「少年宮」は、子供の校外教育施設である。政府が創り、資金を支援、教師も国家の公務員として少年宮に勤務している。中国の各市、各区に 1 館ずつ設置されている。

1949 年に、新中国政府は子供の事を考え、なるべく良好な物質的条件、精神的糧を提供しなければならないと考え、校外の教育施設を徐々に増加させた。前述したように、校外の教育には、児童公園、児童劇所、少年の家などの施設がある。その中でも、「少年宮」は最も重要な校外施設として認められている。そして、当時効率よく運営していたソ連の「ピオネール」宮殿に範をとって、「少年宮」と呼ぶ公立の校外教育機構を設立した(銭 1996:325 頁)。ちなみに、少年宮以外に、少年の家や中国福利会少年宮、などのいろいろな名前の施設もあるが、当時、少年宮の教育機構を創る時に、社会、経済などの影響で、名称を様々使っていた。例えば、「少年宮」と「少年の家」の区別は機構の規模等の差異である。「少年宮」は基本的に省の首府にあり、ある程度施設の規模も大きく、人員や設備なども整備している児童少年校外教育の機構である。逆に、「少年の家」という名前の施設は機構の規模が小さく、設備もあまり完備出来ていない状況である(許 2002)。経済発展と共に、規模など小さな機構の所が拡大して、現在「少年宮」という名前の施設が最も多いのである。

『少年宮教育史』(許 2002)などの文献の中で、ピオネール宮殿の説明にはない。ウィキペディア¹⁹によるとピオネール宮殿(英文:Pioneers Palace)はソ連全土

の各地で作られた子供たちの課外活動用の施設である。学習、運動、音楽などさまざまな活動に盛んに利用された。現在、その多くは「子供の宮殿」などの名称に変っているか、活動を停止している。当時社会主義国の多くでも同様な施設が作られ、中国では「少年宮」と呼ばれていて、現在も活発に利用されているということである。

北京師範大学の顧明遠²⁰は少年宮の教育目的とは「豊富、多様な教育性、趣味性、実践性を有する活動を通して、児童・少年に思想、道德教育を行い、そして、子供たちの科学技術、文学、芸術、体育などの各方面への興味と特性を伸ばし、国家の経済と社会の発展に必要な人材を育成する」と述べている(銭 1996:326 頁)(顧 1990:227 頁)。

少年宮の設置形態は、基本的に国営であるがその所管関係は多様である。国家教育委員会—省・市・区教育委員会所管(長春、北京、天津)と共産主義青年団、婦女連合会などで所管(大連、ハルビン、西安、南京、上海)に大別されるが、ほかに政府文化部所管などがあるという(渡部 1992:44 頁)

少年宮という施設の中では、①「科学技術活動コース」—パソコンの利用、生物、数学の研究、飛行機や船の模型を作るなど、②「文学・芸術活動コース」—外国語、朗読、スピーチ、書道、撮影、楽器、唱歌、舞踏、水泳、ゲームなど、③「体育活動コース」—卓球、体操、武術などを行っている。また、施設の中に、図書館、映画館、室外の体育館なども設置されている。残りの場所は教師や、関係者の事務所となっている。

少年宮の対象は 6~15 歳である。つまり、小中学校の子供たちである。現在はあまり厳しい規定がなく、15 歳を超える学習者もいる。

少年宮の中では、技能を持っている専門家と教育管理員がいる。前者は兼職(非常勤)の教員が多く、後者は主に専任教員である。

¹⁹ ウィキペディアの「ピオネール宮殿」のページ
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%94%E3%82%AA%E3%83%8D%E3%83%BC%E3%83%AB%E5%AE%AE%E6%AE%BF> 最終閲覧日:2015 年 12 月 17 日 22 時

²⁰ 顧明遠:1929 年 10 月生れ、出身は江蘇省。北京師範大学教育管理學院院長、北京師範大学大学院院長。北京師範大学教授、博士の指導教員、學術委员会主任。中国共産党黨員。

2-1-2 少年宮の歴史及び発展

許德馨は『少年宮教育史』の中で、少年宮の50年の歴史を6つの時期に区分した。これに基づき、さらに(秦1994)、(許2002)、(白2004)、(楊・趙2009)を参考にしながら、簡単にその歴史を振り返っておく。

①少年宮教育の初期(1949年10月—1956年8月)

1953年、6月1日²¹、新中国初めての少年宮と命名した校外教育機構—中国福利会少年宮は、宋慶齡女史²²が自ら上海市延安西路64号に創った。1954年に、毛沢東自ら「少年宮」の宮名を揮毫し、扁額を掛けた。これによって、校外教育の発展は保障された。その後、1955年6月1日に、重慶市中山2路202号に二つ目の少年宮が創られた。1956年元旦、北京市少年宮も正式に設立された。

少年宮の早期には、前述したように、社会・経済の影響で、小さな規模の「少年の家」という機構も多くあり、建国初期の中国の少年宮教育機構の重要な形式の一つであった。例えば、当時有名だったのは、1952年10月25日に創立された北京市少年の家である。当時北京市の副市長は「今日は首都で初めての「少年の家」を創ったが、これからは2館、3館、10数館になって行くように期待している」と述べた。そして、1956年の元旦、北京市少年の家は景山公園の場所に移り、北京市少年宮が創立された。新中国少年宮の最初の形態は児童文化館から、少年の家、少年宮に発展した。名称が違うが、教育の形や内容は基本的に同じである。

当時、少年宮の教育の主要な内容は4つあった。まず、思想政治教育活動を行うこと。つまり、愛国主義、国粋主義などの内容である。「愛国心、愛市民、愛労働、愛科学」などの思想を子供に身に付けさせたか

った。思想政治教育を普及するため、様々な活動が行われるようになった。例えば、当時の北京市福利会少年宮は中国の英雄—黄継光と対面会を行ったなど。また、科学技術を普及する活動を行うことであった。科学技術に興味ある子供を揃え、生物、化学などの基礎知識を勉強させた上で、各科学技術の活動を行った。そして、読書の活動を行うことである。子供たちに優良な児童少年刊行物を読ませ、本の中で子供を教育するのである。さらに、文化芸術、体育、ゲームなどの活動を行うこと。この活動は少年宮の教育の中で最も重要である。当時、少年宮は児童少年の考えを尊重していた。子供の時遊びたかったら遊べ、音楽に興味があったら、習えという考え方であった。

だが、少年宮教育の初期の段階で、様々な困難や問題があった。例えば、少年宮の管理組織には規範がないこと。初期の少年宮は基本的に各地の教育局が管理すると同時に、人、物、金の提供もしていた。統一の規定がないため、各地の状況によって、おのおのの管理方式を運用していた。また、経費が足りないことも問題であった。ハルピンを例にすると、1955年、ハルピン市少年宮の経費予算は74700元(約150万円)であるが、教育局は実際に40000元(80万円)しか支援できなかった。そして、当時、ソ連の校外教育を学んだ一方、中国は自分自身の思想や行動が束縛された。

②少年宮教育の発展期(1956年9月—1966年4月)

1956年以後、政府は校外教育の場所が足りないと気付いた。全国の少年宮は5館、少年の家26か所、児童図書館4館、児童クラブ12館²³しかなかった。当時5000万人の児童少年の需要と比べると、まったく足りないのである。そして、1957年1月18日、政府が『児童少年の校外生活問題の報告について』の中で、児童少年の校外生活は貧しく、近年以来、解決できない大きな

²¹ 毎年6月1日は中国の子供の日となっている。その日は子供全員休み。

²² 宋慶齡女史(1893年1月27日～1981年5月29日享年90歳)は孫文の未亡人であり、1949年に中華人民共和国政府の副主席であった。

²³ 児童図書館や少年宮、少年の家等の名前が沢山あるが、機能は一緒である。機構の規模の大きさや、活動の重点が違うだけである。例えば、児童図書館は主に図書館という機能があり、少年宮は、大きな規模で、様々な活動が含んである。

問題であると指摘した。そして、同年 4 月 12 日、『关于少年宫工作的几项规定』（『少年宮の仕事のいくつかの規定』）を發布した。規定は要約すると、ソ連の校外教育の経験を参考にすると、中国の少年宮の実情に合わせる必要があるという内容である。その後、政府は少年宮に人、物、金を沢山投入するようになった。この規定は初めての校外教育に関する法規性をもつ公文書だったので、少年宮の教育の発展はさらに明確な方向に進むようになった。そして、少年宮の教育は社会から注目され、政府や国家リーダーが徐々に重視するようになった。『北京日報』や『中国青年報』、『山西日報』などの新聞に少年宮—児童少年の校外教育の良さを報告する記事が多くなり、そして、市民からもますます注目されるようになった。

少年宮と少年の家を改築し、さらに新たな少年宮が建てられるようになった。1956 年から 1965 年まで、全国の少年宮、少年の家は 170 余箇所に増加した。香港、台湾、マカオ以外の全国各地に広がった。各地の少年宮、少年の家は各々の特徴が出てきた。例えば、広西チワン族自治区は 1956 年に少年の家を創り、不便、貧しい環境の中で、節約の方法を考えた。幼児少年の家を創る 3000 元は、広西チワン族自治区の児童少年と一緒に落ち穂を拾うイベントを行い、4.5 万キログラムの穂で少年宮を創った。

少年宮の初期と発展には各地に少年宮の芸術団が多く作られるようになった。政府の方針政策を宣伝するなどの芸術演目を各地の会社や、学校、部隊などへ出演するようになった。子供の芸術素養を向上させるため、例えば、広州市少年宮は合唱団—「小さなカモメ」を創り、100 余名の子供がいた。中国福利会少年宮の芸術団—「小さな仲間」の中、舞踏、民族音楽、管弦楽器、ピアノ、バイオリン、合唱など 10 組の出演団を創った。1960 年 1 月 27 日、宋慶齡が舞踏—「毛沢東」を見た後、この舞踏は有意義であり、すばらしいと賞賛した。芸術団—「小さな仲間」は各地に出演し、観客は 1958 年の 9 万人から 1959 年の 12 万人に増加した。

この時期、少年宮は海外との交流活動が必要と政府が提言した。そして、1956 年初めて海外の団体—インドからやってきた団体が、宋慶齡によって上海に創られた中国福利会少年宮を見学した。その後、1957 年 4 月 24 日、ソ連最高ソビエト主席団主席クリメント・ヴォロシーロフ (Kliment Voroshilov)²⁴も中国福利会少年宮へ訪ねるようになった。

③少年宮教育の破壊（1966 年 6 月—1976 年 9 月）

この 10 年（文化大革命期）に、中国教育界は混乱した状況になった。1966 年の夏、中国にプロレタリア大革命が突然発生した。当時、四人組（文化革命で極左路線をとった人物²⁵）は、少年宮は精神的なブルジョア階級の貴族を培養する温床と批判した。そして、少年宮は全面的に否定され、施設も打ち壊され、教育が進まない状況に入った。建国初期、全国の一部の少年宮はもともと現地にある建築物を利用し、その中の建築物には国家級の文化財も入っていたが、破壊にも遭っていた。また、少年宮の場所が占領され、批判会議などの会場となった。さらに、極左思想を持つ組織は、少年宮にある活動の器材や備品、海外の首脳、国際友人から贈られたものもすべて没収した。少年宮の管理も通常規則から背離し、児童少年の心身発展も失われた。例えば、少年宮はもともと子供の年齢、素質などから、初、中、高 3 つに分けられていたが、当時の極左思想は教育制度などを短縮する要求があり、対象に応じて異なった方法で教育を施す考えを止め、全ての子供を同じクラスにさせた。

1972 年、毛沢東の支持で、周恩来²⁶が極左思想を批判し、全国の教育状況を整える必要があると主張した。そして、1975 年、周恩来が重い病気の間、毛沢東は中

²⁴ ソビエト連邦の軍人、政治家、ソ連邦元帥、ソ連国防大臣、国家元首に当たる最高会議幹部会議長を歴任した。ソ連邦英雄

²⁵ 江青、張春橋、王洪文、姚文元の 4 人（極端な左翼の思想の持ち主）

²⁶ 周恩来 (1898～1976 年) 政治家・革命家。建国後、外交部長・総理等を歴任

央の日常の仕事を鄧小平に任せた。そして、鄧小平は「現在の危機は知識が足りないことである」と指摘し、教育部門は教師の低地位の問題を解決し、子供の教育のことを重視する必要があると提言した。そして、少年宮の関係者たちは政府の教育理念を尊重し、少年宮を回復することに随分と工夫をした。そして、少年宮の芸術団体を回復しながら、新たな芸術団体を創り始めた。逆境の中で、人材を育成した。例えば、1974年、長春市少年宮の芸術団体の中の20余名の子供が芸術学院に合格したのである。また、同年10月に北京市少年宮で「北京市児童歌曲の創作コース」を創った。1-2-2でも述べたが、この時期に少年宮の社会音楽教育の基盤が創られた。

④少年宮教育の回復と整備（1976年10月—1982年9月）

政府や国務院が子供のため、校外教育機構を整える必要があると呼び掛けた。そして、少年宮の教育の地位と作用が改めて認められ、政府と社会各分野の人の努力の下で、少年宮、少年の家が返還され、破壊された少年宮も回復された。1982年9月、少年宮の教育は混乱を鎮めて正常に戻った。また、少年宮の教育を回復するため、教師の資格を整えた人たちが必要であった。「文化大革命」の影響で、教師たちの社会地位と経済地位が低くなった。そして、教師の地位を向上させようと考え、1978年4月22日、鄧小平は「教師を尊重し、知識がある労働者を重視する必要がある」と提言した。そして、教師を社会で重要な位置に移し、給料なども増やした。もちろん、少年宮の優秀な教師も増加し、安定した状況に入った。だが、少年宮の回復後、いろいろな問題も存在している。例えば、教師は優秀な子供の教育だけを重視し、全体の人材を育成することが出来なかった。また、教師たちは芸術団体の出演を重視しすぎることがあった。子供の心身状態、気持ちなどを考えずに、ひたすら各地へ赴き多く出演することを考えた。「文化大革命」の10年間の影響で、人々

の思想、考えが攪乱された。そして1979年10月10日から19日まで、中央共青団が北京で会議を行った。少年宮教育の内容とは、改めて少年宮の重要な位置を確定し、校外教育は教育事業の重要な部分であること。子供の知識を増やし、分野を広げ、様々な経験を与える必要があること。また、教育部は校外教育機構を整え、改善させる必要があるとした。

そして、少年宮の問題などが徐々に解決され、少年宮の活動がさらに増加した。例えば、夏、冬休みに、子供を各地に連れて行き、楽しく遊びながら、視野を広げる。また、子供に読書の興味を持たせるため、何万人の読書活動を行った。同じ地域の少年宮が本を収集し、皆で一緒に読書をし、読書後の感想を書くなど。この活動は子供に人気があった。

⑤少年宮教育の全面改革（1982年10月—1992年9月）

数十年を経て、混乱を鎮めて、ようやく少年宮の教育が「文化大革命」の前の状況に戻った。そして改革開放の下で、政府や少年宮の関係者たちには「これから少年宮の発展はどうすれば良いのか」という思いがあった。そして、1985年5月27日、中国共産党は「教育体制の改革の決定について」を發布し、学校教育と校外教育は同じく重要と指摘した。つまり、教育の中で、校外教育の位置が重要になってきた。また、1991年10月8日、『児童少年の校外教育を改良する意見』を發布した。「子供の校外活動は必ず子供の心身の健康を考えて行い、子供の心理状況の規律と符合し、子供の年齢の特徴、理解の能力、趣味に基づいて、教育内容や方法を改善しなければならない」と指摘した。

少年宮の発展と共に、教育者たちの交流、検討をする必要性が出てきた。そして、1984年12月18日から24日まで、浙江省杭州少年宮が校外教育研究検討会を行い、吉林、遼寧、北京、天津、山東、河南、安徽、江蘇、上海、浙江、江西、福建、広東、広西、四川の15個省、直轄市、自治区、合計35名の少年宮の責任者が参加した。交流会で、いくつかのことを取り上げた。

例えば、校外教育を改革するためには、まず管理体制の改革、特に、少年宮の責任者と教師の素質を強化する必要があるなど。そして、少年宮の間で、全国的な校外教育の研究ネットワークを形成した。校外教育を研究しながら、実践している。

⑥少年宮教育の新たな発展期(1992年10月—1999年9月)

1990年代以来、少年宮の規模がますます拡大してきた。例えば、北京市の少年宮は16館、少年の家は45館がある。上海市の少年宮は合計43館で、「文化大革命」の終わる時と比べると、教員は300人から、2000人に激増した。同時に、遼寧省の少年宮は52館もある。現在、省、市、各主要な区は少なくとも1館以上の少年宮が存在している。

1995年5月、国家教育委員会、中央共青团と一緒に『児童少年の校外教育機構の仕事の規程』を發布した。少年宮の規範化、法制化、科学化の基礎を固めた。この規程の中で、再び少年宮の教育の重要性を述べた。また、少年宮の教員の採用、審査、訓練、給料などを詳しく規定した。そして、この規程の中で、経費が足りないため、少年宮の教育を妨害しない前提で、一部の場所を民間に貸すことができると指摘した。

さらに、少年宮は社会的な大型活動に積極的に参加するようになった。歴史上の重要な事件などを掘んで、子供を教育する。例えば、1995年、北京少年宮は「地球—母親」という主題で子供の絵画、書道のコンクールを行った。遼寧省の瀋陽、黒竜江省のハルビン、湖南省の長沙市の児童少年が積極的に参加し、各地で規定された50メートルの紙に絵を書いて、北京に送る。参加した各地の少年宮は合計19館、全部で260枚の作品が集まった。そして、皆の作品を北京の公園で10日間展覧した。

対外交流も全面的に展開した。1987年から1992年まで、アメリカ、タイ、シンガポール、ロシアなどから誘われ、少年宮の芸術団体を連れて、海外の子供と文

化や芸術などで交流した。広州市少年宮の合唱団体は1998年から1999年8月まで、連続でスウェーデン、オランダ、日本などの国で出演した。また、中国福利会の芸術団体「小さな仲間」は1999年2月(冬休み)に、アメリカの11の町へ行き、合計10回の出演をした。

そして、少年宮の子供は全員優秀ではないが、挫折、不遇、困難に遭った時、倦まずたゆまず努力をする子供を養成している。

2-2 長春市少年宮

吉林省長春市少年宮(写真2、3:43頁)は1962年に設立され、長春市の教育委員と長春市主青团と一緒に運営に当たった。1962年から1987年まで、少年宮は南関区永春路6号の劇場で行い、1979年と1989年には南関区岳陽街2号に2棟の教学ビルが建てられた。その中に、1棟のビルが倒壊する恐れが出て来たため、1991年に取り壊し、1996年と1998年の間に新たな教学ビルを作った。面積は13600平方メートル(108箇所の活動室)あり、1998年9月から使用し始めた。長春市少年宮は全省最大の児童校外教育の場所であり、長春市少年儿童の活動センター、指導センター、国家一級校外教育基地となっている。長春市少年宮は規模と優秀な教員数は全国でもやや大きな校外教育基地の中の一つである。

長春市少年宮は吉林省、省級の唯一の少年宮である。いつも吉林省の代表として国家級の芸術コンクール、文化交流などに参加し、長春市少年宮は政府が大切にしている機構である。長春市少年宮の文化のブランドである。

長春市少年宮は、行政部、後方勤務部、活動部、芸術部、美術部、科学技術部、体育部、外国語特訓ステーションから構成されている。現在関係者86名、その中、教師は74名がいる。専門学校、大学の学歴を持つ人は65名である。

1984年、長春市少年宮は日本仙台市の子供の合唱団と一緒に交流し、日本で出演した。1986年、『科学技術

の雑誌』の委託で、長春市少年宮は東北地方のコンピュータ指導センターを設立した。また、毎年、コンクールを行っている。例えば、西洋楽器、民族楽器、絵画などのコンクール。長春市の芸術団体の名前は「赤いネッカチーフ」であり、建国日や、児童日、教師日などの時に、「赤いネッカチーフ」が各テレビ、国営企業で出演している(写真 4:43 頁)。

長春市少年宮は主に文芸類、美術類、体育類、舞蹈類に分けられている。基本的に毎週の土、日で、一回は 1 時間半の授業である。1 学期(約半年)の授業料は 500~2500 元(約 1 万~5 万円)で、美術類は文芸類より少々安い。美術類は 1 学期約 600 元(約 1 万 3 千円)、文芸類のピアノの授業料は 1920 元(約 4 万円)である(写真 5:44 頁)。

2-2-1 1970~1990 年代の長春市少年宮(音楽教育)

1970~1990 年代の長春市少年宮についてインタビューをした張雪莉(写真 6:44 頁)によると(添付資料Ⅱの②:78 頁)、1970、80 年代までの少年宮は子供(写真 7、8:45 頁)に無料で提供されていた。少年宮に通う子供は 2 種類いる。1 種類は少年宮で良く遊ぶ。当時、学校内の授業の終わる時間は早かったので、子供は少年宮を遊ぶ場所として利用した。もう 1 種類の子供は目的があって、楽器、歌唱、舞蹈などに興味があって来る。また、当時特別選考制度があった。長春市少年宮は人材育成の目的を達成するため、各小中学校へ行き、素質がある子供を選抜し、少年宮に取り入れていた²⁷。また、自分が少年宮へ選抜試験を受けに行くこともできる。ちなみに、インタビューした張は自分で琵琶を持って、少年宮の試験を受け、合格して、少年宮に習うようになった。当時各コースには初級コース、中級コースと高級コースに分けられている。民族楽器コースを対象として説明しておく。当時、民族楽器コースの

子供 6 人、先生は 1 人しかいなかったが、先生は非常に優秀で、親切に指導された。

1985 年に北京市西城区の少年宮へ調査に行った岡地は、先生が子供にピアノを教える授業をレポートしている(岡地 2002:72 頁)。そこに掲載されている写真からは先生の真剣な表情を読み取ることができる(写真 9:45 頁)当時長春市少年宮に限らなく、少なくとも北京市西城区の少年宮も同じで、先生たちは一生懸命音楽の人材を育てようとしていると解る。

また、当時、先生は民族楽器コースの子供たちを連れて、各地へ演奏に行った。ちなみに、当時皆が少年宮で弾いた楽器はすべて長春市少年宮が提供したものである。優秀な楽器演奏の先生がいて、皆は毎回²⁸行くのを楽しみにしていたと張は言った。

記者の褚曉亮・李瞧の調査では、「1970 年代、少年宮合唱団隊の一員だった徐芳は、当時の長春市少年宮は無料で入れるだけではなく、本当に私たちの楽しい宮殿でした」と述べている(褚・李 2006)。

また、記者の李大川の調査によると、長春にある民営病院に勤めている李鑑晋は、1980 年代中期、当時 7、8 歳の時、住む所は長春市少年宮に近かったので、常に通ったが、当時の少年宮は沢山の集団活動があったという印象を残している。当時のことを振り返って、李鑑晋は「余り細かく覚えていないが、楽しく遊んだ」と言っている(李 2013)。

また、李の記事の中で「長春のある重点中学校で歴史を教えている馬先生は 1993 年から 1999 年までの間、寛城区少年宮でダンスと美術を習ったと言った。親が申し込んだが、自分も興味があったのだ。彼女は社会の特訓クラスと比べると、少年宮の長所は主に出演する機会が多く、芸術などの分野で秀でる生徒たちに良いことだと感じた。ちょっと残念ですが、当時は、既に授業料が必要となっていました。でも私の家庭はサラリーマン階層でしたが、まだ負担出来ました。とに

²⁷ 当時、少年宮の先生や関係者が学校へ来て、一人一人が立ってもらって、自分の趣味を言い、例えば、私は歌うことが好き、そして、一曲を歌わせて、先生たちが素質あるかどうかを判断する。

²⁸ 一週間 3 回、月、水、金或いは火、木、土。学校の授業が終わって(大体 15 時半)、少年宮へ行く。日曜日は朝から晩まで少年宮で練習していた。

かく楽しかったですよ」と述べた(李 2013)。

2-2-2 現在の长春市少年宮(衰退)

筆者が行った現在の长春市少年宮について実地調査とインタビュー調査²⁹に基づいて、内容をまとめながら、現在の少年宮の状況を説明する。筆者が訪問をした時には、火災消防安全通路を補修していたので、少年宮は休みだったが、関係者にインタビューをし、少年宮の警備員などにも話を聞いた。玄関に入って、右手に警備員 1 人がいた。筆者は、今日はインタビューにきたこと、また、长春市少年宮の近年の入学率や、少年宮の資料などを参考したいという目的を説明したが、警備員は「資料を渡すことは無理だと思う。昨日もある芸術大学の関係者が資料を欲しいと訪ねてきたが、渡せなかった」と言った。しかし、玄関の机に置いてあった出勤簿(写真 10:46 頁)から、少年宮の教師は全員で 65 余名であることがわかった。

また、右手の大部屋は太極拳のクラスとなっている。中に入ってみると、1 人の 40 代男性がいた³⁰。彼から話を聞くと、彼は「ここで太極拳を習っている。この館長は长春市少年宮の場所を借り、大人向きのコースをやっている」と話をしてくれた。

少年宮の関係者 A から話を聞くことはできた。A によると、长春市少年宮の教師は全員有名な芸術大学、音楽学院や大学院を卒業した人である。現在、夏冬休みには、障害者、社会最低生活保障金を貰っている人に無料で授業を行っている。また、长春市少年宮の面積が大きく、保護者は子供の為の要求が多くなって来た為、現在の少年宮は一部の場所を民間に貸し(写真 11:46 頁)、少年宮の足りない部分を補足している。当然、子供にふさわしい良い民間の機構を少年宮の管理者が選抜している。

政府の校外教育機関以外に、民間機構も校外教育を行っている。現在、少年宮を利用する子供が少なくなり、民間機構に通う人が増えて来ている。10 年、20 年前と比べると、长春市少年宮の学生の入学率は減少している。だが、少年宮は市にも区にも沢山ある。沢山の子供が家から近い為、少年宮へ行く。また、少年宮は政府の機関であり、安心して勉強できる。ちなみに、土、日の朝から多くの県外の保護者が子供を市内の少年宮へ連れて行き、少年宮で学ばせている。

政府は 2015 年「幸福長春」³¹の計画を考えているため、长春市少年宮を新たに大きく作る予定であると少年宮の関係者 A が言った。

だが、『中国文化刊』の記者、褚曉亮・李瞧は、长春市少年宮について「沢山の少年宮は資金難に陥っていて、副業をやる、或いは青少年宮の敷地を賃貸することを行い、本来は公益活動のための場所がもともとの効能を失い、各種の有料である塾的な教室になった」と批判している。また、記者のインタビューの中で、業者の人は、特訓クラスを造り、場所を賃貸するということは現在各地の少年宮では見慣れてしまい、珍しくないことであると言っていた(褚・李 2006)。

『吉林日報』の記者、李大川は长春市の一部の少年宮をインタビューした時に、様々な特訓クラスの授業を行うことが少年宮の主業になり、これらの特訓クラスは社会の特訓機構とかわらない内容で、授業料の価格も大同小異で大きな差がないと気付いた。市民はこの現象が繰り返されて慣れてしまっている。この授業料を支払っているうちに、少年宮の公益性が自然に思いつけなくなっている。中国は 2006 年に、少年宮などの未成年校外活動場所がずっと公益性を維持する必要があると命令を下した。だが、7 年も過ぎて、おのおの少年宮がずっと自分たちはどのように公益性を維持

²⁹ 添付資料Ⅱの①:73 頁、インタビュー調査の翻訳文を参照。今年の春休み(2015 年 3 月 31 日)、长春市少年宮へ調査に行った。そして少年宮の関係者に少年宮の現状、将来及び問題点などの話しをした。

³⁰ 当時、皆が休みだったが、彼はたまたま服を取りに来たという説明があった。

³¹ 「幸福長春」の計画とは、①助業惠民の計画、②老人の年金(保険)の待遇を改善する、③能力ない人に補助する④老人に医療機構を造る⑤救急機構を作る⑥障害児童の保障体系を作る⑦優れた教育を提供する⑧健康長春を展開するなど、市民の為の計画

するのに努力し続けているのかを宣伝しているが、少年宮はこの公益の道に進むスピードが遅いと感じている。

『中国教育報』の記者、蔡継楽は 1 人の少年宮の教員から「現在、少年宮の敷地を賃貸するのは一番儲かるのだ。良い場所を全部民間に貸している。皆は経費が足りないためと言っているが、実は全国の少年宮も同じ問題があるのだ。お金を儲けたくない人はいないよ。利益があったら、さらに利益が欲しくなるのは現実だ」と話が合った(蔡 2014)。

以前とかなり違うのは保護者の態度だけでなく、現在の子どもたちが少年宮に根本的に興味がないことである。李は何人かの小学生にインタビューすると、少年宮に興味を持っているのは少数の学生で、大部分は保護者が申し込んで習わせている(李 2013)。

市場経済の発展と共にまちのある一部の少年宮は学生を募集する条件や、授業料など混乱している(蔡 2014)。

長春市少年宮 2 階の壁には、大人のラテンダンスの広告看板が大きく貼ってある。記者はある人から聞いたが、少年宮の中で成人を募集することは稀なことではない。インターネットで少年宮の特訓クラスの情報を入れると、すぐ少年宮に関する舞踏クラス、歌唱クラス、絵画クラスなど、成人募集中のメッセージが出てくる。長春市少年宮はインターネット教師を招聘している。高等専門学校以上の学歴で、経験がなくても大丈夫と書かれていた。李が募集先へ電話したところ、相手は「私たちは少年宮の人ではない、ここは子どもに算数を教える所で、教師はちょっと訓練してすぐ授業で教えることができる。月収は 1200 元(約 2500 円)で、もし今後、一人で授業を教えるなら、もう少し給料を上げる」と言った。1990 年代以後少年宮へ行く子どもたちが本来感じるべき楽しさが失われていたと李は批判した(李 2013)。

第三章 中国の民間音楽教育—順徳琵琶学校の音楽教育

社会経済の発展と共に、国家は素質教育を提唱し、民間音楽教育は、音楽教育の中で市民にとって経済的な豊かさだけでなく精神的な豊かさを向上させるために不可欠な部分である。

3-1 民間音楽教育の発展

中国では、1970～80年代に大きな2つの重要なことが起こった。一つは改革開放、もう一つは人口抑制政策である(陈・何 2006:55頁)。この二つのことが影響し、中国の民間音楽教育が盛んになってきた。

1978年12月18日から12月22日にかけて、中国共产党第11期中央委員会第3回全体会議が北京で開催された。この会議で鄧小平の権力掌握が確立され、大躍進政策や文化大革命の失敗によって疲弊した経済を立て直すため、「四つの近代化」³²及び「改革開放」³³政策が提出された。改革開放の政策によって、1980年代、人々の関心が政治活動から経済活動へと移り、生活における衣食住などの物質的な側面が満たされると、人々は次に、音楽など生活における精神的側面を豊かにしようと努力を始めたのである。こうした社会状況のもと、中国では音楽、楽器修習ブームが巻き起こった(劉 2012:72頁)。

1950～70年代の中国では、4つの消費品—自転車、ミシン、ラジオ、腕時計は、当時約数百元(数千円)だったが、80年代—90年代では、同じもので、市民の消費水準は数千元(数万円)に値上がりした(唐・張 2012:32頁)。

また、民間音楽教育の発展は中国特有の「一人っ子政策」が始まったことに関係ある。中華人民国が成立した後、毛沢東は人口増加を奨励した。これは中国の

伝統的な考え「多子多福」に基づいたものである。だが、その結果、中国の人口は12億人に達し、食糧危機が叫ばれるようになった。これを受けて、政府は1979年に「一人っ子政策」を策定し、思い切った人口抑制政策を強いた。この政策によって、1979年以降に生まれた中国の子供のほとんどは兄弟を持たず、両親と祖父母6人の大人から深い愛情を受けて甘やかされて育てられた。一方、子供は出世を願う親の過剰な期待を背負うこととなり、子供の教育に莫大な費用と感心を注ぐ親が多く現れた(劉 2012:72頁)。それゆえ、豊かな生活を享受するよう、家族全員で一人の子供の将来を計画するようになった。この時期、学校の教育だけでは一人っ子の家族にとってはとても満足できなかった。子供は数学、国語を勉強しながら、さらに音楽の世界—精神的な豊かさも自分の子供の身に付けさせたかった。親族が一人の子供に最も優れた教育をさせたいという思いから、優秀な先生を探してレッスンを受けさせる風潮がみられる。

民間音楽教育の現状について、李の「ハルビン市におけるアマチュアピアノ教育の現状とその発展の研究」(李 2014:8—9頁)と、3人の先生³⁴への聞き取り調査と筆者の現地調査³⁵を合わせて説明する。

まず、筆者は現在中国の民間音楽教育機構を大きく4種類に分けることにした。

①楽器販売店の中で生徒を教える。主に楽器を売る目的である。長春市南関区である「心楽琴行」³⁶では、1階で楽器を売り、2階で店の楽器を使って生徒たちを教えている。

②民間では場所を借りて、特訓クラスを作り、生徒に楽器演奏を教える。基本的に、クラスは学習者の基礎知識によって、初級、中級と高級に分けられている。

³² 四つの近代化というのは、20世紀末までに、国全体で工業、農業、国防、科学技術の四つの分野において近代化を達成することを目標とした国家計画である。

³³ 改革開放とは、中国国内経済体制について市場経済への移行を試みる改革を行い、沿海地区を経済特区として対外開放する政策である。

³⁴ 琵琶の先生—張雪莉、琴の先生—趙×、現在芸術大学に在学中だが、休みの時に学生を教えている人。

³⁵ 2015年9月中旬、長春市楽器販売店「心楽琴行」へ現地調査した。

³⁶ 「心楽琴行」は1996年に創業し、経営者—侯×(40代)は元々二胡、琴を演奏した人で、1996年から「心楽琴行」を経営しながら、店で子供に二胡と琴を教えている。

だが、一人一人の指導はできない。レベルが同じ学生たちと一緒に授業する。ちなみに、長春市南関区の道沿いのビルには沢山の特訓機構の広告が貼られている(写真 12:47 頁)。

③マンツーマンの授業(写真 13:47 頁)を行う(後述)。

④近年注目されている「顚順琵琶学校」(写真 14:48 頁)は一種類の楽器だけの民間学校である(後述)。

李は、現在の民間音楽教育の教学方法を 3 種類に分けている。①楽しく習う。学生にリラックスできる環境の中で、楽器を教える。②ゆっくり強固な基礎知識を身に付けたく、数年間をかけて教える。③考級試験やコンクールのため、短期間集中で習う。現在、特に中国は試験のため勉強するという実情があるので、目的を達成するため、短期間で習う学生は少なくない。

前述したように、1980 年代、中国の「一人っ子政策」の影響で、親族は最も良い環境を子に与えたく、当然ながら他の学生と一緒に楽器を習うことより、マンツーマン方式で習うことを選ぶ人が多い。生徒たちの能力、素質などが違うため、先生は一人の学生に集中できる。

筆者の琴の先生を例として説明する。琴の先生はもとと芸術学院で、琴を教えていた。その後、先生は事情があって仕事を辞めた。だが、先生の近所に住む住民は先生のことを知り、自分の子供を教えて貰いたいという声が多くなり、そして、自宅で琴を教え始めた。生徒の中には、まったく弾くことができず、ゼロから教わる子もいる。また、音楽学院の入学試験のため来る生徒も少なくない。特に、進学時期³⁷の半年前からは集中して指導して貰いたい生徒が多くなって来る。そして、他の所で習い、途中で編入する生徒がいる。途中で編入する生徒は一番大変である。先生たち一人一人の教え方、弾き方が違うので、慣れた弾き方などを直すのはかなり時間がかかり、難しい。

また、張春³⁸のインタビュー(添付資料Ⅱの③:84 頁)

より、マンツーマン授業は基本的に 1 人の学習者に対し 20 分～40 分行われる。受験のためなどの理由があれば、延長できる可能性もある。30 分の中で、約 20 分を復習し、残りの 10 分は新しい知識を教える。授業の時、保護者が隣で演奏を聞くことが出来る。保護者に安心させるため、先生は毎年全国各省、市の楽器コンクールや考級試験などを受けることを勧めしている。

また、近年注目されているのは、2011 年に周顚順が全国で初めての民間の琵琶専門学校「顚順琵琶学校」創設したことである。つまり、先生のところで個人レッスンを受ける形から、民間の音楽専門学校へ通う形が出て来たのである。

3-2 周顚順琵琶学校

3-2-1 周顚順について³⁹

周顚順は 1959 年吉林省四平市で鉄道労働者の家庭で生まれた。子どもの頃から、汽車の音を聞きながら成長し、聡明で、音楽の感覚が強かった。1976 年に、吉林芸術学校に入学し、琵琶の基礎的な技能を習得した。1983 年、彼は最も優秀な成績で吉林芸術学院音楽専攻コースを卒業した。卒業時に、そのままこの大学の教授になり、将来は琵琶教育家或いは演奏家になろうと思ったが、吉林芸術学校では、琵琶の専攻コースが無くなったため、教授になることができなかった。その頃、政府は四平市⁴⁰で琵琶を習った人に仕事を与えていなかったが、周顚順の身上調書を本人の承諾を得ずに遼源市に振り替え、遼源市の「労働者文化宮」(工人文化宮)の仕事を与えた。周顚順は企業文芸宣伝隊⁴¹で、得意ではない唱歌やダンスを指導していた。

マン授業を行っている。

³⁹ この「3-2-1 周顚順について」は、主に趙家治(2012a)、趙家治(2012b)に基づいて、筆者が再構成した。

⁴⁰ 四平市は吉林省で、長春市と遼源市の間である。人口は 3391.153 人。面積は 14.080 平方キロメートル。

⁴¹ 当時、各企業の中に文芸宣伝隊がある。周顚順は文芸指導員として、企業へ行き、労働者に歌やダンスなどを教えていた。

³⁷ 中国の進学は毎年 9 月である。

³⁸ 吉林芸術大学の学生。現在、自宅で子供に琵琶のマンツーマン

しかし、労働者文化宮の中で琵琶を弾いている周顥順の存在が次第に知られるようになって、無料でアマチュア向けの琵琶クラスを開いた。1987 年、「労働者文化宮」の仕事を辞め、お金を稼ぐ為にバーを経営し、1994 年の春に、龍山区教師研修学校 1 階(1000 平方メートル)を借り、「周顥順琵琶訓練センター」を創った。その後、沢山の琵琶の人材を育成し、卒業生たちは各音楽学院に入学している。ちなみに、有名な「女子十二楽坊」の 3 名の琵琶演奏家が周顥順の生徒である。周顥順の生徒は「周家軍」と言われている。

中央音楽学院の李光華教授⁴²は「これまで、琵琶の人材はほとんど広東省及び江蘇省、浙江省、上海などから出ていたが、現在、「周家軍」のお蔭で、東北に移動してきた」と感心した。また、「周家軍」の成功率の高さについて、中国国際古琴大家、演奏家、教育家の李相庭⁴³も「国際的にも珍しい現象だ」と感嘆した。

周顥順は小学生に一般的な高校生が演奏する曲を弾けるように教育し、また高校生に一般的な大学生が演奏する曲を弾ける教育をして、国内外の琵琶の世界で注目されるようになった。2005 年 3 月、中国民族管弦楽学会は北京科学技術大会堂で「周顥順琵琶教学フォーラム」を開催し、一流音楽学院の専門士など 300 余名が参加し、20 余名の琵琶教育家と演奏家が周顥順の演奏方法、訓練方法、教学方法と教学成果に高度な評価を与えた。これに対して、中国民族管弦学会会長一朴東昇⁴⁴は「周顥順の琵琶の教育成果を見ると、中国の

これからの 50 年間でも、もう一人の周顥順は出て来ないだろう」と発言した。

また、香港教育部は周顥順を誘い、香港の小中学校の琵琶基礎教育をやって貰おうとした。周顥順も香港に行くことで世界進出に繋がると考えた。しかし、彼は第二の故郷となった遼源市を離れられなかった。彼は「周家軍」を捨てることができなかったのである。その後、周顥順は日本、シンガポール、韓国などから商業的な演奏の依頼を引き受けた。彼は「訓練センター」の形はすでに国際市場の需要から遅れていると感じ、10 年の壮大な計画を考え、正式な学校を創り、中国の琵琶文化を世界に広げていきたいと考えた。

その後、市政府は周顥順に最も良い場所(遼源市 福鎮 2 号)と、900 万元(約 1.8 億円)を貸し、銀行から 350 万元(0.7 億円)を借り、さらに、個人のマンションや車を 300 余万元(0.6 億円)で貸し付けて 1,550 万元(3.1 億円)を揃えた。周顥順は「学校を建てる為、僕は家財を投じて、ある程度裕福な生活から困窮な生活に戻った」と笑いながら言ったという(趙 2012a)。そして、2006 年に顥順琵琶学校を創った。

3-2-2 顥順琵琶学校の概要

2006 年 12 月 29 日、顥順琵琶学校は、遼源市にとって、とても重要な場所である(地处龙首山下、东辽河大桥岸边)吉林省遼源市福鎮大路 2 号に建てられた。

学校の面積は 20,000 平方メートル、建築面積は約 8,000 平方メートルである。校内には音楽ホールがあり、約 20 室の教室と約 30 室の琵琶を練習する教室が設置され、舞蹈室、美術室、図書館、パソコン室及び寮、食堂等の施設もある。

顥順琵琶学校は数百人の優秀な教師がおり、独特の教育方法、先進的教育手段などを使った特色ある学校である。2011 年まで、3000 余名の学生を育成し、その中の約 580 余名の学生が各音楽学院に入学し、さらにその中で、全国最も有名な 9 か所の音楽学院に入学した学生は 170 余名である。例えば、周劍一周顥順の息

⁴² 李光華：著名な琵琶演奏家、教育家、中央音乐学院民族音楽学部主任、北京市西城区第 13、14 届人大代表、中国音楽家協会理事、中国音楽家協会民族音楽委员会委员、中国民族管弦楽学会常务理事、琵琶専門委員会会長、刘天華、阿炳中国民族音楽基金会理事。北京市優秀教師である。

⁴³ 李相庭：中国国際古琴大家、演奏家、教育家

⁴⁴ 朴東昇：1934 年、中国遼寧省瀋陽市で生まれた。1949 年から文化芸術に関連仕事を始めた。その後、東北魯迅文芸学院で勉強した。朴東昇は以前中央歌舞団指揮(国家一级)、中国录音录像出版総社社長を務めた。現在、中国民族管弦楽学会会長、中国音像協会副会長、文化部芸術資格考評委員会副主任、文化部芸術系列高级职称評審委員会委員、文化部社会芸術水平考级指導委員会委員、中国版權研究会理事などを務めている。

子は、1999年に中央音楽学院附中に入学し、2005年に中央音楽学院大学に入学した。現在は青年民族樂團琵琶首席である。中央音楽学院琵琶専攻の半分以上の学生は周頤順が育て上げたことになる。他の学生も中国音楽学院、上海音楽学院、天津音楽学院、西安音楽学院、広州音楽学院、瀋陽音楽学院、四川音楽学院、中央民族大学、中国の伝統的な演劇学院などの学校に入学している(写真 15:48 頁)。

3-2-3 頤順琵琶学校の構成

学校では、基本的に学前⁴⁵教育部と琵琶訓練部の二つの学部がある。2007年2月に新設された学前教育部は、琵琶教育と幼稚教育が両方ある特別な学部である(図 3:48 頁)。

琵琶訓練部は、試験前の特訓クラス(考前培训班)、アマチュアの特訓クラス(业余培训班)、と休暇の時の専攻クラス(冬暑假专攻班)に分けられている。

「試験前の特訓クラス」(表 2:49 頁)は、全国の各音楽学院に入学したい大学院、大学、高校、中学の各学生向けで、習う期限は12か月以内である。基本的に、誰でも入学できる。ただ、頤順琵琶学校に入学する時に琵琶の試験⁴⁶が行われ、琵琶を弾くレベルによって基礎隊(初級の学生)と演出隊(ある程度上手に弾ける学生)⁴⁷に分かれる。同一レベルの学生が一緒に習うことにより、技術レベルをアップすることができる。基礎隊の学生は演出隊のレベルに達すると演出隊に移動する可能性がある。

1か月の学費は約2,000元(40,000円)である。そして、市外の学生に対しては、学校内に寮や、食堂が設置してある。学内の寮は3種類あり、一人部屋、二人部屋、そして、大部屋に住むことができる。一番安い賃料は1か月約300元(6,000円)である。食事代金は含

まれていない。この「試験前の特訓クラス」は有名な各音楽学院に入学したい学生に対応するコースである。大体約7、8人の学生と一緒に琵琶を習うことになっている。

授業のスケジュールは表3:49頁)の通りである。7:30~9:00は先生の指導授業である。周頤順や琵琶の他の先生が琵琶の一曲を選び、琵琶の弾き方を習う。9:00~12:30は学生が自分の琵琶を持って、自由に琵琶を練習する時間である。13:00~14:30は音楽の先生から一般基礎理論(「楽理」)を習う。14:30~17:00は学生が自由練習と勉強の時間である。17:00~19:00は自習の時間で、解らない所を先生に聞くことができる。ちなみに、学生がマンツーマン授業を希望することもできる。業料は周頤順が40分500元(10,000円)、普通の先生が40分200元(4,000円)である。

このクラスの学生は、各有名な音楽学院を目指しているクラスである。必修科目(数学国語等)を勉強しながら⁴⁸、琵琶を必死に練習する。中央音楽学院⁴⁹を例とすると、基本的に、毎年、中央音楽学院の新入生募集要項に従って、試験の準備をしていく。まず、第1回目の試験は、学生が自由に好きな2曲(「一文一武」⁵⁰)を選んで、試験を受ける。また第2回目の試験は、中央音楽学院から指定された2曲を演奏する。最後第3回目の試験は「視唱、聴音、及び楽理」である。

頤順琵琶学校の関係者Bのインタビューでは、頤順琵琶学校の進学率は100%と言っている。しかし、各学生の能力は違うので、自分のレベルを考え、先生たちから学生に適切な各音楽学院を勧めてもらうので、100%になっていると考えられる。

「アマチュアの特訓クラス」(表4:49頁)は、小学校から中学校3年生(6歳~15歳)まで、休み(土、日或いは夏冬休み)の時、学校の授業を邪魔しない前提として、一つの才能を増やすためコースである。基本的に、初級の学生の授業料は1時間100元(2,000円)、マ

⁴⁵ 学前：学齢前の時期3歳から6歳までという。

⁴⁶ 琵琶の試験：自由に自分が好きな1曲を演奏して、先生が学生のレベルを判断する。

⁴⁷ 演出隊に入ると、学生は毎年舞台に上がり、沢山琵琶を演奏するチャンスがある。

⁴⁸ 個人で先生を探し、数学、国語等を勉強する。

⁴⁹ 中国音楽の最高の学府

⁵⁰ 「一文一武」：柔和な1曲と勇ましい1曲

ンツーマンの授業料は少々高額で、周顥順の授業は 40 分で 500 元 (10,000 円)、普通の先生は 40 分 200 元 (4,000 円) である。

「休暇の時の専攻クラス」(表 5:50 頁)は、夏、冬休みを利用して、演奏のスピードを向上させたい学生や青年教師に提供している。中国語では「千日琵琶、百日琴」と言われている。琵琶を習うことの中で、特にスピードを上げることは難しい。一般的な琵琶演奏家の基本条件是 1 分間 180 拍から 208 拍のスピードである。しかし、全国一流の音楽学院で、小学生から大学院生まで、10 余年の習い経験あっても、そのスピードになる人は 30%にも満たないほど少ない。周顥順は 10 余年の実践経験を経て、琵琶を弾く方法に専念研究した。彼はよく学生の手形を見て、人により手の形や長さなどに相違があることから、各学生の手の特徴に応じて、伝統的な制約に束縛されないで、手指を楽にすれば、自然に美しい音を弾き、スピードも徐々に上げることができると指摘した。このコースの学生はほとんど全員 1 分間 180 拍から 208 拍のスピードで弾くことができるようになる⁵¹。

冬休み、夏休みの間に、北京、香港、広東、広西、河南、河北、武漢、山西、遼寧、吉林、内モンゴルなどの所から学校に来て、琵琶専門人材と琵琶教師を沢山育成した。ある一部の人は国内音楽学院の琵琶教師及び楽団の中堅の力になった。この大きな業績は国家の関係ある部門及び国内外に注目され、認められた。そして、2004 年 5 月、遼源市は中国民族管弦楽学会から「中国琵琶の故郷」という名を授与された。

3-2-4 顥順琵琶学校の成果

顥順琵琶学校の一棟のビルに入ったところ、左側の壁に国から授与された沢山の証明書が貼られていた。周顥順の故郷—遼源市が 2004 年に「中国琵琶の故郷」の証明書を授与されたものを初めとし、周顥順及び顥

順琵琶学校の成果を年代順に授与された証明書であった。

2004 年 5 月 遼源市が中国民族管弦楽学会から「中国琵琶の故郷」という美名を授与

2005 年 3 月 中国民族管弦楽学会が北京科技大会堂で「周顥順琵琶教学フォーラム」を開催

2005 年 3 月 顥順琵琶学校が中国民族管弦楽学会から「全国琵琶訓練基地」に指定

2008 年 9 月 顥順琵琶学校が国家文化部から「国家文化産業規範基地」と命名

2008 年 9 月 遼源市が文化部から「中国琵琶の故郷」と命名

2009 年 3 月 周顥順が中華無形文化財研究フォーラムから「中華無形文化財—中国琵琶故郷の伝承人」と評定

2009 年 6 月 顥順琵琶学校も「吉林省無形文化財」と評定

2009 年 9 月 吉林省政府から学校を「吉林省優秀文化企業」と命名

このように顥順琵琶学校は国家や省、市が重視しており、稀な文化ブランドになっている。現在、韓国、日本、シンガポールなど多くの国家と地域の学生が顥順琵琶学校で琵琶を訓練している。これから、顥順琵琶学校は 9 年義務教育や高校の授業も行われる予定がある。

顥順琵琶学校の正面の円形状ビルの正面全体に琵琶学校の学生が国内外でコンクールに参加した写真と説明が貼ってあった。顥順琵琶学校の学生は数多く国内及び国際コンクールに参加している。

2004 年 5 月 21 日 遼源市の市委、市政府及び中国民族管弦楽学会が共同で、中央音楽学院音楽ホールで『遼源の春—琵琶独奏コンサート』を開催

2007 年 8 月 8 日 北京で「2008 年北京オリンピックカウントダウン—周年、庸関長

⁵¹ 趙家治 2013「琵琶伝承人—周顥順」『民进吉林省委会』(中国民主促進会吉林省委員会)

- 城大型民族楽器演奏会」に参加。
万里の長城で、「周家軍」百人が
一緒に琵琶を斉奏した。
- 2011年7月26日 「中・澳国交樹立40周年祝賀コ
ンサート」の為、国家文化部は
顓頊琵琶学校の先生と生徒を率
いて、ウィーン楽友協会大ホー
ルで演奏し(写真16:50頁)、国
際的に高い評価を得た。
- 2012年7月26日 遼源市第1回国際琵琶文化芸術祭
が遼源市運動場で開催。2012名
の琵琶奏者が一緒に『金蛇狂舞』
(写真17:50頁)を演奏し、新し
いギネス記録を創った。今回の
芸術祭は全世界最大の規模であ
る。芸術祭の他にも、国際琵琶
コンクール、琵琶音楽の夕べ、
琵琶の講座、中国琵琶発展のフ
ォーラムなどの活動が行われて
いた。

3-2-5 インタビューに行った時の実況について

筆者は2015年03月29日午前8時30分に長春市から遼源市までのバスに乗り、1時間半をかけて午前10時遼源市に到着した。その後、遼源市の市民に顓頊琵琶学校の場所を尋ねた。一人の女性⁵²が「顓頊琵琶学校か。みんな知っているよ。ただ一般的な家庭では、授業料が高くて、なかなか行けないね(後述)。琵琶学校は現地のバス停からタクシー5分で着くと思う」と教えてくれた。そして、タクシーに乗って、顓頊琵琶学校に到着した。タクシーを降りて、すぐ顓頊琵琶学校の立派なビル(2棟)が見えた。郊外で、周りはとても静かな環境で、周辺は集合住宅などもなかった。当時、玄関は工事中だった。ビルの表面に何枚か大きな写真

が貼られていた。そして、隣のビルに入り、1階の廊下で、周顓順の紹介や学校の紹介、以前各音楽学院に入学した生徒の写真と簡単に説明が壁に貼られていた。そして、3階に行き、学前教育部の関係者と面会した。実は、筆者は事前に学校に電話をしたのだが、インタビューすることを拒否されていたので、「私の従妹がこちらの学校で琵琶を習いたいと考えているから、訪ねてきた」と関係者に電話のことは言わずに簡単に今回の訪問の説明をした。そして、琵琶特訓部の関係者を紹介して貰った。そして、5階のオフィスへ行き、その関係者Bと話をした⁵³。会話の中で、関係者Bは学習者たちが音楽学院や芸術大学などを受験する時のアドバイスのことが何回も出て来た。例えば、関係者Bが「中国音楽学院に合格したい場合は、まず、学校の必修科目(数学、国語など)は自分が外で先生を探し、教えてもらう。最近音楽学院も厳しくなってきた、必修科目の点数も重要である。これは注意しないといけない。また、琵琶専門の部分は先生の指導に従っていけば、うまく行けると思う」などの説明があった。筆者は関係者Bに聞くと、顓頊琵琶学校へ来る学習者は半分以上の人は進学受験のためである。

また、関係者Bは「顓頊琵琶学校の雰囲気は他の所と違い、遊びに来る学習者はほとんどいない。しかも学費も少々高いので、遊びに来ることは考えづらいのだ。周りの学習者が一生懸命目標の為に頑張る姿を見ると、自分も頑張る気持ちが強くなってくる。良い競争の雰囲気になると思う」と説明があった。

⁵² 40代の女性。仕事は市場で野菜を売っている。もともと吉林省遼源市出身で、彼女の自宅は顓頊琵琶学校からバスで50分かかる所。彼女の子供も琵琶を習ったことがある。

⁵³ インタビューの詳しい内容は添付資料Ⅱの④:82頁

第四章 中国の社会音楽考級試験から見る校外音楽教育

4-1 音楽考級試験とは

音楽考級試験(写真 18:51 頁)とは教育部試験センターと中央音楽学院が共同で行い、試験という形で、全国のアマチュア音楽学習者の音楽知識や音楽レベルなどを検定するものである。基本的に「視唱練耳」⁵⁴と「楽器の演奏」の2つである。一般には中国の音楽考級試験は1級(基礎者)から10級(プロ)までがある。琵琶を例として、1～4級の曲は、簡単な楽譜、シンプルな弾き方であり、5～10級の曲は、徐々に複雑な楽譜になり、複雑な弾き方が必要とされる(写真19の①②:51、52頁)。つまり、級(ランク)が高くなってくると、技術が厳しく要求され、速度、力の強さ、理解度なども厳しく審査される。10級に合格するとその分野の専門士と認められている。

音楽考級試験は1980年代に香港を経由して、中国の上海、広州など沿海地区つまり経済が発達した地域に導入された⁵⁵。この何十年の発展を経て、沿海地区からさらに海外に広がった(後述)。また、考級機構は最初の1団体(1987年、広州ピアノ学会)から数十団体に増加した。

音楽考級の科目も最初はピアノだけだったが、唱歌や中国民族楽器⁵⁶(写真20:52頁)などにも広がった。もちろん、考級を受ける学習者も毎年激増している。首都北京を例にすると、1991年2月、中国音楽協会が北京ではじめてのピアノアマチュア考級試験を行う時には、830余名の受験者が申し込んだが(李 1996)、1998年、受験生は7万余名を越え、2000年には10万余名に達した

⁵⁷(唐 2012:130頁)。

社会音楽考級の影響で、芸術分野の舞踏分野、美術分野、書道、朗読、演技なども考級を行うようになった。

現在、全国的な芸術考級機構は12団体で、その中で、社会音楽考級機構は合計6団体が含まれている。その6団体は中央音楽家協会音楽考級委員会、中央音楽学院考級委員会、中国民族管弦楽学会、中国音楽学院考級委員会(後述)、上海音楽学院音楽定級試験委員会、中国歌劇舞踊劇院考級委員会である。また、地方の音楽考級機構(表6:53頁)は18団体以上があり、芸術考級機構(表7:54頁)は24団体もある。

4-1-1 英国王立音楽学院グレード試験

もともと、「考級」という言葉は、英語の「Grade Examination」を中国語に翻訳したものであり、「英国王立音楽学院連合委員会」による音楽等級試験のことを指す(劉 2012:72 頁)。

1883年に創立された英国王立音楽学院(Royal Academy of Music)は、音楽領域⁵⁸の専門家になりたい人の為、1889年に「英国王立音楽学院連合委員会」ABRSM (Associated Board of the Royal Schools of Music)が設立された⁵⁹。英国王立音楽学院連合委員会は英国王立音楽専科学院(Royal College of Music)、英国王立音楽学院(Royal Academy of Music)、王立ノーザン音楽学院(Royal Northern College of Music)、王立スコットランド音楽学院(Royal Scottish Academy of Music)という四つの音楽学院で構成された。英国王立音楽学院連合委員会は100年以上の歴史を持つ世界最大の音楽グレード機構で、世界で最も影響力がある試験である。1995年から、世界各地の芸術学院に専門科家と教授の為に専門分野の課程訓練コースを作った。さらに、英国王立音楽学院連合委員会が行ったグレード試験は世界に広がって、現在、世界90ヶ国以上の所で

⁵⁴ 試験現場で、受験生は審査員が指摘した楽譜をみて歌うことと、審査員から弾いた音を聴いてその音が何の音であるかを答えることである。

⁵⁵ こうした導入経緯については、『中国の音楽考級の歴史を回顧と考察』も明らかにしておらず、詳細な経緯は不明である。

⁵⁶ 中国民族楽器: 人気があるものを挙げる。二胡、琵琶、琴、揚琴など。日本と違って、未だに大人気である。

⁵⁷ 当時北京の人口数は1356万9194人だった。

⁵⁸ 演奏家、指揮家、歌唱家など。

⁵⁹ 現在まで100年以上の歴史がある。

グレード試験を行っている。

この試験は世界各地で認められ、試験の科目も多岐にわたる芸術グレード試験となっている。任によれば、毎年世界各地の受験生は62万6千余名が受験しているという(任 2007:3 頁)。英国王立音楽学院連合委員会の主な審査員は500余名に至っている。全員世界で最も有名な音楽専門家である。

英国王立音楽学院連合委員会のグレード試験の科目は鍵盤楽器、弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器、声楽、応用音楽、作曲、指揮及び楽理知識という広い範囲を含んでいる(任 2007:3、6 頁)。

試験は①予備級「Prep Test」、②1～8級の能力試験「Graded Music Exams」、③英国王立音楽院の学位「Diplomas」、④音楽賞(奨学金など)「Music Medals」の四段階に分かれる。初心者はまず簡単な「Prep Test」を受けてみて、興味があれば「Graded Music Exams」の1～5級(初学者)の試験を受ける。一定の修習時間を経た後に6～8級までの試験を受けることが出来る。8級に合格し、さらに「Diplomas」に進級すると英国王立音楽学院の学位を取得してプロに転向することも可能であり、「Music Medals」を受ければ学院の奨学金などを受けることもできる(張 2008:30 頁)。

グレード試験—ピアノを例として説明する。1～8級までは基本的に3曲を事前に選択必要がある。この3曲は全部違う風格の曲を選ぶ必要がある。例えば、バロック派、古典派、ロマン派、各民族楽派の音楽など。試験内容は、①基礎技能—音階、アルペジオをチェック、②楽理—基礎知識をチェック、③初見奏—学生の音楽素養をチェック、④視唱聴音、⑤音楽についての理解(曲の歴史、例えば、いつの年代のものか、またその曲についての独自の評価などを述べる)。③の初見奏はグレード試験現場で、審査員が用意した楽譜を受験者に渡した後、受験生に約30秒間の楽譜を読む時間を与え、そして、楽譜の通りに弾くことである。初見奏音楽を弾く速さで、受験生がピアノに熟知している程度などをチェックすることが出来る。この試験で、受

験生の音楽素養があるかどうか判断できる(馮 2007:14 頁)。

4-1-2 中国音楽学院考級委員会の考級試験

中国の社会音楽考級試験は一体どんなものなのか、「中国音楽学院考級委員会」という考級機構の募集内容⁶⁰を参考にしながら、説明する。

中国音楽学院⁶¹は中国民族音楽芸術教育の最高学府である。中国音楽学院の中に、「社会芸術水準機構」⁶²という組織が設置されている。社会芸術水準考級委員会のメンバーは学院のリーダーと各専門分野の専門家である。主な目的は市民の音楽文化素養を引き上げ、国の美育事業を発展、促進させ、音楽人材を発掘し、アマチュア音楽学習者に専門士から一流の評定を提供することである。

考級試験は基本的に1年2回を行われている。申し込み期間は、夏休み(毎年6月1日～30日)、冬休み(毎年12月1日～30日)の午前8時半～11時半、午後2時～5時である。申し込み場所は北京市朝陽区安翔路1号。また、中国音楽学院考級委員会は全国各地に試験場があるので、現地の知らせを見ること(考級試験の時間も)。

考級試験の対象は、児童(3歳～12歳)、青少年(12歳～18歳)、成人(18歳以後)である。審査する結果は「通過」と「不通過」、いわゆる「合格」と「不合格」2つである。「中国音楽学院考級委員会」の考級試験を受ける場合は、考級教材集は中国音楽学院考級委員会が編纂した『全国通用中国音楽学院校外音楽考級教材』或いは『中国音楽学院芸術水準考級教材』を使用しなければならない。考級教材集の中に1級から10級までの曲が掲載されている。各考級委員会が編集する考級

⁶⁰ この募集要項は2015年度の募集の案内である。筆者が張春に依頼して入手した。

⁶¹ 1964年9月21日、首都—北京で創立した。中国の音楽学習者たちの理想な学校であり、日本の「東京芸術大学」と同じぐらいのレベルである。

⁶² いつ設置されたのか、何処にも載せていなかった。おそらく1990年代(考級の初期)と考えられる。

教材集は大体似ているが、少し異なっているところもある⁶³。

「中国音楽学院考級委員会」の考級科目は、民族管弦楽器⁶⁴、鍵盤楽器、声乐、西洋管弦楽器、基本楽科、朗誦、6つがある。

申し込み方法：受験生は申込書の内容を記入⁶⁵し、申し込み費用、考級を受ける費用、証明書を作る費用が必要である。申し込んだ後、受けることが出来なくなった場合、考級費用と証明書費用(申し込み費用が除く)を返却される。

10 級(最も高いレベル)を受ける受験生は必ず同一考級機構の 9 級合格証明書(コピー)を提示すること。つまり、9 級の合格証明書がない場合は、10 級を受けることが出来ない。だが、9 級以下の場合は、自分が自由にレベルを選び、受けることができる。例えば、筆者は当時音楽考級試験を受ける時に 1～4 級を越え、直接 5 級の試験を受けた経験がある。中国音楽学院考級委員会は合格者に「文化部全国社会芸術水準考級センター」が監督する「中国音楽学院社会芸術水準考級証明書」を授与する。不合格者には審査員の審査結果と簡単な評語を送り、同時に合格証明書の費用を戻す。

費用(北京)は「中国文化部及び国家発展と改革委員会」の公文書の規定に従っている。

①申し込み費：10 元(約 200 円)

②考級を受ける費：1 級 48 元(約 1000 円)、2 級 60 元(約 1200 円)、3 級 72 元(約 1450 円)、4 級 84 元(約 1700 円)、5 級 96 元(約 1950 円)、6 級 108 元(約 2200 円)、7 級 120 元(約 2450 円)、8 級 132 元(約 2700 円)、9 級 144 元(約 2950 円)、10 級 156 元(約 3200 円)。

⁶³ 例えば、「中国音楽学院考級委員会」の教材の中で『流陽河』(琵琶の曲)は 4 級の曲と設定しているが、東北師範大学芸術考級委員会の教材の中では 5 級の曲と設定している。

⁶⁴ 基本的に、中国の民族管弦楽器を指している。例えば、琵琶、琴、二胡など。

⁶⁵ 記入内容が足りない場合は受けることが出来なくなる可能性もある。

公演の証書級⁶⁶(後述)300 元(約 6000 円)

③合格証明書の費用：20 元(約 400 円)、公演証書の級を受ける人はさらにプラス 100 元(荣誉メダルを作る費用)。申し込み費と考級費用は北京以外の各地は北京と同じ考級費用にするか、或いは現地の物価部門から許可された規準考級費用にするか 2 つの選択がある。合格証明書の費用(20 元)は北京と同じである。

2015 年「中国音楽学院考級委員会」の各考級科目の考級範囲

1～6 級：ダブル鍵盤電子オルガン、デジタルピアノ

1～9 級：チャルメラ、揚琴、三弦(蛇皮線)、中国鼓、テナーホーン、低音バイオリン

1～10 級：琴、竹の笛、笙、二胡、琵琶、阮、ピアノ、電子オルガン、アコーディオン、児童声乐、ベルカント唱法、民族声乐、通俗唱法、トランペット、トロンボーン、ホルン、チューバ、サキソホン、フルート、クラリネット、バイオリン、チェロ、古典ギター、民謡ギター、ジャズ鼓、サイドドラム、朗誦。

公演の証書級：ピアノ、二胡、琴

ちなみに、公演の証書級という試験は現在、ピアノ、琴、二胡に限られている。この試験の合格者は、例えば、レストランなど各場所で演奏することが出来るようになる。この試験は誰でも受けることができるわけではない。中国音楽学院考級委員会で 9 級或いは 10 級の合格証明書がないと受けられない。試験は 30 分以上の自由演奏をしながら、ビデオ撮影し、1 回目は現場の審査員が評語を書くが、合格するかどうかを決めない。そして、試験のビデオを北京市の各分野の専門家の所を持って行き、専門家から受験生が合格するかどうかを決めるのである。

4-1-3 音楽考級試験の内容と合格証のメリット

音楽考級試験の内容と合格証のメリットを、琵琶を

⁶⁶ 中国語では「表演文凭级」という。

例として説明しておく。筆者の場合、音楽考級試験の情報はいつも琵琶の先生から得ていた。先生たちは基本的に考級試験を受けることを勧め、「受けてみて、今の演奏水準の評価を貰えば、今後の学習に役に立つから」と先生たちは言う。

例えば、今年受けた場合は、まず、試験前に、受けたい考級機構が指定する「琵琶考級教材」を購入する。その後、先生と相談し、自分の現在のレベルは何級を受けるのが相当か、どの曲を選ぶのかなどの意見を貰う。琵琶の場合は、試験前に「琵琶考級教材集」から受けるレベルの2曲を選び、試験を受ける。基本的に、受験曲は先生と一緒に決めることが多い。そして、前述したように、考級機構の所へ行き、申込書を記入し、考級費用などを払い、そして、試験前、選択した2曲を必死に楽譜を暗譜⁶⁷し、演奏し練習をする。試験前の1～2週間に受験票が届く。試験当日、受験票と楽器⁶⁸を持って、試験を受けに行く。試験場には、基本的に2～3人の審査員⁶⁹がいる。そして、自分の受験番号が呼ばれたら、入室する。まず準備した1曲目を弾き、途中で審査員から合図を貰い、2曲目に移る。前述したが、弾き終わって、審査員から指摘された楽譜(5行程度)を読み終わったら、試験終了。試験は大体15分程度である。その後1～3ヶ月程度で結果が出る。合格した受験者に合格証明が授与される。

考級試験の合格証明書を持つと、学習者が進学する時に、学校(特にその楽器のクラブ活動があるところ)によって優先的に入学できることもあり、入学試験の点数に加算されることもある。2003年国家教育部が公表した文書によって、公的には考級証明書で入学試験の点数を加算することは禁止されたが、実際のところ、その制度を続けている学校は未だに多い。入学試験の点数は1点を加算されるだけでも、将来の人生が変わ

る可能性があるという保護者たちが信じている。そして、考級試験の証明書を得るため、毎年、試験を受ける子供がますます増加している。

また、前述したように、公演の証書級を持つと、各場所で演奏することが出来るようになる。

校外音楽教育のため社会音楽考級試験が生れ、音楽考級は校外音楽教育、社会経済などの発展を促進している(後述)。

4-2 社会音楽考級試験の発展の三つの時期

1985年から現在まで、中国社会音楽考級は30余年が経った。張元は「萌芽期」、「発展期」、「普及期」の三つの時期に区分している。以下の部分では、(唐 2012)、(張 2010a)、(張 2010b)、(張 2010c)、(張 2010d)、(馮 2007)を参考し、現代中国における社会音楽考級の歴史を時代順にとりまとめる。

4-2-1 萌芽期(80年代中期～1990年)

1985年、上海音楽学院は国家の方針⁷⁰に応えるため、管弦学部は日曜日の休みの時間を利用して、初めて社会人向けの「バイオリンの指導コース」と「ピアノの指導コース」を作った。社会人に積極的に習って貰うため、「ピアノの指導コース」の教師たちは、香港に設立された「英国王立音楽学院」のピアノ考級試験を真似て、1987年に「指導コース」の中で、ピアノ考級試験を行った。この試験は一年一回を行うもので、参加者は指導コースの社会人だけであった(申し込み自由)。当時「ピアノの指導コース」の社会人はレベルがあまり高くなかった為、試験の内容は難しいレベルではなかった。そして、先生たちが自分で作った考級合格証明書を合格者に渡すのだ。このコンクールは中国音楽教育界の中で、音楽考級試験の形で学習者の音楽能力を判断するための最も早い試みであった。すなわ

⁶⁷ 現在、25歳までの受験生は楽譜を暗記しないといけないが、25歳を超える人は自由となっている。

⁶⁸ 基本的に受験生は自分の楽器を持ち込むが、運びにくい、大きな楽器(ピアノ、琴など)は考級機構が用意する。

⁶⁹ 審査員は考級機構から各芸術大学、音楽大学へ行き、各分野5年以上の演奏経験がある先生に依頼する。

⁷⁰ 当時、中国の方針とは市民の素質教育を普及すること。具体的な素質として、主に道徳素質、知力素質、身体素質、審美素質、労働技能素質など、音楽も素質教育の中の一貫として重視されるようになる。

ち、これが中国社会音楽考级試験の最初の形態である。

また、中国社会音楽考级試験は1987年末に、広州にいるピアニスト、教育家は音楽愛好者を引率して、広州ピアノ学会⁷¹の名前で、全国ピアノ考级試験を行った。当時申し込んだのは40人しかいなかったが、社会音楽考级試験は徐々に人々の中で意識され始めた。

そして、1988年12月、広東省音楽家協会(前身は広州ピアノ学会)は広州で正式な第一次アマチュアピアノの音楽考级試験を行った。今回の考级試験は広州市のアマチュアピアノを習っている児童少年は全員参加できた。当時5歳から6歳まで、合計640名の受験者が1級から3級の試験に合格した。上海音楽学院の「ピアノ指導コース」の社会音楽考级試験と比べると、広州ピアノ学会の第1回の社会考级制度の方が優れていた。試験には優、良、中、可、不可に分けられている。ピアノ考级試験に成績が優秀な学生を奨励するし、また前述したように、第6級に合格する学生には中学校、高校の入学試験の点数を加算することもある。広州ピアノ学会の初めての考级試験は完備な制度、明確な目的及び細かい規則があり、初めて地方における社会音楽考级試験であった。

上海音楽学院の「ピアノの指導コース」の内部で2回の考级試験を行った後、上海音楽家協会と上海ピアノ学会は1988年に一緒に上海音楽考级委員会を創り、上海の地域で1年1回のピアノ考级試験を試行した。1989年にピアノ考级試験の初回の成功があった後、上海音楽家協会琵琶学会、バイオリン学会も上海地域で、初回の琵琶考级とバイオリン考级の試験を行った。上海音楽考级コンクールの影響で、杭州、寧波などの周辺の都市も次々と考级委員会を創り、アマチュア教習者向きの音楽考级コンクールを行い始めた。

1990年7月、アマチュア音楽の教育を整えるため、中国社会音楽教育の発展を促進するため、学校音楽教育の不足を補うため、中国でははじめての全国社会音楽

考级機構—全国楽器演奏考级委員会が中国音楽家協会から作られた。つまり、中国の全国的な楽器考级制度の誕生が宣告された。これは中国社会音楽教育の発展には重要な意義があると考えられる。

中国音楽家協会全国楽器演奏考级委員会の成立で中国社会音楽考级は萌芽発展期から発展、普及期に進む。

4-2-2 発展期(1991年～2000年10月)

1980年代の後半から1990年にかけて、広州、上海、北京などの地域で音楽考级試験が行われたことは全国的に注目され、特に、中国音楽家協会全国楽器演奏考级委員会の成立は、国内に大きな反響を呼んだ。これらの音楽考级試験の影響で、全国各地で音楽考级機構の成立が続いた。1991年から2000年までの10年間で考级機構は6団体から20余団体に増加した。

1990年代に入ると、社会音楽教育は全国各地に広がり、アマチュアが音楽を習うブームが生じた。それと同時に、考级機構自身も徐々に整備されている。社会音楽考级を受ける受験生が機構の数より多く、需要が多過ぎて供給が少ないので、中国音楽家協会音楽考级委員会、中国音楽学院考级委員会など実力を持っている考级機構が自分の範囲外(他の市)の所で考级試験を行うようになった。

この時期に、20余団体の社会音楽考级機構が相次いで成立され、同じ地域で様々な考级機構が同時に社会音楽考级試験を行うという現象が出てきた。だが、1つの地域の学生は数が決まっているので、様々な考级機構が同時に考级試験を行うことで受験生が分散する現象も出て来た。受験生の分散の現象は利益が減少することに繋がることに気づき始めた。さらに、考级機構の間の競争の動向が日増しに激しくなって、社会音楽考级機構の中で「商業的な運営」が徐々に見えてきた。

また、萌芽期に人気だったピアノ、バイオリンなどの楽器以外に、考级科目が増加した。2000年まで、各考级機構は音楽考级科目を約30種類に増やした。例え

⁷¹ 現在は広東省音楽家協会となっている。当時は広州にいる専門家、演奏家の人達が音楽学習者の為、一緒に広州ピアノ学会を立ち上げた。

ば、前述したように、トランペット、チューバ、サクソホン、フルート、クラリネット、チェロ、琴、二胡などの科目が増えた。

受験生たちが楽器を必死に練習するだけにするという問題が発生したため、1998年に中国音楽家協会は「音楽素養考級」を世に出し、音楽の基礎知識も審査の内容に入れた(後述)。

この時は、考級科目は西洋楽器演奏が多かったが、国家は民族伝統文化を重視する必要があると宣伝し、そして、市民たちもますます民族楽器に興味を抱き、「ピアノ、バイオリンブーム」から「民族楽器ブーム」が興った。そして、民族楽器の考級科目も増加し、2000年末まで、社会音楽考級の中で西洋音楽の科目の数より少し多い程度になった。音楽アマチュア教習者の人数が増加し、社会音楽考級試験を受ける人数も激増した。人々の生活水準が上がり、精神生活の豊かさも要求し始め、特に音楽を習いたい大人が増加した。

社会音楽の普及と共に、市民は音楽教育の重要性を意識し、出来る限りいち早く自分の子供たちに音楽教育を受けさせようとしている。そして、社会音楽考級試験を受ける低年齢の子供が毎年増加し続けた。

4-2-3 普及期(2000年10月～現在)

社会音楽考級機構が多く増加すると、不良な競争現象が徐々に出て来た。このような大きな問題が校外音楽教育の発展にも影響した。

この問題に対し、2000年10月11日に教育部は「全国社会芸術水準考級管理原則の意見」を發布し、新しい考級機構の審査の仕事を止め、社会芸術考級機構を整理する必要があると主張した。そして、2004年に「新社会芸術水準考級管理方法」(文化部令第31号)を公布し、混乱する局面を転換させ、社会音楽考級を正しい軌道に乗せた。

1990年代の後半、社会音楽考級の問題(過当競争)がますます出て来て、社会や市民の心配も増えて来た。この状況で、考級機構も危機を感じ、沢山の措置を取

るようになった。改革と発展方法を探し求め、社会音楽考級の秩序正しく発展を保つため、沢山の対策を考えた。その結果、各音楽学院、芸術学院が社会音楽考級試験に介入し、社会音楽考級機構が安定してきた。

2002年から2003年の間、舞蹈、美術、書道などの他の芸術類も、盛んに行われた。

そして、社会音楽考級試験を拡大するため、受験生に便利な考級条件を提供するため、利益のため、各考級機構が考級を受ける場所を増設した。音楽特訓学校、楽器販売店、監獄さえ、考級の場所となった。大規模な受験会場を増設することの影響で、さらに社会音楽考級の普及を促進した。同時に、一部の考級機構が田舎に考級を受ける場所を作った。遠い地方の音楽教習者のためであり、考級機構の新しい利益を得る道を開拓することでもある。

そして、21世紀に入り、特にWTO⁷²に加入した後、中国は対外開放の歩みを進み、社会音楽考級の発展も新しい局面に入った。中国社会音楽考級機構は海外にも拡大しようと準備している。中国の伝統音楽は、日本、マレーシア、シンガポールなどの東南アジアで愛されている。学習成果を確認するため、考級試験が注目されるようになった。現在、海外の考級機構の科目は主に中国民族楽器である。例えば、中央音楽学院考級委員会が1989年にシンガポールで中国民族楽器の考級コンクールを行った。2003年に、中国の伝統楽器の考級試験が香港特区で行われた。または2006年に、カナダの4つの地域で考級試験を行った。

2009年末まで、48団体の社会音楽考級機構では全国芸術考級の専門家から選ばれた音楽類の審査員は8511名に達している。皆の努力の下で、中国社会音楽考級はたくさん経験があり、高学歴、高レベルの審査員を用いている。

現在、芸術考級以外にパソコン、会計士などの考級試験も出てきて、これからは多元化考級になってくる

⁷² WTO とは、世界貿易機関。英: World Trade Organization の略称。自由貿易促進を主たる目的として創設された国際機関である。

と推測できる。

社会音楽考級試験は普及期の後半に入り、経験を積み、一つ大きく変わってきたのは、民族楽器の受験生が更に増え、西洋楽器を受験する学生が減少してきたことである。

4-3 社会音楽考級の良い点と問題点

4-3-1 社会音楽考級の良い点

まず、張力元は「中国社会音乐考级 20 余年の発展の道(上)」の中で、音楽考級試験の誕生で、中国の音楽教育に重要な意義があると言った(張 2010 a :33)。また、張は音楽考級試験の影響で、現在他の芸術分野も盛んになり、他の分野の学習者も増加している。音楽の普及に大きな貢献を与えたと指摘した(張 2010b:34 頁)。

また、唐建軍は「中国の音楽考級史を回顧と考察」の中で、考級試験の影響で、中国の素質教育も向上させることが出来る上、考級試験の普及と共に、楽器業界、出版業界なども良い状況に入ったと指摘した(唐 2012:132 頁)。

そして、林涵は「社会音楽考級の思考」の中で、子供が音楽考級試験の審査員(専門家)から、評価を得て、さらに楽器を上手に弾けるようになると述べている(林 2012:152 頁)。

さらに、趙文平は「社会音楽考級のメリットとデメリット」の文章の中で、音楽考級試験は子供と音楽教育の架け橋になっており、子供は考級試験を受け、記憶力を強め、分野を広げ、外の人々と交流するチャンスができると指摘した(趙 2010:162 頁)。

同じように何璇も「音楽考級現象の思考」の中で、音楽考級試験を受ける人が増加し続け、中国の音楽教育を推進させ、音楽知識も普及させ、音楽の素養も向上させることができると指摘した(何 2009)

張力元は「中国社会音乐考级 20 余年の発展の道(中)」の中で、考級機構は遠い田舎にも監獄に収監されてい

る人にも考級試験を行っている(張 2011b:33 頁)。学習者たちは平等であり、音楽考級試験を受けられるチャンスがあり、音楽を全国の隅々まで普及できている。

4-3-2 社会音楽考級の問題点

音楽考級が最初から現在まで、1年の受験人数が日増しに激増し、近年毎年の考級人数は25万を突破した。何璇はこんな音楽考級状態は「狂っている」と感じ、考級の元々意味が曲がってきたと感じ、こんなことは深く反省しなければならないと主張する(何 2009:124 頁)。確かに、近年は社会音楽考級を受ける学習者が激増し、考級ブームになっている。だが、社会から高い評価を得たが、利益を求め、不良な競争など、マイナス面もたくさん出て来た現状がある。

唐は「中国の音楽考級の歴史を回顧と思考」の中で、現在の保護者たちの会話には、必ず「あなたの子供は何級を取りましたか。今年は何級を取るつもりですか」などの質問があるという。保護者たちは8、9級などを取ると他の子供に優越した音楽水準と考えている。しかし、何級を合格すると、本当に子供の音楽能力を判断できるのか、考級試験の価値観を逸脱していると指摘した(唐 2012:132頁)。

また、考級機構についての問題も沢山ある。既に 4-2-3 で述べたように、教育部は 2000 年 10 月 11 日に新考級機構の審査の仕事を止め、社会芸術考級機構を整理する必要があると提言したが、実は、受ける学習者が日増しに増加し、社会音楽考級機構も増えてきた。その中のある考級機構はいろいろな手段を用い、受験者を招いている。例えば、無知な保護者の前で、うちの考級機構の審査員が優しいとか、100%合格書を貰える約束をするなど(林 2012:152 頁)。またある考級機構は不適切な費用を徴収することも少なくない(何 2009:125 頁)。さらに、ある考級機構は利益の為、経費の所で工夫する。例えば、経験のない、安い審査員を雇うなど(唐 2012:133 頁)。

そして、何璇は「音楽考級現象の考察」の中で、音

楽考級試験の教材は元々専門院校、専門組織などから教材を編纂し、出版するが、利益の影響なのか、各省、市自らが編纂した教材を出版し始めた。教材は多過ぎで、混乱した。また、楽器の先生たちは子供が音楽に興味があるかどうかを問わず、技術を、教えている。音楽の基礎知識から学ぶではなく、ひたすら考級試験を合格するように子供を訓練している。考級試験の合格証明書を得ても、音楽能力を判断できないののではないのかと指摘した(何 2009:124頁)。

一人の考級の審査員⁷³に話を聞くことができた。「中国の音楽考級試験を受験する学生が非常に多いので、受験する曲は最初から最後まで、すべてをチェックするのは難しい。だが、音楽の表現、楽器を弾き方、表情などがチェックポイントである。1級を受験する学生と10級を受験する学生なら、同じ曲の最初の所を聞くだけで、経験がある審査員は受験生の実力を判断できる。だが、音楽考級機構の管理(審査員へ賄賂など)など、社会音楽考級の問題は沢山あるが、すぐ解決できることではないと思う」。審査員の話は専門家として、ただの何分間の演奏を聴くだけで学生のレベルを評価することは正しいかもしれないが、社会音楽考級試験の様々な問題があるという現実もあるのだ。

⁷³ 筆者の琴の先生—李×、40代の女性、芸術学院を卒業後(22歳)、そのまま芸術学院で琴の先生になり、40歳の時に芸術学院の仕事を辞め、自宅で学生を教えるようになった。芸術学院にいる間、吉林省の各音楽コンクール、社会音楽考級の審査委員になっていた。2015年9月25日、先生の自宅に電話し、考級のことに話を聞いた。

第五章 結論

5-1 本論文の概要

本論文では現代中国における校外音楽教育—社会音楽教育(少年宮)と民間音楽教育(頤順琵琶学校)を中心に論じた。

第一章では、中国の学校音楽教育について述べた。まず、学校音楽教育の歴史を新中国建立前、新中国建立後、改革開放以後から現代の順で説明し、学校音楽教育の現状を論じ分析をした。結果、明らかになったのは、学校は音楽教育より、受験科目の教育を重視しているということである。広い中国の中には、音楽教育が盛んな学校もあるかもしれないが、受験は全国的なブームであることを考えると、多くの学校で音楽教育が熱心に実施されているとは考えにくい。それゆえ、学校での音楽教育は有名無実になっていると判断してもよいだろう。

第二章では中国の社会音楽教育施設—少年宮の分析を行った。その結果、少年宮は 50 余年の歴史の中で、発展、破壊、回復、改革、新たな発展などの変遷をしてきたことが解り、1990 代まで、少年宮の管理は整っていなかったが、政府や少年宮の教員たちが子供のため、一生懸命校外教育の発展を支えたことが明らかになった。少年宮の中で、长春市少年宮を取り上げ、1990 年代までの长春市少年宮と現在の长春市少年宮を比べて、分析した。インタビュー調査の内容と新聞記事を分析し、昔の少年宮は子供にとって良い思い出であったが、現在の少年宮は経費や利益などの考えが優先して、様々の民間機構が少年宮の中に入り、混乱する状況を生じさせている。また、少年宮自体が衰退する現状などの問題を指摘した。

第三章では民間音楽教育について述べた。豊かな生活を享受する親族が一人の子供に最も優れた教育をさせたいという思いから、優秀な先生を探してレッスンを受けさせる風潮がみられる。また、近年注目されているのは、2006 年に琵琶演奏家の周頤順が全国で初め

ての民間の琵琶専門学校「頤順琵琶学校」(吉林省辽源市福鎮大路 2 号)を創設したことである。つまり、先生のところで個人レッスンを受ける形から、民間の音楽専門学校へ通う形が出て来たのである。だが、民間音楽教育の授業料は少々高いので、一般的な家庭にとっては重い負担であることが解った。また、民間音楽教育機関は主に音楽学院の進学試験、考級試験などのための音楽教育を行っていることを明らかにした。

第四章では中国の社会音楽考級試験から見る校外音楽教育について述べた。英国王立音楽学院グレード試験と中国音楽学院考級委員会の考級試験の内容を紹介した。また、中国の社会音楽考級試験の発展の三つの時期—萌芽期、発展期、普及期について説明した。現在音楽考級試験を受ける人はますます増加してきたが、問題も増えて来たことを明らかにした。

5-2 音楽教育の問題

5-2-1 学校音楽教育

学校が音楽などの副科の授業を止め、毎日受験科目の授業を受けさせ、良い成績を取らせることが、本当に子供の将来のためになるのだろうか。学校の間でも、先生たちの間でも競争があり、学生の成績が良ければ、その学校は有名になってくるし、もちろん新入生を募集しやすくなるし、手厚い利益が入ってくることも、筆者は理解している。先生たちも自分のクラスの子供の成績が良ければ、先生の名誉、給料にも関係する。彼らは子供に明るい将来を送ってもらおうと考えているだろうか。学校はもっと子供の立場から考えてほしい。21 世紀に至って、中国の学校音楽教育を重視することに関する規定、政策などは山ほど作られたが⁷⁴、現実には上手く進捗していないようだ。学校の音楽教育は子供にとって、とても重要な場所である。子供は新しいものに触れ、興味を湧き出す場所は学校なのである。学校教育の中で、音楽だけを重視させようという

⁷⁴ 本論文の第一章 1—2—3 の中で説明した。

主張ではなく、政府が決めている課程表に従い、一週間に 2 回の音楽授業を行い、基礎的なものを学ばせ、音楽に興味がある子供が社会音楽教育や民間音楽教育機構へ行き、音楽を普及させ、子供に精神的糧を増加させる役目を持つことが重要だと考える。

5-2-2 社会音楽教育—少年宮の問題

長春市少年宮の関係者にインタビュー調査をしたが、筆者は現在の少年宮の本当の状況をあまり聞くことが出来なかった。少年宮の入学率等の資料も得られなかった。また、長春市少年宮のサイトには、少年宮の基本情報が載せられていたが、年度営業収入や、資産合計のところには「0」という数字が記載されていた⁷⁵。約 50 年の歴史がある長春市少年宮が、ほとんどの情報を公開していないことを筆者は理解できない。長春市少年宮の公開の情報が非常に少ない、情報の透明性がないなどと筆者は強く感じ、疑問に思う。

現在、長春市少年宮の関係者 A は、少年宮は政府からの補助金が足りないと言い、場所を民間に貸している。2-1-1 で述べたが、1995 年 5 月、国家教育委員会は中央共青团と一緒に『児童少年の校外教育機構の仕事の規程』を發布した。この規程の中で、経費が足りないため、少年宮の教育を妨害しない前提で、一部の敷地を民間に賃貸することができることが認められた。長春市少年宮は規程に従っており、場所を民間に貸す時に、子供のため民間の機構を慎重に選抜すると関係者 A は言った。だが実は、玄関の右手に目立つ場所で、成人の太極拳の民間機構が存在している。成人向けのクラスは、子供に何の役に立つのか。「少年宮」（児童少年の宮）という名前も本来の意味が失われてしまうのではないかと筆者は考える。

2-2-2 で述べたように、様々な新聞記事は、少年宮が衰退している状況にあることや、利益ばかりを追求

していることを報じている。元々中国が少年宮を作った本意とは子供が校外で遊べる場所を作り、「愛国心、愛市民、愛労働、愛科学」などの思想を子供に身に付けさせるという方針によるものだった(許 2002:27 頁)。昔の少年宮は庶民の味方だったが、現在は各種の有料である塾的な教室になり、良い場所を民間に高く賃貸するなどしている。1990 年代以後、少年宮へ行く子供たちにとって本来感じるべき楽しさが失われていた。少年宮は社会音楽教育の重責を負っている。少年宮は衰退という現実と直面し、今後社会音楽教育の重要な施設として振興するべき対策を考える必要がある。筆者の主張は単純に少年宮を 1990 年代の状況に戻すことではない。当時少年宮の教師が持っていた子供のため一生懸命考える姿勢、少年宮最初の初志と子供のために努力しようという気持ちに戻って欲しいのである。写真 7 のような状態に戻って欲しいのだ。教師が真剣な顔で、一生懸命子供に音楽を身に付けさせようという気持ちに戻ることを期待している。教師たちが少年宮の設立当時の考えに戻れば利益のことは考えずに、国の人材を育てようという気持ちが芽生えて子供本来の生活の豊かさを更に親身に教育する状況が出来てくると考える。子供の立場に立って、精神的な豊かさを享受させる教育が望ましい。

5-2-3 民間音楽教育の問題点

「一人っ子政策」の影響で、マンツーマンの音楽教育も盛んになってきた。各々の子供のレベルに合わせて、授業を行っている。一人の教師が一人の生徒の指導をするものである。だが、マンツーマン音楽の授業をを求める人が多くなり、教師の数も限りがあり、急に増員することはできないので、結果として、授業料はますます上がってしまっている。また、ある一部の音楽楽器の指導の先生たちは、保護者たちに強固な基礎知識を子供に身に付けさせたいと説明し、学習者の授業期間を延ばすことにより、利益を追求している。楽器の指導の先生が全員そうではないと思うが、民間音

⁷⁵ 長春市少年宮のサイト <http://1560186.1024sj.com/>(最終閲覧日：2015 年 12 月 18 日 20 時)

楽教育の市場を整える必要がある。また、保護者たちは子供に音楽を身に付けさせたいならば、良い有名な先生を盲目的に探すのではなく、もっとあらゆる角度から観察し、慎重に先生を選ぶ必要がある。

また、インタビューで、顕順琵琶学校は立派であり、教師たちは有名な琵琶専門家であり、学生も優秀であることなどを聞いた。3-2-3 で述べたが、これからこの学校はさらに発展し、小学校と中学校を造る予定である。だが、学校が発展するとともに、民間音楽教育の発展、普及を再検討する必要があるのではないのかと筆者は考える。遼源市は琵琶の故郷と言いながら、現地の学生の数より県外から来る学生が多い。何故せっかく身近に琵琶学校があるのに、行かないのだろうか。3-2-5 で述べたように、やはり、現地は物価が安く、収入が少なく、顕順琵琶学校は理想だが、学費は、周辺の人にとっては大変な出費である。琵琶学校の発展と共に、子供のため、例えば、夏、冬休みの時、無料で体験させる、あるいは最低生活保障金を貰っている家庭の子供の学費を半額にするなどの対策が必要である。そうすることによって、顕順琵琶学校のブランド力も徐々に上がっていくと考える。また、琵琶学校の関係者 B との会話の中で、顕順琵琶学校は生徒を指導して、音楽学院に入学させ、考级試験などに合格させることが目標としておりと何度も言っていたが、筆者は、試験を受験させ合格させることだけが目的ではなく、受験することにより、沢山の訓練により演奏技術が身に付き、生活する上で豊かな感情を享受することが出来ると考える。このことが本来の目的であるべきと考える。

5-2-4 音楽考级試験から見る校外音楽教育の現状の問題

中国の音楽考级試験の歴史はまだ 30 余年しかなく、英国王立音楽学院のグレード試験は 100 年以上の歴史があるため、英国王立音楽学院のグレード試験の方がしっかり整えられている。ピアノの考级試験を例にす

ると、英国王立音楽学院の試験を受ける時には、3 曲全部性格が違う曲を選ぶ必要がある。中国の試験も 3 曲を選ぶ必要があるが、練習曲と同じレベルの自由な 2 曲を選択し、受験する。英国王立音楽学院の試験は受験生に単なる自分の好きな曲を選ばせるのではなく、様々な性格の音楽作品を弾かせて評価することにより、さらに、音楽分野への広がり知識も評価できると期待されるのである。また、英国王立音楽学院の試験内容は 4-1-1 で述べたように、基礎技能、楽理、初見奏、視唱聴音、音楽理解の 5 つがある。だが、中国の考级内容は基礎技能と視唱聴音の 2 つしかない。英国王立音楽学院と比べるととても物足りない感じがある。中国は考级試験を受ける人が激増しているが、100 年以上に歴史がある英国の良い点をもっと研究し、中国の国情に合わせて徐々に直していく必要があると筆者は考える。

中国は音楽教育を普及するため、学習者の音楽レベルを判断するため、社会音楽考级試験を開始した。この考级試験は厳粛、公平、公正などの原則を持って行われているので、社会、保護者、学習者達にとって信頼できるものであった。社会音楽考级の普及は校外音楽教育の発展を促進している。

また、学習者は音楽考级を受けるため、楽譜を読み、暗記することと、目標を達成するため、毎日必死に練習することなど、学習者にとっては、とても良い訓練になり、西洋音楽、中国民族音楽の文化知識、理解能力や審美意識、心理状態なども良くなってくる。さらに保護者達も毎日子供の練習する曲を聴き、音楽の素養を身に付けるようになると筆者は考える。筆者は考级を受ける前、先生から習い、自宅で練習し、結果、家族の人々もその曲のメロディを覚え、また同じの曲を聴きはじめるとすぐメロディが浮かぶようになった。音楽考级の影響で、市民の音楽素養が高くなってきていると感じる。

そして、音楽考级試験の影響で、全国の経済も良くなってくると考えられる。受ける受験生が多くなり、

楽器市場、出版市場及び校外音楽機構市場などが大きくなっていく。何故ならば、受験生たちは練習する楽器が必要になり、音楽の先生(校外音楽機構)が必要になり、受験するための参考書も必要になっていく。例えば、考級の参考書は毎年更新している。受験生が多いため、たくさん売れると考えられる。

さらに、音楽考級の影響で、他の芸術分野⁷⁶も考級を考え、実行し、そして、音楽以外の芸術学習者も増えている。

だが、音楽考級市場の制度をしっかりと整え、先生と保護者の考え方を改めてほしい。保護者は考級試験が子供の将来の進学などのために受験するのではなく、もっと素直で、最初の気持ち一ただ子供に音楽の素質を身に付けさせたいことだけを考えていきたい。入学試験の点数を加算されるなどの目的があって音楽考級試験を受験するのではなく、考級試験を受けて、子供が音楽により多く興味を持たせる必要があると筆者は考える。

4-3-2で述べたように、音楽考級試験は社会から高い評価を得たが、利益を求め、不良な競争など、マイナス面も沢山出て来た状況がある。

まず、先生たちは自分の業績を表現するため、良い結果を保護者やそれ以外の多くの人たちに見せたく、子供の気持ちを考えずに、とにかく、申し込んだ級(レベル)を合格するように必死に練習させ、半年あるいは1年間ずっと受験曲を指導するのである。前述した通り、ひたすら楽器を練習するだけではなく、基礎知識なども重視しようと、中国音楽家協会が提言したが、現実にはできなかった。

筆者も同級生⁷⁷も 1998 年から社会音楽考級試験で琵琶の考級を受けた。当時中国音乐学院考級委員会⁷⁸が行

った音楽考級試験を受けた。当時の 5 級の費用は約 100 元(約 2000 円)だった。実は考級試験を行う半年前に、琵琶の先生から両親に「いついつに音楽考級試験がありますよ」と言われて、自分自身が受けたくなくても、両親が申し込む。保護者は自分の子供の修習状況や、また先生は優秀な先生かどうかを判断したかった。さらに子供が考級合格証明書を取得して、親戚あるいは周辺の人々に羨望させたい気持ちもあり、将来は考級の証明書を持ち、進学する時に点数を加算される可能性もあると考えている。筆者の保護者の考え方は多くの保護者も同じように気持ちを持っていると感じている。先生は自分の名誉、将来の利益のため、または保護者に安心させるため、考級を受けさせようと説得している。保護者は子供のためだからと思い込んでいた。だが、子供はこんな状況で試験のために音楽を習うことになる、いつかきっと耐えられなくなり、飽きる日が来る。実際に音楽に興味を持ち、音楽の素質がある人を抹殺してしまう可能性が高い。

また、考級機構の市場は混乱している。受験する学習者が日増しに増加し、社会音楽考級機構も増えてきた。その中の一部の考級機構は保護者たちの「自分の子供が合格して貰いたい」という気持ちを察し、沢山の受験者に来て貰うため、合格率を上げ、受験者全員合格するようにしている。また、節約のため、経験がある審査員を招請するのではなく、芸術大学や音楽大学の在学中の学生を招請する機構もある。筆者が友人の芸術大学へ行った時⁷⁹、何人かの学生に事情を聞いた。ある機構から招請され、「今回は審査員が足りないため、来て貰えますか」ということがあった。全部の考級機構を否定するわけではないが、ただこういう事実も存在しているのだ。

そして、考級試験を受ける時に、受験生が多いため、審査の先生は受験する曲を全部聞くことはできない。時間を節約するため、数分を聞いて一曲を終わりにさ

⁷⁶ 舞踏、美術、書道など。

⁷⁷ 琵琶の先生の所で一緒に習っていた人。

⁷⁸ 中国音乐学院考級委員会は1997年7月に考級委員会を設立した。現在まで、中国民族楽器(笛、琵琶、揚琴、琴、二胡、チャルメラ等)と西洋楽器(ピアノ、ギター、バイオリン、チェロ、サクソホン等)、全部合計 34 科目の考級試験がある。2004 年まで、178 箇所で行われている(張

2010d:39~40 頁)。

⁷⁹ 2015 年 8 月末、大学の名前は公表できない。

せて、次の曲に移る。審査員がただの数分間を聞くだけで、学習者たちのレベルを判断することができるのかと受験生は疑問を持っている。筆者も受験した経験があるが、本当に数分の演奏だけであった。ある一部の受験生は、審査員は最初の部分しか聞かないと知って、曲の最初の部分だけを必死に練習するという現象もある(何 2009:125 頁)。実は筆者も一緒に考級を受ける受験者も最初の部分を必死に練習すれば、合格できると思っていた。子供は音楽、楽器が好きというよりも、試験に合格するためだけを考えるようになってしまう。歪んでいる考え方が続くと、自分の趣味が解らなくなり、受験のためだけの勉強になってしまう。

本論文では、学校音楽教育と校外音楽教育、各々の良い点と問題点を指摘した。校外音楽教育は音楽教育の重要な構成部分であり、学校音楽教育の欠点を補足している。学校音楽教育と比べると、校外音楽教育の教育理念、教育方法は新しい。学校音楽教育では教材を使って、全員に同じものを学ばせ、先生の授業に合わせている。だが、校外音楽教育では、子供の能力に合わせて、授業をし、各子供の素質によって授業のレベルを決めるのである。

お互いに支え、欠点を補足し、発展を推進させることが出来る。校外音楽教育はミュージシャンを養成するという目的ではなく、音楽を普及させ、子供に精神的糧を増やさせ、心身健康な子供を養成することである。受験の成果の追求ではなく、校外音楽教育を普及させ、子供は心から、生活を愛し、音楽を愛し、さらに一生音楽を伴い、生活質量を向上させることが出来る。校外音楽教育は単に音楽を教育するだけではなく、社会人文素質を進歩させることが出来ると筆者は考える。

2-1-1 で述べたが、児童少年の校外教育を改良する意見』(1991年10月8日)の中で、「子供の校外活動は必ず子供の心身の健康を考え行い、子供の心理状況の規律と符合し、子供の年齢の特徴、理解の能力、趣味に基づいて、教育内容や方法を改善しなければならない

い」と指摘されていた。校外音楽教育の社会音楽教育と民間音楽教育がこの規程に従っていれば、ひたすら試験で子供の音楽能力を判断するのではなく、子供の心身の健康、心理状況などから考え、健康な校外音楽教育を行う。校外音楽教育は子供の音楽審美や音楽趣味などを向上させることが期待できる。

5-3 学校、社会、民間の協調

一般的には中国の音楽教育は学校音楽教育を指している。確かに第一章 1-1 で述べたように、「学堂楽歌」運動によって、中国の音楽教育史は新たな幕が開いた。音楽教育の最初の形も学校音楽教育である。学校音楽教育は音楽教育の中で重要である。だが、学校音楽教育の制度は形にはめられているので、社会発展と共に、それに満足できない市民は音楽知識や音楽技能など精神的な世界を要求することが日増しに多くなっている。校外音楽教育は市民にとってとても重要になっているのである。学校の音楽教育では規範性があり、学校へ通う子供たちが全員音楽知識に触れるチャンスがある。校外音楽教育では自分が習いたい気持ちがなければ習いに行かない。まず、学校で全員に音楽の基礎知識を普及する必要がある、さらに音楽に興味を持った子供に校外音楽教育を提供すべきだ。校外音楽教育の中で、社会音楽教育と民間音楽教育も別々の役割を持っている。まず、社会音楽教育一少年宮を例として、現在は各種の有料である塾的な教室になり、少年宮は国からの支援が不足していて、様々な分野の専門家の先生を揃えられない等の問題がある。民間音楽教育では各分野の専門家がいるが、信頼できるかどうかの判断ができない市民が多い。少年宮は社会音楽教育の重要な位置にあり、利益を考えるより、子供の将来を支える責任がある。例えば、経費を解決するため、敷地を賃貸することも政府に認められているので、慎重に本当に子供に役立つ民間機構を選び、少年宮の足りない分野を支えている。社会音楽教育は学校で音楽に興味を湧き、そして、安心で、安く政府が経営している

少年宮へ行き、自分の興味を持っているものを確認し、より深く音楽知識を習っていく。また、政府が応援している機構では、先生は公務員として勤め、人数が決まっているので、様々な分野を指導することが無理であるので、そこで、さらに将来は音楽の道に進みたい学生が民間音楽教育の所へ行く。学校音楽教育、社会音楽教育、民間音楽教育の間は、競争ではなく、お互いに支え、長所を持って短所を補足する考えが必要である。

5-4 今回の研究と今後の課題

今回の研究、少年宮について、もっと他の地域の少年宮を調べたかったが、長春市少年宮しか調査できなかった。また、顕順琵琶学校の調査も、事前に電話で

琵琶学校の調査をしたいなどを伝えたが、はっきり断られた。そして、直接琵琶学校へ行き、従妹がこちらで習いたいと伝え、やっと調査に成功した。本来は、周顕順にインタビューをしたかった。彼からは琵琶学校を創った目的や理由などを聞きたかった。周顕順の紹介は新聞記事にもあったが、本人にも確認したかったのである。中国ではまだこうした調査に対してオープンではなく、情報公開も進んでいない状況である。これから中国の情報が徐々に開放されれば、もう少し興味深い成果を書くことができたと筆者は考える。

今回は中国の校外音楽教育のことについて研究したが、今後日本、特に音楽の街と呼ばれている浜松市の校外音楽教育の研究に関心を持っている。

参考文献：

中国語文献(ピンイン順)：

- ・馬達 1999『20世紀中国的学校音乐教育』(『20世紀中国の学校音楽教育』)上海教育出版社 28頁
- ・馮錦綉 2007「上海钢琴考级历史及其钢琴文化产业」(「上海ピアノ考級の歴史及びピアノ文化産業」)上海音楽学院 修士論文
- ・丁玎玫 2006「1980年以来中国学校音楽教育の発展と反省」『武漢音楽学院』修士論文
- ・唐建軍 2012「中国大陆音乐考级的历史回顾与思考」(「中国の音楽考級の歴史を回顧と考察」)『安慶師範学院学報』第31卷第1期2月134-138頁
- ・唐鈞・張時飛 2002「走进小康—中国百姓生活质量大变化」(「小康社会—中国市民の生活の大きな変化」)『黄埔』第6期31-32頁
- ・李大川 2013「少年宮：公益之路“声声慢”」(「少年宮は公益の道から離れてくる」)『吉林日報』6月28日第013版
- ・李直 2012「奏响辽源文化产业最强音—访著名琵琶教育家、显顺琵琶学校校长周显顺」(「遼源市文化産業最強の音—有名な琵琶教育家、顯順琵琶学校校長周顯順」)『樂器』第08期28-33頁
- ・李琳 2014「关于哈尔滨市业余钢琴教育的现状及其发展的研究」(「ハルビン市におけるアマチュアピアノ教育の現状とその発展の研究」)ハルビン師範大学修士論文
- ・李林岩 2006「“春蕾” 竞放：记长春市春蕾少年宮」(「长春市春蕾少年宮について」)『吉林日報』1月20日第007版
- ・魯宓 2006「公益与生存的两难困境—寻求青少年宮回归公益之路」(「公益と生存の抜き差しならない状況—青少年宮の公益道を探し求める」)『亞太經濟時報』4月27日第A08版13-18頁
- ・林涵 2012「对社会音乐考级的思考」(「社会音楽考級の考察」)『大衆文芸』第13期166頁
- ・関瑞紅 2002「对北京市各区少年宮傳統音楽教学活動的考察」(「北京市の少年宮にて傳統音楽教学活動を考える」)『人民音楽』第8期41-43頁
- ・何璇 2009「对音乐考级现象的考察」(「音楽考級の現象の考察」)『井冈山学院学报』124-137頁
- ・郝利 2013「浅谈少年宮音乐教育」(「少年宮の音楽教育を談ずる」)『新課程學習(上)』174-175頁
- ・黃偉・孟建軍 2007「快乐童年 快乐少年宮」(「快樂少年 快樂少年宮」)『音樂』06-09頁
- ・黃偉・王延泓 2006「中国需要什么样的特长生?—少年宮器乐教育之感」(「中国にどんな芸術分野で秀でた生徒が必要なのか—少年宮樂器音楽教育の疑問」)『樂器』06-10頁
- ・黃琮瑶 2007「加拿大音乐考级之研究」(「カナダの音楽考級の研究」)『艺术百家』143-164頁
- ・曲芸 2014「校外教育中音乐教育现状及对策探讨—以少年宮为例」(「校外教育の中で音楽教育の現状及び対策—少年宮を例として」)『音樂時空』第4期204頁
- ・錢仁康 2001『学堂樂歌考源』上海音楽出版社
- ・徐巧玲 2009「我国学校音楽教育發展及其中专音乐教育问题」(「中国学校音楽教育の發展及び専門学校の音楽教育の問題」)西安音楽大学 修士論文
- ・許德馨 2002『少年宮教育史』(中华人民共和国教育专题史丛书精装)海南出版社
- ・職業技術 2004「教育部五项要求为中小學生減負」(「教育部から小中学生の負担を軽減するための5項規定」)『社会科学Ⅱ集・中等教育』第07期12頁
- ・褚曉亮・李瞧 2006「青少年宮：为何变成经营场」(「青少年宮は何故経営場になったのか」)『中国文化刊』5月16日第002版
- ・趙文平 2010「也谈社会音乐考级的利与弊」(「社会音楽考級のメリットとデメリット」)『教育教学论坛』162-164頁
- ・趙家治 2012a「琵琶の传承人—周顯順(上)」『吉林日報』6月27日第10版
- ・趙家治 2012b「琵琶の传承人—周顯順(下)」『吉林日報』7月2日第04版
- ・趙家治 2013「琵琶の传承人—周顯順」『民进吉林省委会』中国民主促進会吉林省委員会24-27頁
- ・趙敬蒙 2007「浅析社会音乐教育对学校音乐教育的影响」(「社会音楽教育は学校音楽教育に与えた影響を分析」)『新課程研究』07期17-18頁

- ・張良馴 2010「少年宮教育中の家长心理分析」(「少年宮教育の中で保護者の心理分析」)『中国青年研究』105-108 頁
 - ・張力元 2010a「中国社会音楽考级 20 余年の発展の道(上)」『樂器』30-33 頁
 - ・張力元 2010b「中国社会音楽考级 20 余年の発展の道(中)」『樂器』32-33 頁
 - ・張力元 2010c「中国社会音楽考级 20 余年の発展の道(下)」『樂器』23-25 頁
 - ・張力元 2010d「社会音乐考级机构知多少?」(「社会音楽考级機構はいくつがあるのか」)『樂器』38-41 頁
 - ・張英豪 2007「社会业余音乐考级研究与思考」(『社会アマチュア音楽考級の研究と考察』) 南京艺术学院修士論文
 - ・張綺琳 2008「「英国皇家音楽学院考級紹介」(「英国王立音楽院グレード試験の紹介」)『ピアノ芸術』03 月 01 日 30-34 頁
 - ・陳越 2014「学校音乐教育与社会音乐教育的比较与互动——以中小学课堂和艺术考级教学为视角」(「学校音楽教育と社会音楽教育の比較——中小学校の授業と芸術考級試験の教学からの視点」)『音乐时空』03 期 76-77 頁
 - ・陳雯・何雨 2006「独生子女:我国人口安全视野中不容忽视的焦点」(「一人っ子—中国の人口安全視野の中で軽視できないもの」)『青年探索』04 期 56-59 頁
 - ・任紅軍 2007「英国皇家音楽学院音楽考級研究」(「英国王立音楽院グレード試験の研究」) 山東師範大学修士論文
 - ・蔡继樂 2014「少年宮三問—部分城市少年宮現状の調査」(「少年宮の 3 つの問題—一部の少年宮の現状調査」)『中国教育报』4 月 15 日第 001 版
 - ・曹理 1993『学校音楽教育学』上海教育出版社
 - ・孫悦涓 2006a 中国学校音楽教育の歴史、現状及び発展の形勢(一)『芸術研究』01 期 15-16 頁
 - ・孫悦涓 2006b 中国学校音楽教育の歴史、現状及び発展の形勢(二)『芸術研究』02 期 69-70 頁
 - ・孫悦涓 2006c 中国学校音楽教育の歴史、現状及び発展の形勢(三)『芸術研究』03 期 60-61 頁
 - ・姚思源 2011『中国当代学校音楽教育文献 (1949-1995)』上海教育出版社
 - ・楊滢暢 2009「素质教育新視野下的校外音乐教育分析」(「新質素教育分野の下で校外音楽教育の分析」)『中国学校外教育』S5 期 175 頁
 - ・楊智 2013「社会音乐考级对中小学音乐教育的支架式构建」(「社会音楽考級は小中学校音楽教育に支え」)『四川師範大学』修士論文 4-36 頁
 - ・楊海龍 2012「沈阳市民办钢琴教育现状调查与研究」(「瀋陽市におけるピアノの民間音楽教育の現状調査と研究」)瀋陽師範大学 修士論文
 - ・王盈 2011「构建民办音乐教育的钢琴启蒙教学平台」(「民間音楽教育のピアノ教育啓蒙を取り上げる」) 東北師範大学 修士論文
- 日本語文献(五十音順):
- ・王智新 2004『近代中国の教育』明石書店
 - ・岡地まゆみ 2002「中国ピアノ事情 現地ルポ(前編)少年宮の音楽教室」『ムジカノーヴァ』73-77 頁
 - ・岡地まゆみ 2003「中国ピアノ事情 現地ルポ(後編)街のピアノ教師」『ムジカノーヴァ』74-77 頁
 - ・上山孝典 2010「中国における地域教育施設—少年宮と社区学校を中心に」『日本公民館学会年報』18-29 頁
 - ・賈燕妮 2011「中国における少年宮の現状と課題:北京市を事例として」『日本公民館学会年報』52-63 頁
 - ・高崢 2010『近代中国における音楽思想の成立—留日知識人と日本の唱歌』慶応義塾大学出版会
 - ・高崢 2003「近代中国における音楽教育の源流—清末における「学堂楽歌」運動興起の思想的土地壌について」社会学研究科紀要 第 56 号 35-49 頁
 - ・佐藤藤三郎 1973「中国の少年宮をみて」『児童心理』136-140 頁
 - ・ジェトロ 2012「中国楽器市場調査」日本貿易振興機構 1-63 頁
 - ・周建中 2009「中国の子どもの放課後—少年宮など校外教育機構の現状について」『児童心理』137-142 頁
 - ・秦燕 1994「現代中国における校外教育の研究:少年宮活動を中心に」『人間文化研究年報』18 170-176 頁

- ・錢初熹 1993「中国の少年宮における美術教育の歴史と展望」『芸術教育学』53－72 頁
 - ・錢初熹 1996『中国の小学校における絵画教育の研究—日本の比較考察』博士論文 325－360 頁
 - ・曹理 2008『現代中国音楽教育論』開成出版
 - ・白雪晴 2004「中国の社会教育施設の実態調査とその分析—フフホト市少年宮を中心として—」『現代社会文化研究No.31号』61-78 頁
 - ・劉丹 2012「現代中国における琵琶教習プロセスの研究」東京芸術大学博士論文
 - ・渡部宗助 1992「中国の校外教育施設・少年宮参観記」『文部科学省生涯学習政策局調査企画課 通号 415』42－45 頁
- ウェブ記事：
- ・全国社会芸術水準考級センター公式サイト
<http://www.kaojionline.com/>
 - ・中国音楽教育教材サイト www.98518.com
 - ・中国基礎教育サイト www.cbe21.com
 - ・中国人民共和国教育部公式サイト <http://www.moe.edu.cn/>

図表、写真

図 1:

近代学校制度が本格的に導入されるのは、「奏定学堂章程」である。
「奏定学堂章程」—初等教育は 9 年、中等教育は 5 年、そして高等教育が 6～8 年と決まっている (筆者作成)

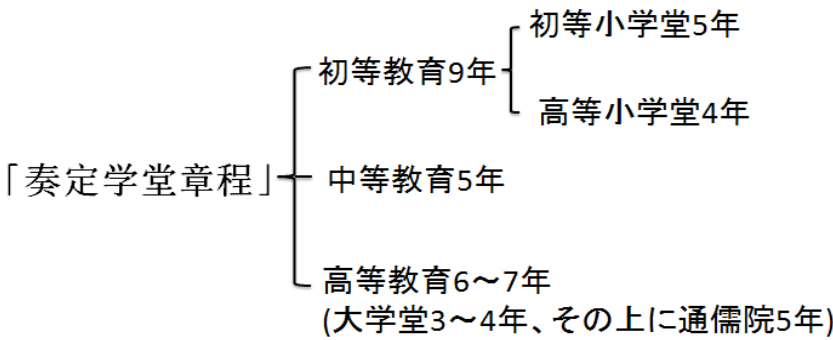


表 1:

1985 年以降の中国の会議や規定における音楽教育の位置づけ (筆者作成)

1985 年	中央国務院	「第一回全国教育事業会議」	音楽教育に関わる内容はない
1986 年	李鹏	『中華人民共和国義務教育法 (草案)』	①音楽教育を重視し始め、学校教育の中に戻る ②音楽教育の国際交流
1989 年		『教育改革を深化し、全面推進する素養教育の決定』	根本から学校音楽教育の重要地位を確立
1993 年	中共中央国務院	『中国教育改革と発展の綱要』 35 条	音楽教育の新局面を論理的、政策的な保障を提供
1997 年	教育委員会	『芸術教育の仕事条例』	音楽教育は学校教育の中での地位がますます向上
2001 年		『中小学音楽課程標準』、 『中国九年義務教育全日制中、小学音楽教学要綱』 (修訂稿)	中国の学校音楽教育は改革的実質段階に入る

写真 1:

小学校でプラスチックの笛を吹く音楽授業

「新浪广东」サイト:「南沙区榄核镇星海小学延续星海情 全校学生都会吹竖笛」(「南沙区榄核镇星海小学校 学校全員笛を吹ける」)

<http://gd.sina.com.cn/city/gdyw/2014-11-05/09501897.html> (最終閲覧日 2015 年 12 月 11 日午後 5 時)



図 2:

音楽の授業を受験科目に変えることについての教員と校長の態度についての調査

『中国教育新聞』サイト http://www.jyb.cn/basc/sd/201509/t20150929_638519.html

この表は 2015 年 9 月 29 日に中国教育新聞記事に掲載された(最終閲覧日 2015 年 12 月 22 日午後 5 時)

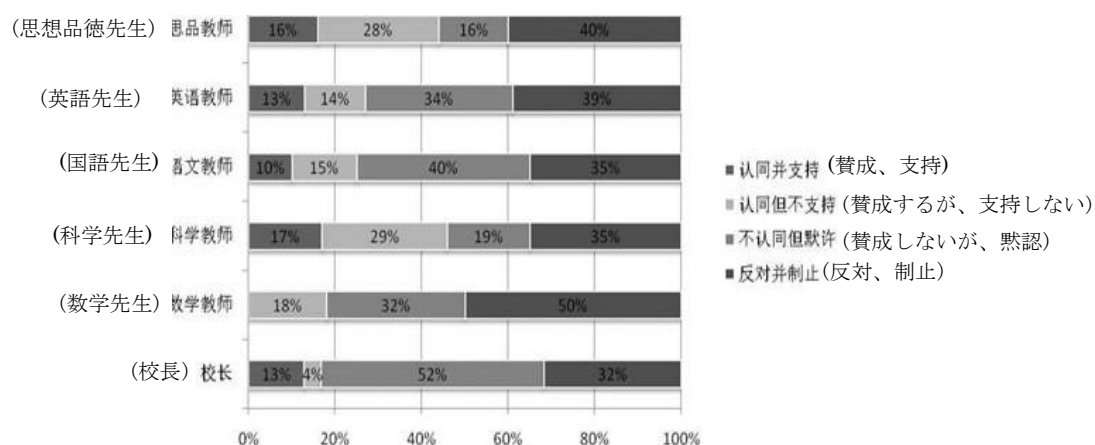


写真 2:

長春市少年宮の正面(筆者撮影 2015 年 3 月 31 日午後 1 時 30 分)



写真 3:

玄関から長春市少年宮の全体を撮影(筆者撮影 2015 年 3 月 31 日午後 1 時 30 分)



写真 4:

長春市少年宮 1 階の左壁に掲げられた写真。

以前長春市少年宮の先生が子供を連れて、各地に公演した時の様子(筆者撮影 2015 年 3 月 31 日午後 1 時 33 分)



写真 5:

長春市少年宮 2 階の左壁に掲げられていた写真。

2014 年長春市少年宮来学期の募集内容と学費。ピアノの学費は少々高い(筆者撮影 2015 年 3 月 31 日午後 1 時 40 分)

2014年长春市少年宫下学期招生信息																
专业 教师 上课时间 教室 学费 年龄						专业 教师 上课时间 教室 学费 年龄										
声乐	马如丹	周日 16:10-17:40	310室	500元	4岁以上	钢琴	王 影	周六 11:00-11:50	421室	1920元	声乐	张雪伟	周六 14:30-15:30	406室	600元	4岁以上
	李 刚	周六 13:00-14:30	324室	500元	4岁以上		申 森	周日 13:30-14:20	417室	1920元		曹忠伟	周六 15:30-16:30	406室	600元	4岁以上
		周六 14:30-16:00	324室	500元	4岁以上			邵 辰	周二 17:30-18:20	403室			1920元	王艺彤	周二 17:00-18:00	406室
	周日 13:00-14:30	324室	500元	4岁以上	陈 巍		周日 17:50-17:40		403室	1920元		陈 婷	周六 9:50-10:50		412室	600元
	周日 14:30-16:00	324室	500元	4岁以上			陈 巍	周日 8:00-8:50	423室	1920元			陈 婷	周日 10:10-11:40	425室	600元
	周六 8:30-10:00	324室	500元	4岁以上	陈丽娟			419室	1920元	李曉波		周五17:00-18:00		1280元		
	周六 10:10-11:40	324室	500元	4岁以上			萨克斯	许建群	周日7:30-11:30			411室	1680元	辛 兰	周日 17:30-18:30	
	周日 8:30-10:00	311室	600元	8岁以上	韩 露			周六日全天 (一对一)	1680元	杨 柳		周六、日13:00-14:30	410室		1080元	
	周日 10:10-12:00	311室	600元	8岁以上			长 笛	张 佳	周日7:30-11:30			420室	1680元	中学生班	周六、日10:10-11:30	317室
	周六 8:00-10:00	311室	600元	8岁以上	古筝			陈 欣	周六日 (一对一)	409室		1680元	钢琴		周六17:00-19:00	1320元
周日 10:00-12:00	311室	600元	8岁以上	古筝		陈 婷	周六全天 (一对一)	426室	1680元	声乐	周六10:00-11:30	1100元				
周六 13:00-15:00	322室	600元			手风琴	陈 婷	周日全天 (一对一)	425室	1680元		拉丁舞	周六14:30-16:00	1100元			
周六 15:00-17:00	322室	600元		电子琴		张雪莉	周日13:00-14:30	404室	1080元	健美操		周六、日 10:30-12:00	1080元			
周日 8:30-10:30	322室	600元			张雪莉	周日17:00-18:60	404室	1080元	跆拳道		周六、日 15:40-17:10	1080元				
周日 10:30-12:00	322室	600元		郭博		周六13:00-14:30	401室	1080元		跆拳道	周六日 9:40-10:30	900元				
周六、周日全天	315室	600元			郭博	周日13:00-14:30	404室	1080元	跆拳道		周六日 14:50-15:40	900元				
周三 15:00-16:30	315室	600元		郭博		一对二上课	405室	1200元		跆拳道	周四、五17:00-18:00	体育中心 1100元				
周六 13:00-15:00	311室	600元			郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道		周六、日 8:30-9:30					
周六 15:00-17:00	311室	600元		郭博		一对二上课	418室	1680元		跆拳道						
周日 13:00-15:00	311室	600元			郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
周日 15:00-17:00	311室	600元		郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
周六 8:30-10:00	308室	500元			郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
周六 10:10-11:40	308室	500元		郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
周六 13:00-14:30	308室	500元			郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
周日 8:30-10:00	308室	500元		郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
周日 10:10-11:40	308室	500元			郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
周日 17:00-18:00	312室	600元		郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							
				郭博		一对二上课	411室	1680元		跆拳道						
					郭博	一对二上课	411室	1680元	跆拳道							

写真 6:

1972 年に少年宮で演奏する時の張雪莉 (提供：張雪莉)



写真 7:

1971 年の長春市少年宮民族音楽コースの学習者たちの写真（提供：張雪莉）



写真 8:

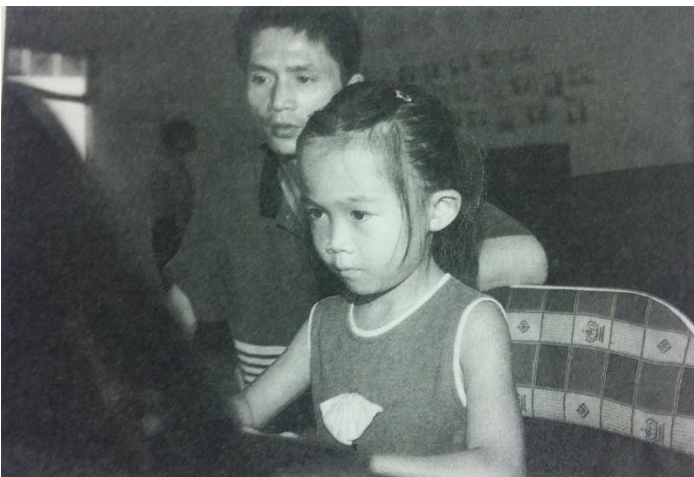
1971 年の長春市少年宮の民族楽器のクラスの女子学習たちの写真（提供：張雪莉）



写真 9:

岡地が 1980 年代に北京市西城区少年宮を訪問した時の写真(岡地 2002:73 頁)

左側の先生が子供にピアノを教えている。写真から先生の真剣に子供を教えている姿と一生懸命ピアノを習う女の子の姿が見える。



この出勤簿の中で、先生、係員及び管理者等全部合計 65 余名がいることが解る(筆者撮影 2015 年 3 月 31 日午前 9 時 30 分)

[illegible]

長春市少年宮 1 階の右壁に掲げてあるパネル民間音楽機構（民族楽器—琴を教える機構）。趙峰（琴の先生）の紹介と先生が教えた学習者がコンクールで優勝した証明書などが載せられている（筆者撮影 2015 年 3 月 31 日午後 1 時 35 分）



写真 12:

長春市南関区の道で撮影した写真。

ビルに沢山の個人の特訓機構の広告が貼ってある。上の赤い看板には「華宸」琴の特訓センター」と書いてあり、右下の緑色の看板（赤い横断幕に隠れている）は「頭順琵琶学校」の分校と書いてある。様々な民間教育機構のものが貼ってある（筆者撮影 2015 年 3 月 30 日午後 3 時 00 分）



写真 13:

琵琶のマンツーマン授業の様子

「广东新快报」のサイト: (「北京角门琵琶一对一培训 马家堡学琵琶」) (「北京市琵琶マンツーマン訓練 馬家堡学琵琶」) <http://www.xkb.com.cn/xinxi/4120247.html> (最終閲覧日 2015 年 12 月 21 日午後 9 時)



写真 14:

顕順琵琶学校（正面と左側のビルを含む）

付近は静かで、集団住宅など高いビルがない(筆者撮影 2015 年 3 月 29 日 12 時 40 分)



写真 15:

写真は顕順琵琶学校の 1 階の右側の壁に貼っていた。

顕順琵琶学校から各音楽学院に入学した学生たち(筆者撮影 2015 年 3 月 29 日 12 時)



図 3:

顕順琵琶学校の構成(筆者作成)

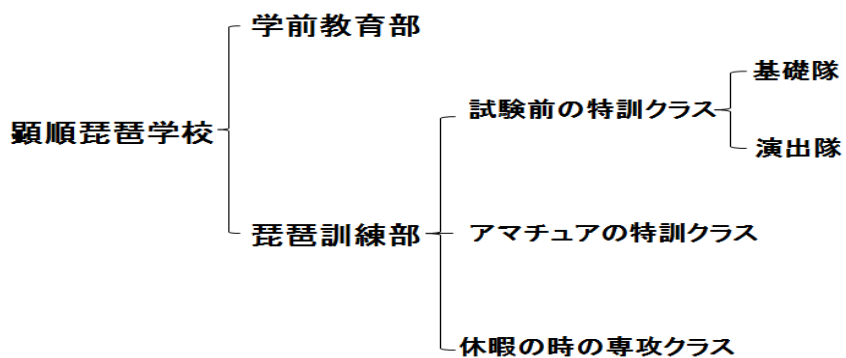


表 2:

頭順琵琶学校の試験前の特訓クラス(筆者作成)

対象	全国各音楽学院に入学したい大学院、大学、高校、中学の学生
期限	12 か月以内
クラス	基礎隊・演出隊
学費	1 か月の学費 2,000 円(40,000 円)
市外の学生	寮は 3 種類あり、一人部屋、二人部屋、大部屋に分かれ一番安い賃料は 1 か月 300 円(6,000 円) 注：校内に寮が設置
1 クラスの人数	約 7、8 人

表 3:

試験前の特訓クラスの日程(筆者作成)

7:30~9:00	授業	周頭順や琵琶の他の先生	琵琶の一曲を選び、琵琶の弾き方を習う
9:00~12:30	自由	学生(個人の琵琶)	自由に琵琶を練習する
13:00~14:30	授業	音楽先生	音楽の一般基礎理論を習う
14:30~17:00	自由	学生	自由練習と勉強
17:00~19:00	自習	先生と学生	解らない所を先生に聞く
19:00~	解散	学生	家か寮に戻る
☆学生がマンツーマン授業を希望することもできる。 授業料は周頭順：40 分 500 円(10,000 円)、普通な先生：40 分 200 円(4,000 円)			

表 4:

アマチュアの特訓クラス(筆者作成)

対象	6 歳~15 歳
授業について	土、日或いは夏、冬休みの時
授業料(初級)	1 時間 100 円(2,000 円)
マンツーマンの授業料	周頭順 40 分で 500 円(10,000 円) 普通な先生 40 分で 200 円(4,000 円)

表 5:

休暇の時の専攻クラス—琵琶を習うことの中で、スピートを上げることは難しい。
一般的な琵琶演奏家の基本条件は 1 分間 180 拍から 208 拍のスピートである (筆者作成)

対象	学生と青年教師
授業	夏、冬休み
目的	演奏のスピートを向上させたい

写真 16:

顛順琵琶学校の正面に貼ってあった写真。
2011 年 7 月 26 日「中・奥国交樹立 40 周年祝賀コンサート」の為、国家文化部は顛順琵琶学校の先生と生徒を率いて、ウィーン楽友協会大ホールで演奏した (筆者撮影 2015 年 3 月 29 日 11 時半)

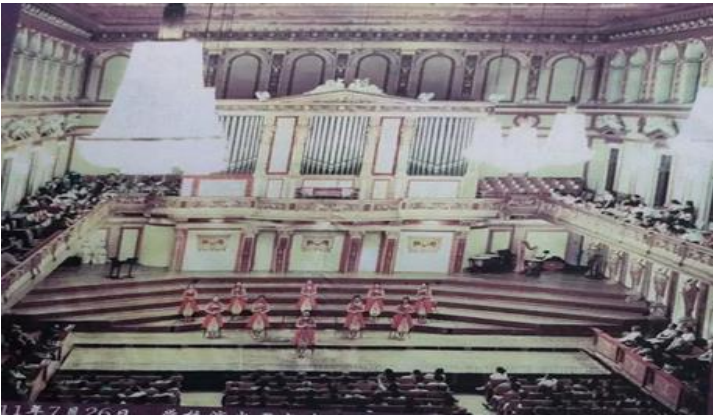


写真 17:

顛順琵琶学校の正面に貼ってあった写真。
2011 年 7 月 26 日に遼源市第 1 回国際琵琶文化芸術祭が遼源市運動場で開催。
2012 名の琵琶奏者が一緒に『金蛇狂舞』を演奏した時の写真
(筆者撮影 2015 年 3 月 29 日 11 時半)



写真 18:

社会音楽考級(琴)を受ける現場

「金声古筝」のサイト:「2011 年江蘇省音楽協会考級円満成功」(「2011 年江蘇省音楽協会で行った考級試験は成功した」)

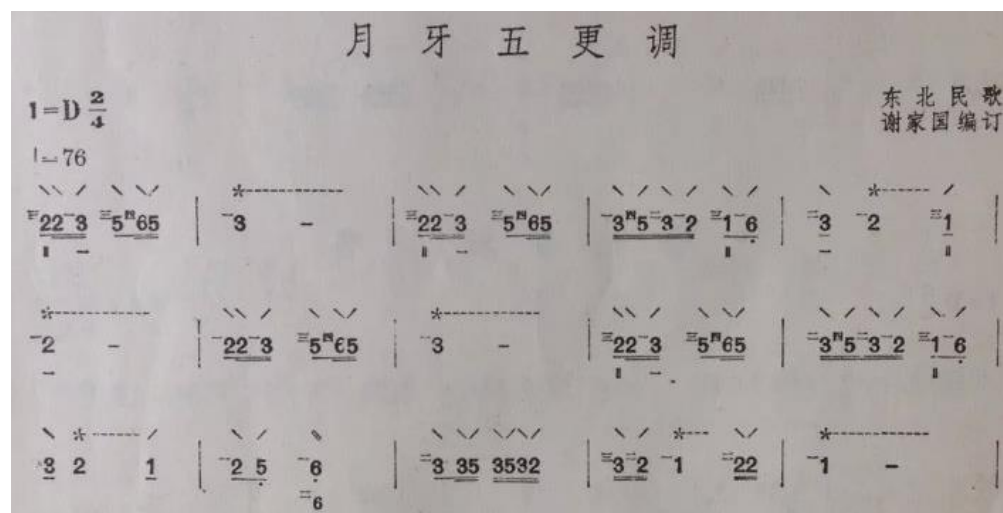
<http://mall.guzheng.cn/jinshengguzuo/244/148.html> (最終閲覧日時 2015 年 12 月 10 日 20 時)



写真 19:

①琵琶の 1 級の楽譜『三日月五更調』簡単な楽譜、特別弾き方が含まない。

出典:『中国琵琶考級曲集』上海音楽出版社 2003 年 9 月



②は8級の楽譜の一部『十面埋伏』

戦争の曲を表現した。弾くスピードが速い、弾き方も複雑（筆者撮影 2015 年 12 月 10 日 19 時）

出典：『中国琵琶考级曲集』上海音楽出版社 2003 年 9 月

十 面 埋 伏

古 卫 仲 乐 曲
袁 春 尧、叶 维 然 记 谱
林 友 仁、胡 晓 芳

1=D $\frac{2}{2}$ $\frac{2}{4}$ $\frac{3}{4}$ $\frac{4}{4}$

【一】列 营
慢起渐快

稍 慢

fff

mp

ff

慢起渐快

原速

(分 管)

慢起渐快

原速

写真 20:

中国の民族楽器

写真の中、手前が阮(2 種類)、その奥に蛇皮線、一番奥に琴(2 種類)

「中国音楽学院考级委员会」のサイト <http://www.ccmgec.com/>（最終閲覧日 2015 年 12 月 24 日午後 4 時）



表 6:

音楽考级機構(18 団体) (張 2010d を参照し、筆者が作成)

考级地方	機構の名称
北京	北京児童芸術劇院(株)音楽芸術考级委員会
上海	上海江南糸竹協会音楽芸術考级委員会
	上海音楽家協会音楽芸術考级委員会
	上海市打楽協会
天津	天津市音楽家協会考级委員会
	天津音楽学院音楽考级委員会
吉林	東北師範大学芸術考级委員会
江蘇	江蘇省音楽家協会音楽考级委員会
浙江	浙江省音楽家協会考级委員会
福建	福建省管楽芸術協会考级委員会
	福建省音楽家協会音楽考级委員会
湖北	湖北省音楽家協会考级委員会
広東	広東省音楽家協会考级委員会
広西	広西芸術学院芸術考级委員会
四川	四川省音楽舞踏研究所音楽考级委員会
	四川音楽学院
陝西	西安音楽学院社会音楽考级委員会
新疆	新疆ウイグル自治区音楽家協会考级委員会

表 7:

芸術考級機構(24 団体) (張 2010d を参照し、筆者が作成)

	機構の名称
遼寧	遼寧省民衆芸術館芸術考級委員会(音楽、舞踏、美術、書道)
	瀋陽音楽学院社会芸術水準考級委員会((音楽、舞踏、司会)
吉林	吉林省民衆芸術館社会芸術水準考級委員会(音楽、舞踏、美術、書道、演技)
	吉林芸術学院社会芸術水準考級委員会(音楽、舞踏、美術、書道)
江蘇	南京芸術学院考級委員会(音楽、美術、書道)
浙江	浙江省芸術職業学院社会芸術水準考級委員会(音楽、舞踏、美術、書道)
	浙江歌舞劇院考級委員会(音楽、舞踏)
安徽	安徽芸術職業学院考級委員会(音楽、舞踏、美術、書道)
	安徽省芸術館社会芸術水準考級委員会(音楽、舞踏、美術、書道)
福建	福建省自考処社会芸術水準考級委員会(音楽、舞踏)
	福建芸術職業学院社会芸術水準考級委員会(音楽、舞踏、美術、書道)
山東	山東省芸術館社会芸術水準考級委員会((音楽、舞踏、美術、書道)
河南	河南省芸術学校芸術水準考級センター(音楽、美術)
湖北	湖北芸術職業学院、湖北省民衆芸術館芸術考級委員会((音楽、舞踏、美術、書道)
	武漢音楽学院考級委員会(音楽、舞踏、朗誦)
湖南	湖南省民衆芸術館芸術考級センター(音楽、舞踏、美術、書道)
	湖南省芸術職業学院考級センター(音楽、舞踏)
広東	広東省民衆芸術館社会芸術水準考級委員会(音楽、舞踏、美術、書道)
	星海音楽学院社会音楽芸術水準考級委員会(音楽、舞踏)
雲南	雲南大学社会芸術水準考級委員会(音楽、舞踏、美術)
	雲南芸術学院アマチュア芸術考級委員会(音楽、舞踏、美術、書道)
陝西	陝西省芸術館社会芸術水準試験センター(音楽、舞踏、美術、書道)
甘肅	甘肅省芸術学校芸術考級委員会(音楽、舞踏、美術、書道)
新疆	新疆ウイグル自治区衆芸館考級センター(音楽、舞踏、美術、書道)

添付資料Ⅰ：

翻訳①：

2006. 5. 16『中国文化刊』第 002 版 褚晓亮・李瞧「青少年宮：为何变成经营场」

青少年宮はなぜビジネスの場になったのか

青少年宮は街の青少年が成長時期に通う第二教室で、不可欠の場所であり、沢山の良い思い出を記憶する場所である。しかし、市場経済の道に向かっている今日、青少年宮は避けられない生存と発展の問題に直面している。

沢山の青少年宮は資金難に陥っていて、副業をやる、或いは青少年宮の敷地を賃貸することを行い、本来は公益活動のための場所が元々の効能を失い、各種の有料である塾的な教室になった。

公益と生存のジレンマに陥って、青少年宮は公益に戻る出口はどこにあるのだろうか。

旧児童樂園・現在経営場所

記者は長春市の少年宮は、広い中庭はがらんとして、ただ一か所に少年宮で行っているダンスや国画（国の絵画）などの特訓クラスの掲示板があるのを見た。扉を開けて少年宮に入るとホールはひっそりして、ホールの右角の所に掲示板が置いてあり、その中身は、少年宮各種の特訓クラスの簡単な紹介が書いてある。その中に国画、ダンス、テコンドー、各種の楽器などがあり、前期（半年）の学費は美術教室の 360 元からピアノ教室の 1200 元などの値段が付いている。

少年宮の一階の卓球教室に行く廊下で、一つの高校補習学校の広告があり、学校の問い合わせと事務局そして 4~5 個の教室がそこにある。「明日は試験のため、今日は休みで、人はいません」と書いてある。この補習学校の校長先生からは、私たちは 2004 年にここに引っ越して来たということであった。

吉林市少年宮は、各年齢層の学生から学費を集めるために数学オリンピック特訓クラス、予習クラス、アップクラス、英語クラスなどを揃えている。毎日午後 4

時授業が始まり、土、日は終日やっている。一人の係員が記者に、現在は、各クラスの学生定員は限界になって、もし習いたかったら、クラスの先生と相談して、編入生になることと言っていた。

インタビューの中で、業界の人は、特訓クラスを造り、場所を賃貸するということは現在全国各地の青少年宮では見慣れてしまい、少しも珍しくないことであると言っている。

青少年宮は 1950 年代に青少年の校外活動及び社会教育問題を解決するために設立された。当時の青少年宮は青少年を集めて公益性科学の普及を行い、文化活動の場所を提供し、常に有意義な社会活動を行う場所になっていた。無料の青少年校外活動の基地になっていた。少年宮は、興味性、開放性、でたくさんの児童と少年を引き付けていたことは今日まで皆の中で覚えている。

1970 年代、少年宮合唱団の一員である徐芳は過去の楽しい思い出を「当時の少年宮は無料で入れるだけでなく子供たちの楽しい宮殿でした」と思い返した。

だが、楽しい宮殿が各種有料である学習補習クラス、特訓クラスになってしまっただけで青少年の楽しい宮殿から、種々さまざまな学校、企業利益を得るため画策された場所になってしまった。

長春市少年宮の主任の張穎が記者に「現在の少年宮はやりにくい。少年宮は全体の少年児童に向いて、目的は学生が学校以外で校外活動の時間と場所を作り、少年宮は学校教育を伸ばし補足する場所である。私たちも少年宮を完全に公益のため作り、子供達に優れた良い学習環境を提供したい。だが、今は、バツが悪い環境になっている」。

苦境の時期を張さんは「少年宮は国家から資金をもらい、政府の導入資金を少年宮の支出が上回っている。少年宮ではスタッフの給料と経費として毎年国家から 200 万元を支援して貰っている。少年宮は大型活動と改修する時に教育局に申請し支援してもらう。しかし、

日常の支払い、設備の更新、外部から教員を招聘、商活動の経費などは自分たちで方法を考え解決するしかなかった」と談じている。

「青年宮も大変ですよ」と长春市青年宮主任の于晓杰と張穎は同じ気持ちである。「資金不足、ビルが古い、ビルの設備が遅れている、これは私たちの青年宮の現状だ。また、経費不足と待遇低下の影響で優秀な人材を失ってしまう。政府の導入支援は焼け石に水で資金が不足、もちろん活動も簡単に行えない」。

経費不足は少年宮に対する普遍的な問題である。経費不足のため市場化を選択し、資金不足を補う、つまり自分で自分を救う。張穎は「国家に依頼するだけでは足りない。私たちが特訓クラスを作りお金を取って日常の支払いに充て解決している」。特訓クラスを言うとき張さんは「現在保護者が子供に一芸に秀でることを望み、そして、校外にはたくさんの特訓クラスがあり、私たちが特訓クラスを作ることの一つは重要な経費維持活動である。もう一つは市場の需要に対応している」。

公益の戻る道はいくつかのハードルを越えなければならないのか。

中京中央事務庁、国務院事務庁は「未成年校外活動場所の建設と管理の仕事をさらに強化することに関する意見」を発表した。文献の指摘、各級政府からの投資では未成年に公共サービスを提供する青少年宮、少年宮、青少年活動センター、児童活動センター、科学技術館等の場所は公益性になっている。ずっと公益性を守る必要がある。未成年校外活動の場所では、利益を目的としてはいけない。

青少年宮の公益性を回復する必要があるが、青少年宮自身生存の苦境がたくさんあるのだ。一体、少年宮はどうすれば社会公益と経済公益のバランスをとれるのか。

この校外場所が本当の公益性を実現するためには、まず、国家と各級財政は青少年宮の発展現状に応じて支援する。また、社会に呼び掛け、一緒に青少年校外教育について支持し、青少年の活動に便宜を提供する。

張穎は記者に「過去の少年宮は沢山の活動を行っていた。ほとんどの場所は無料であった。だが、現在最も安い活動場所でも一回で4000元を支払わなければならない」。

張穎は、国家政策の範囲内で、少年宮にはある特訓クラス(有料稽古場)を作ることを認め、「特訓クラスの資金で少年宮の活動を支える」と思う。

于晓杰は管理体制から手を入れ、少年宮の管理上遅れている理念、硬い体制を破って、政府が校外教育市場を整えるとともに、企業支援及び社会の支持を貰うように努力し、青少年宮を社会事業として運行するほうが良いと言った。

長春市教育局部長孫裕東は、「青少年宮の公益性を守りたい場合は、まず教師に安定した給料を与えることである。すべての教師は青少年宮を完全公益施設になることを望んでいる。必要な人件費支払いを提供すると同時によい教師(人材)を守る方法を考える。自分の独自のブランドを作り、そして独特の活動を行えるし、もっとたくさんの青少年学生を引き付け少年宮の活動に来て貰いたい」と言っている。

翻訳②:

2013.06.28『吉林日報』第 013 版記者—李大川 「少年宮：公益之路“声声慢”」

少年宮はまだ公益の道へ戻っていない

もうすぐ夏休みで、各種の特訓クラスの儲かる一番良い時期に入る。様々な特訓機構の中で、少年宮も同様に様々の「特訓クラス」の授業が始まった。

記者は長春市の一部の少年宮をインタビューする時に、様々な特訓クラスの授業を行うことが少年宮の主業になり、これらの特訓クラスは社会の特訓機構と変わらない内容で、授業料の価格も大同小異で大きな差がないと気付いた。市民はこの現象が繰り返されて慣れてしまっている。この授業料を支払っているうちに、少年宮の公益性が自然に思い出せなくなっている。

中国は2006年に、少年宮などの未成年校外活動場所がずっと公益性を維持する必要があると命令を下した。だが、記者は7年も過ぎて、おのおのの少年宮がずっと自分たちはどのように公益性を維持するのに努力し続けているのかを宣伝しているが、少年宮はこの公益の道に進むスピードが遅いと感じている。

印象と変遷―「特訓宮」かつての美しい光陰

長春市少年宮から出た子どもたちの中で、誰が一番有名なのかというと、もちろん世界の卓球チャンピオン「王皓」である。王皓は7歳の時に長春市少年宮へ卓球を習いに行った。少年宮がきっかけで、オリンピックで優勝した。王皓にとってこの幼い思い出は忘れられない、懐かしいことである。

王皓と同じように、1990年代以前少年宮へ通って、少年宮に忘れられない思い出を持つ人々も沢山いる。

長春にある民営病院で勤めた李鑑晋は、1980年代中期7、8歳の時、住む所は市少年宮に近かったので、頻繁に通ったが、ただ当時の少年宮は沢山の集団活動があったという印象を残している。当時のことを振り返って、李鑑晋は「余り細かく覚えていないが、楽しく遊んだ」と言いまとめた。

現在、長春のある重点中学校で歴史を教えている馬先生は少年宮を思い出して、彼女は1993年から1999年までの間、寛城区少年宮でダンスと美術を習ったと言った。親が申し込んだが、自分も興味があったのだ。彼女は社会の特訓クラスと比べると、少年宮の長所は主に出演する機会が多く、芸術などの分野で秀でる生徒たちに良いことだと感じた。「ちょっと残念ですが、当時は、既に授業料が必要となっていました。でも私の家庭はサラリーマン階層でしたが、まだ負担出来ました。とにかく楽しかったですよ」と言った。

馬先生は、1990年代以後少年宮へ行く子どもたちが本来感じるべき楽しさが失われて、沢山の子どもたちの心の中の楽園だったのに、現在は特訓機構の一員になり、「特訓根拠地」となってしまっていて残念に感じた。

吉林省の少年宮は全国より少し遅れて1960年代から始まった。だが、学費を取ることは1980年代であり、全国の多くの地方より逆に少々早かった。

長春市少年宮は1962年に建てられ、規模と優秀な教員数は全国でもやや大きな校外教育基地の一つであった。長春市少年宮は毎年賞をもらう生徒が沢山いるが、1960、70年代の市民の心の中の影響力に差がある。ある保護者達は課程の選択に要求が多く、少年宮そのものを尊重することが少なくなってきた。もう一つの状況は沢山の若者の市民達は少年宮の場所も知らない。一人若い母親が少年宮について、「少年宮はあるの？何故子供をそこへ行かせるの？どこで習っても同じではないの？」と言った。

以前とかなり違うのは保護者の態度だけでなく、現在の子どもたちが少年宮に根本的に興味がない。記者は何人かの小学生をインタビューすると、少年宮に興味を持っているのは少数の学生で、大部分は保護者が申し込んで習わせている。

興味がない一つの重要な理由は、多くの特訓クラスは学科試験と関連して芸術訓練は考级試験と繋がって学業の負担になり、楽しくないからである。

不思議な現象―少年宮の成人クラスといわれる複数の団体（組織）で学校を運営している。

少年宮は他の特訓クラスの広告と比べると記者は調査の時にある不思議な現象を発見し、憂慮した。

長春市南関区少年宮は1985年に有名な舊宮劇場と教学ビルが建てられて、現在の舊宮は民間の人気のある東北地方の独特の演劇場になった。

一つの大きな看板に「山氏芸術学校」「舞林大会」「蓋思教育」等の文字があって注目されやすく、ここに掲げた民間クラスは少年宮とどんな関係があるのか。

以前、南関区少年宮は美術・舞踏・声楽等の特訓クラスを宣伝した。しかし、南関区少年宮のホームページを開き新入生を募集する画面を見ると、少年舞踏クラス・フラメンコダンスの募集電話は舞踏大会の看板

の長春姉妹学校「方昭舞蹈学校」の電話になっていた。書道クラスと美術専門クラスの連絡先は山氏芸術学校の校長先生だった。

山氏芸術学校の正式な名称は南関区山氏才能芸術教育学校、長春には 5 か所の姉妹学校があり、南関区少年宮の 2 階は芸術学校の親学校だった。記者は芸術学校のホームページを見ると、青年人も募集していた。少年宮に子ども達と一緒に習うという画面を想像すると恥ずかしいと感じる。校長先生は記者にそのことは躊躇しなくてもいい、「ここは子どもだけに教えるだけでなく、ほとんどの人は大人である。少年宮で学ぶことは恥ずかしいことではない。ただ少年宮の場所を借りるだけ」と説得した。記者は追加質問したのは「ここは借りた教室ですか」校長先生は最初認めたが、すぐ言い換え、一緒に運営していると答えた。

舞蹈大会の「方昭舞蹈学校」（長春の姉妹学校）は、自分のホームページでは、大人向けのヨガ、ベリーダンス、バレエ、ジャズダンスなどの課程を開設して、ホームページではこの学校は長春市教育局が認める全日制中等専門学校であり、また高等専門学部と大学部も開設していると書かれている。卒業後瀋陽体育大学の体育舞蹈専門卒業証書が貰える。

長春市少年宮 2 階の壁には、大人のラテンダンスの広告看板が大きく貼ってある。記者はある人から聞いたが、少年宮の中で成人を募集することは稀なことではない。インターネットで少年宮の特訓クラスの情報を入れると、すぐ少年宮に関する舞蹈クラス、歌唱クラス、絵画クラスなど、成人募集中のメッセージが出てくる。

長春市少年宮の中の一つの数学クラスは、インターネット「58 同城」で教師を招聘している。「高等専門学校以上の学歴で、経験がなくても大丈夫」と書かれていた。記者が電話して、相手は「私たちは少年宮の人ではない、ここは子どもに算数を教える所で、教師はちょっと訓練してすぐ授業で教えることができる。月収は 1200 元(約 2500 円)で、もし今後、一人で授業を

教えるなら、もう少し給料を上げる」と言った。

少年宮の公益は何処にあるのか。

少年宮については、大半の人は政府からの経費が少ないという理由を挙げた。少年宮は事業単位編制で、財政支出は一般的には編制成員の給料を支払い、大量に外から招聘した教師の給料、活動の経費などは自分で別途収入を得る必要がある。この背景の下で、「余儀なく別途収入を得る」「穴をふさぐ」という言葉の説明が出てくるのだ。

幼い頃から少年宮へ通っていた一人の保護者は「公益、無料などのことはもう戻って来ないのだ」と言った。実は、公益イコール無料ではない。沢山の市民の期待は、もう一度無料の時代に戻りたいのではなく、少年宮の最初の公益事業の初志に戻りたいである。

一体、少年宮はどうすれば自身の公益性を表現できるのか。記者が調べた上で、現在、一部の少年宮は公益の道へ模索している。以前にはない形が出来て、例えば「移動少年宮」など、大体 4 種類の形式で「貧しい家庭と出稼ぎの人たちの子どもに無料芸術訓練課程を開設する、教師を揃え、田舎の小学校へ無料授業を行う、貧乏な学生の学費を減免する、一部の訓練課程の授業料を安くする」など公益性を表している。

どうすればもっと沢山の人に公益性を伝えられるのか。

一部の校外活動場所の責任者のコンセンサスは「両手で掴む」ことである。つまり、一つは政府からもっと支援して貰い、規範訓練市場を立て直すこと。もう一つは、自身が経営産業や、公益事業を扶助することである。

吉林省の教育学院の一人の専門家は、少年宮の無料時代は歴史的理由があり、現在 21 世紀では少年宮自身で現状を変えることが非常に難しいと説明した。理由の一つは、完全に財政の支援に頼むことが現実ではない、各地の財力は違うので、大きな改善は期待できない。二つ目の理由は、お金を取ることで公益事業を扶助することの考えは曲がって行きやすい。実行す

る過程で、往々にしてお金を儲けようという考えに行ってしまう。少年宮はもし公益を主要な目的と考え続けたら、新しい道を模索しなければならない。

ある教育界の人の意見は、中央を学び、宝くじのお金を使って、全国範囲内で農村学校少年宮を建設する方法がある。そうすれば、資金が多くなるし、社会の力で少年宮の公益事業をサポートすることができるという意見がある。

論争まだ続いているが、方向は間違いない。

翻訳③:

2014.03.01『中国教育報』第 001 版蔡繼樂、劉盾など
「少年宮三問一部分城市少年宮現状調査」

少年宮についての三問一まちの一部
少年宮についての現状調査

編者の言葉

現在中国では、少年宮、青少年活動センターなどをモデルにした公営の校外教育の形で、すでに 60 余年の発展歷程を辿り、少しずつ各地にある公営の校外教育ネットワークを形成した。しかし、市場経済の発展と共に一部の町の少年宮は学生を募集する条件や、授業料など混乱している。

少年宮が混乱になっている理由に何があるのか？根源はどこにあるのか？いったい少年宮の現状はどうなっているのか？どうすれば少年宮が健康的に秩序正しい道へ行くのか？この様々な問題をもって本誌は最近多くの記者を集めて、北京、南京、長沙、成都、ウルムチ、等の少年宮へ行って深くインタビュー調査をした。

2 月 23 日朝 6 時頃、日曜日だが、北京房山区の李艶梅（仮名）と息子張岩（仮名）が早く起きて北京少年宮へ行って、英語特訓クラスの授業料の手続きしに、いち早く行った。「朝早く起きる鳥は食べ物がある。1 月 18 日申し込む日から早めに行かないと定員が一杯になると締め切りになる」。

スタッフは記者に「全部が定員に達しましたよ。私

たちの外国語クラスの英語のクラスも定員に達した。もし申込みなかったら、今年の秋のクラスが始まる時に早めに来て、また遅かったら申し込めない時がある」と言った。2 月 19 日北京市少年宮外国語クラブの一人の英語教師が記者に「今年の申し込みのスタートの日も、1 万人の保護者がドアに殺到し、ドアが崩れそうな感じだった」と言った。

少年宮の学科類補習クラスの申し込むのがこんなにたくさん人が来て、少年宮の機能の定位が大変ねじ曲がっている。記者は一部の町の調査から、一部の地方の少年宮はまだたくさん問題が存在している。例えば、ルール違反で各種の進学するための補習クラスが開講され、学校を選択することに集中している。個々の授業料が違うし、随意に授業料を徴収している。ルール違反で予備校の補習クラスを開く。更に、民営の幼稚園のルールを違反して開き、社会の特訓機構に場所を賃貸する等を発見した。

興味あるクラスを開くか或いは学科の補習クラスを開くのか。

少年宮は政府が投資した公益性機構と校外教育の重要な場所である。子供に興味がある種類、実践活動類を主にして、学科類の補習クラスをやるべきでない。しかし、記者は各地の少年宮をインタビュー調査し、少年宮は学科の補習クラスを開く現象はより普通であることに気づいた。

北京市大興区少年宮で、記者は 2014 年春クラスの募集チラシを見る上で、こちらは小学生 3 年生から 6 年生の作文の課程を開き、数学ではオリンピック数学課程を開き、教学の内容は 3 年生、5 年生と 6 年生の数学オリンピック教材を使っている。英語では、1 年生から 6 年生の小学生のケンブリッジ英語、会話学習などの課程を設けている。そのあと、更に 3 歳から 5 歳の間の子どもと 1 学年から 3 学年の小学生にケンブリッジ英語の課程を設けている。

記者は、北京市の西城区、海淀区、朝陽区、昌平区、丰台区、門頭溝区、密雲県、延慶県の少年宮を取材し、

この町の少年宮は学科類補習クラスを開く現象が存在している。朝陽区少年宮の一人の教師が記者に 2013 年はまだ国語類補習クラスとオリンピック数学補習クラスをやっていたが、今年は中止になったが、英語類補習クラスはまだ継続している。

オリンピック数学などの対戦は、元々人材を選抜する道であったが、現在はもう少年宮がお金を儲けようとするアイデアであった。最近、内情を知っている人が記者に、北京のある区の少年宮は、オリンピック数学の試合を主催し、一部の教師が試験の問題を出題することに参加することを利用し、専門補習クラスを開きお金を取ったり、一部が家庭教師として教えたりし、利用したことを密告した。

ある地方の少年宮は学科種類補習クラス、試合クラス等を開くこと以外には、幼児教育に注目し、幼児向けの予備クラスを開いた。記者は、南京市少年宮取材する時、2014 年春の募集チラシを見た。水曜日から日曜日まで、ここは漢語ピンイン、そろばん、漢字学習等の様々な興味クラス、2 月 21 日に開学する予定である。2 月 23 日まで、30 個のクラスのうちに 11 個のクラスが満員になった。

2 月 22 日に記者は成都市順城大街の青少年宮へ来た。ここは本部であり、訓練部とも言われている。ここは舞蹈学校、美術学校、文化学校、体育学校を開設している。記者は、情報を聞いて、文化学校の行っている課程は普通の学校の課程と同じで、例えば国語、数学、英語を開講している。記者が更に解ったのは、ここは学生のために作ったオリンピック数学クラスで、全学校の中で最も優秀な生徒が受けていることである。

中国教育科学研究院の研究員儲朝暉は、少年宮の学科補習クラスをルール違反で開く問題に対しては、少年宮を禁止のお知らせの通達だけでは批判する行為としては不足であり、根本的な問題から着手することが必要であると言った。一部の少年宮が学科補習クラス、試合クラスを開くことは、自身の存在価値が解らず、青少年の成長の方向の理解が間違っているし、公益性

を維持することが出来なくなる。

クラスの授業料を基準は誰が定めるのか？

もう 2006 年に、中共中央事務庁、国务院事務庁は「未成年校外活動場所の建設と管理の仕事をさらに強化することに関する意見」を発表した。文献の指摘、各級政府からの投資では未成年に公共サービスを提供する青少年宮、少年宮、青少年活動センター、児童活動センター、科学技術館等の場所は公益性になっている。ずっと公益性を守る必要がある。未成年校外活動の場所では、利益を目的としてはいけない。

しかし、記者は調査の中から、たくさんの地方の少年宮は授業料を取りすぎ、授業料の規準の違いなどの問題を発見した。記者は南京市鼓楼区の少年宮を取材し、こちらの少年宮の興味クラスの主催者は「小銀星芸術団」であり、実は「小銀星芸術団」が少年宮の場所を賃貸して、特訓クラスを開いていると解った。

ウルムチ市少年宮ホールの中で記者は広告版を見て、ここは各種の訓練クラス 39 校があり、例えば児童絵画クラス、5 歳の子どもを募集して、1 クラス 25 人で、午前 10 時から 11 時 40 分まで授業があり、学費標準は 400 元（約 7000 円）であると解った。児童絵画クラス以外には国画児童絵画啓蒙、マンガ、毛筆等のクラスを設けている。これらの訓練クラスの授業料の規準がなく、最低は 400 元（約 7000 円）、最も高い価格はストリートダンスの特訓クラスでは半年で 1880 元（約 3200 円）。

記者は 2 階の 8 つの総合教室の授業中の様子を見ると 1 クラスでは 2 人の教師がついて、隣の教室は寝室になっていて、ここは予備クラスの子どもの昼休みに提供している。これらの予備クラスは月曜日から金曜日まで、午前 9 時から午後 5 時 30 分まで授業がある。子どもを迎えにきた一人の保護者は、ここの予備クラスの学費は 1 学期 4900 元（約 83000 円）、その上 1000 余元（約 16000 円）の管理費を加えて、全部で 4 学期の授業があると言った。

ウルムチ市少年宮の王主任から聞くとウルムチ市少

年宮は教師 30 余名、基本の運営費は、市の財政から貰え、普通の学校と同じように差額配分単位に属している。王主任は記者に、少年宮は予備クラスと訓練クラスの授業料の標準は全部市から審査の上で、全部のお金は財政に納入し、収支二つの方向から管理していると言った。

2 月 23 日夜 6 時 30 分、記者は南京市青少年宮へ行った。ある教室の外で、沢山の保護者が居て、皆が教室のガラスを通して授業中の様子を見ていた。一人 60 余歳の教師は記者に子どものクラスで今英会話の授業をしている。外国人教師の授業なので、価格は他のクラスより高い、毎学期の授業料は 1000 元（16000 円）である。

記者は長沙市ある区の少年宮の出入り口の前で、「2014 年春の芸術類訓練クラスの新入生募集」の看板が置いてあり、訓練の項目は歌唱、楽器、舞踏、書道、美術などがある。授業の期間は 2 月 14 日から 6 月 28 日まで、毎週 1 回。毎回 90 分、課程の違いによって、600 元（約 9500 円）から 2400 元（約 41000 円）までの授業料があると知った。

少年宮の特訓クラスはどんな基準で授業料を取るのか？誰がその基準を決めるのか？各地の少年宮の授業料の規準は各地の国家・発展改革委員会と物価部門が定めることである。だが、各地の少年宮は厳格に授業料金を定めることはしていない現象が存在している。

添付資料Ⅱ：

①インタビュー調査内容(少年宮について)

人物：長春市少年宮の関係者 A(本人の要望によって匿名とし、名前を A と略称する)

場所：非公開

時間：2015 年 03 月 30 日午後 2 時 30 分

筆者：こんにちは。刘斯佳と申します。静岡文化芸術大学大学院の学生です。現在、修士論文で、少年宮のことを書きたいと考えています。そこで、少年宮の現状、問題点などを聞かせていただきたいと思います。宜しくお願いします。

A:解りました。解る範囲でお話します。

筆者：10 年、20 年前と比べて、少年宮の入学率は下がりましたか、或いは上げましたか。

A:少年宮の入学率は下がりました。だが、それは長春市少年宮の入学率のことです。現在、少年宮(政府機関)以外には沢山の民間の場所が増えてきている。実は、あなたは長春市を歩くと、様々な特訓機構がある事を知っていますね。子供の保護者達が家に近い特訓機構を選び、子供を行かせることが多いようです。

筆者：現在、民間の特訓機構へ行く学生がますます増加しています。一方、少年宮へ通う学生が減少してきたのですか。

A:え…そんなことはないです。少年宮は市にも区にも沢山あります。沢山の子供が家に近い為、少年宮へ行きます。また、少年宮は政府の機関であり、安心して行けます。ちなみに、土、日の朝から多くの県外の保護者が子供を市内の少年宮へ連れて行き、少年宮で学ばせます。

筆者：現在、人々は吉林省や長春市で、長春市少年宮

への認知度がありますか。

A:はい、あります。長春市少年宮は吉林省、省級の唯一の少年宮です。いつも吉林省の体表として国家級の芸術コンクール、文化交流などに参加し、長春市少年宮は政府が大切にしている機構です。以前と比べて、長春市少年宮のブランド力も強くなりました。

筆者：長春市少年宮と北京や上海などの少年宮との交流がありますか。

A:はい、あります。常に省市級の文芸コンクールを行い、全国の少年宮の教師達も交流会を行っています。

筆者：長春市少年宮の科目はいくつに分けられていますか。

A:大きく分けると、一つは芸術類(例えば琵琶、琴、ピアノなど)。一つは美術類です。そして体育類です。主に三種類と思います。場合により、舞踏類を加えることがあります。

筆者：長春市少年宮の面積が大きくて、一部の場所を個人機構に貸していると聞きましたが、本当ですか。少年宮の場所を借りたい個人機構を選抜していますか。

A:はい、選抜しています。昔は市級少年宮しかない時に、少年宮しか選択できなかったのです。しかし、現在は個人機構が多くなり、多少に少年宮に影響を与えています。人々の目的が違うので、一部の人は少年宮が政府の機関と考え、安心して習っています。現在多くの個人機構は、優秀な先生が多いのですが、安定しない事情があります。個人機構の先生たちは学生を教え、何ヶ月か経つと自分の機構への入学を勧め、長く安心して習うことが難しいのです。しかし、少年宮の教師達は公務員として勤めています。簡単にやめることや、学生を自分の機構へ勧めることなど無い訳です。そして、保護者たちの目的が違います。家に近いため、近い個人機構を選びます。

政府が運営している規範な機関を探したい人は長春市少年宮を選びます。

現在、少年宮は拡大したため、専門分野の部分は足りなくなってきました。例えば、長春市少年宮の教師は公務員として勤め、増員することは難しいのです。つまり、少年宮の教師の数は決められていて、全部の分野の専門士を少年宮の教師にすることは無理なのです。そして、私たちは社会を考察し、保護者たちと学生の需要により、個人の特訓機構を選抜しています。いわゆる少年宮の名前で個人機構に少年宮の場所を貸します。そうすれば、少年宮の中で、学生が習いたい科目はすべて揃えられ、興味があるものを少年宮で習うことが出来ます。いろいろな個人機構へ行かなくても、少年宮だけに行けば、保護者達も便利で、車の渋滞や、子供の交通事故なども避けられると思います。

筆者：ある新聞で、政府は長春市少年宮に補助金が足りない為、少年宮の場所を個人機構に貸し、その資金で、少年宮の教師の給料を払っていると記載していました。この記事についてどのように思いますか。

A: どこで見たのですか。その文章は何を主張したかったのか解りますか。

筆者：文章の内容は、主に現在の長春市少年宮は衰退してきました。また、昔は学費が要らなかったですが、現在は個人機構と同じになって、学費が要ることになりました。現在、少年宮の公益性が有名無実だと主張していました。

A: え…そんなことはないです。現在、冬、夏休みの時に、障害児童者や社会最低生活保障金を貰っている家庭の学生に対し、無料で講義を受けられる授業があります。

筆者：では、現在一般的な家庭の子供に対しての学費

はいくらですか。

A: 一般的な家庭に対して、市では最も学費が安い所だと思います。長春市少年宮は政府が運営している規範な機構で、先生たちは公務員で、しかも学歴も高く、安全、安心、安定な管理状況です。

また、保護者達は、少年宮は全市で最も学費が安い機構と考え、子供を通わせます。これでも公益性を表しているのです。あなたは、個人機構で習うと、例えば、ピアノの授業は30分で何百元でしょう。私自身も音楽学院を卒業したので、彼らの学費が非常に高いと解ります。うちの少年宮は学費が安いし、教師達の能力も高いです。

筆者：長春市少年宮の教師は全員芸術学院で卒業した人ですか。

A: そうです。全員音楽学院、芸術学院の卒業生です。

筆者：教師達は優秀なのですね。

A: そうです。外の個人機構では、高い学歴、経験がある教師の授業料は非常に高いのです。そして、ある個人機構は、芸術学院の学生を雇い、授業料を抑えて運営しています。しかし、少年宮にはこの問題は存在しません。全員優秀で経験がある先生です。

筆者：昨日少年宮に伺った時に、警備員さんから聞きましたが、現在少年宮は工事中ですが、将来はもっと広い所—淨月潭で少年宮を造ると聞きましたか、そうですか。

A: そうですね。政府は「幸福長春」の計画をしています。この2、3年の間にもっと交流の良い場所を作る可能性があります。その時は、現在の所ではなく、もっと広い所で少年宮を作ると思います。

筆者：質問は大体終わりましたが、私は長春市少年宮のことを研究したいので、少年宮のここ何年の入学率や学生、イベントの写真などの資料を参考し

たいので、いただけますか。

A:これは、できないです。他のリーダーにもかかわるし、しかも、私たちはあまり入学率などの統計資料を作っていません。少年宮の事について私が一番詳しいです。

筆者：解りました。では、お名前と住所を教えて貰えますか。

A:遠慮します。私の名前を書かないでください。

筆者：解りました。ご協力ありがとうございました。

②インタビュー調査（琵琶の先生—子供の頃から少年宮に通っていた）

人物：張雪莉 1963 年生まれ（5 年前までは琵琶の教師だったが、現在は腰痛の為、教えることを辞めた）

時間：2015 年 09 月 26 日午後 4 時 30 分

場所：琵琶の先生の宅

筆者：先生、ご無沙汰しております。現在は少年宮のことを研究しています。今日は先生のことと昔の少年宮のことを詳しく聞きたいので、宜しくお願いします。

張：解りました。解る範囲で全部お話しします。

筆者：先生はなぜ琵琶を習いましたか。

張：正直に言うと、父親の影響です。父親は自分で本や楽譜を研究し、琵琶を習いました。こんな環境の下で、毎日父親の琵琶の音を聞き、自分も知らないうちに琵琶に興味を持つようになりました。父親がいつも弾いている曲が私の記憶に残り、楽譜がなくても、その曲のメロディーをハミングすることが出来ました。いつも父親が弾く前に私がハミングしました。

筆者：なぜ少年宮へ習いに行きましたか。

張：当時、同じクラスの女友達が少年宮へ行ったので、自分は彼女より上手と考え、自分も試しに試験を受けに行きました。そして、合格しました。父親の影響で、少年宮に入る前に琵琶の基礎知識や初級、中級の曲を全部弾けることができたので、少年宮の民族音楽系の高級クラスに入ることになりました。

筆者：高級クラスがあるので、初級、中級のクラスもあるということですか。

張：そうですね。基礎知識が少ない学生は初級クラスに入ります。

筆者：民族音楽系の高級クラスの先生の技量はどうですか。

張：その先生はとても上手です。今亡くなりましたが、その先生の下で沢山習いました。

筆者：民族音楽系のクラスは全部その先生から教えて貰いますか。

張：そんなことはないです。実は、私たちのクラスの学生は皆が民族音楽の基礎があるので、教えて貰うより指摘して貰うことが多かったのです。基本的に、少年宮に着き、楽譜を一人ずつに配られ、まず自ら楽譜を研究し、弾き、その後全員で一緒に合奏します。弾き間違えたり、ダウンビート（速さが違った）りすること）したりなどの時には、先生に指摘して貰います。

筆者：ちょっと疑問を持っています。先生は父親から教えて貰っていますが、同じクラスの他の学生は何処で音楽の基礎知識を習ったのですか。

張：詳しく解りませんが、多分私と同じ、親の影響の学生がいるし、少年宮の初級から上がってきた学生もいるし、或いは自分で研究した学生もいると思います。

筆者：先生は何歳から少年宮へ通い始めましたか。

先生と同じクラスの生徒は何人がいますか。皆は何を弾いていましたか。

張：私は7歳(1970年)から少年宮へ通い始め、私と同じクラスの生徒は6人でした。その中に、私と同じ琵琶を弾く人、または二胡、揚琴、阮を弾く人などもありました。

筆者：先生は、永く少年宮へ通った理由は何ですか。

張：主に演奏の機会があるし、皆と一緒に各地方へ演奏に行き、とても楽しいからです。

筆者：各地に演奏に行きますが、報酬はありますか。

張：あまりないです。一般的には、賞品を貰ったり、何角元を貰ったり、その程度です。でも、ご飯は提供してくれます。子供の頃、家庭は貧しかったので、沢山食べさせてもらえるので、もう大満足です。

筆者：どんな時に演奏が多いですか。

張：祝いの時。例えば、子供の日や、建国日など。または会社の周年祝いの時など。

筆者：また少年宮のことに戻りますが、当時、少年宮の先生は沢山いましたか。

張：当時は、先生はそんなに多くなかったです。当時、少年宮は民族音楽クラス、舞踏クラス、体育クラスがありました。私たちの先生は陳先生です。いつも間違い所を指摘して貰い、私たちを各地に連れて行き、演奏を行いました。

筆者：なぜ当時多くの子供達は舞台に出ることが好きだったのですか。なぜ多くの子供が少年宮へ行ったのですか。

張：私たち子供の頃は、少年宮は無料だったです。そして、当時、学校の勉強はあまり重視しなかったで

す。演奏の子供達はだんだん学校へ行かなくなってきました。

筆者：それは何故ですか。なぜ学校へ行かなくなったのですか。

張：当時、各地の会社が少年宮へ来て、演奏してほしいと私たちを招いて、そして、多くの時間をかけて演奏に行きました。学校へ行く時間が少なくなってきました。(当時、各地の会社は会議を行う前に文芸演出を行っていました。)

筆者：当時、先生は毎日少年宮へ通っていましたか。

張：大体、月、火、水或いは木、金、土の夜(午後4時頃)、学校が終わり次第に少年宮へ練習に行きました。そして、日曜日は朝9時から午後3、4時まで少年宮にいました。

筆者：当時、美術クラス、民族音楽クラス等について、少年宮の先生たちは何を教えましたか。

張：たとえば、美術クラスの先生は、基本的に黒板に絵を書き、そして生徒は先生の絵を模写する程度です。民学音楽のクラスも細かく分けられていなかったのです。基本的に民族音楽系の先生は陳先生しかなかったのです。

筆者：当時、西洋楽器クラスもありましたか。

張：ありましたが、あまり受ける生徒がいなかったと記憶しています。当時国は民族楽器を一番重視していました。

筆者：少年宮で、皆と知り合い、一緒に各地へ行き、民族楽器を合奏することはとても良かったと感じましたか。

張：そうですね。良い思い出です。だが、自分の父親はとても厳しかったので、普通の子供と遊ぶことが出来なかったのです。ちょっと残念な気持ちがありま

すが、自分は琵琶を弾くことが好きだったので、後悔はしていません。

筆者：まず、いつまで少年宮へ通いましたか。また、先生は芸術学校から卒業した後はどのような何処へ行きましたか。

張：私は7歳から15歳まで少年宮へ通いました。その後、1983年(当時20歳)に国営の会社に入社しました。当時、各国営の会社は文芸隊を持っていたので、わたしはその文芸隊に入りました。文芸隊で演奏を担当していました。

その後、自分の子供に琵琶を学ばせたいと多くの保護者から私に声をかけてくれました。私は琵琶をもっと沢山のの人に演奏して貰いたいと考え、仕事を辞め、琵琶の先生になりました。自分の家で生徒を教えていました。誰もが私の生徒になることはできなかったです。自分の子供を琵琶の演奏家になって欲しいという保護者が沢山いました。私はこういう保護者の子供を教えの対象にせず、天性の能力を有し、本当に琵琶に興味を持ち、根気のある子供しか教えないのです。

筆者：また、少年宮の話に戻りますが、その時、少年宮は無料だったですね。

張：そうですね。全部無料です。少年宮へ行ける人は2種類です。一つは、少年宮の先生たちが各小学校へ行き、優秀で、才能を持っている学生を選抜します。もう一つは、少年宮に興味があり試験を受け、合格する学生を入学させます。

筆者：ちなみに、当時、先生のような子供はどのような気持ちで少年宮へ行ったのですか。

張：当時の少年宮へ入学した学生は自分が習いたいものがあって、少年宮を選びました。現在の子供とは違います。現在は、子供が習いたくなくても、保護者たちは自分の子供を他の子供に負けないように楽

器などを学ばせます。

筆者：当時少年宮で弾いていた琵琶は自分のものだったですか。

張：最初は父親の琵琶を使いましたが、その後、少年宮が県外で琵琶を作ったので、その琵琶を無料で使わせて貰いました。

張：当時の少年宮は本当に懐かしいです。現在の少年宮は建物が綺麗になり、先生も多くなりました。ですが、1970年代の少年宮と比較できないと思います。私の子供の時代の少年宮は本当に子供の為、人材を発掘するための施設でした。優秀な人材を発掘しつつ、そして、国が繁栄していきます。現在の少年宮は利益の事を先に考え、その次は保護者達の需要を考えています。子供の気持ちをあまり考えていないようです。残念ですが、以前の少年宮はもう帰ってこないと思いますね。

筆者：先生、いろいろありがとうございました。

張：良いですよ。また聞きに来てくださいね。

③インタビュー調査(張春—吉林芸術学院の大学院生)

人物：張春 1992年生まれ(筆者と同じ琵琶の先生)

時間：2015年09月30日午後1時30分

場所：張春の宅

筆者：お久しぶりです。小学生の時(1995年)、私たちは一緒に琵琶を習い、等級試験を受けましたね。大変でしたが、楽しかったです。その後、私は日本に留学へ行きましたが、あなたはどのように過ごしていましたか。

張：私は、学校の勉強はあまり出来なかったのですが、現在社会は大学を卒業しないと就職も難しい社会で

す。そして、ちょうど私は子供の頃から琵琶に興味があり、ずっと習っていました。そして中学校から特長生として準備していました。(特長生)芸術生は高校受験、大学受験の時に受験科目(数学、国語など)の合格点数は非常に低く設定されています。専門科目(琵琶)の点数が高ければ、多少に受験科目の点数が低くても、合格します。そして、私は高校から特長生として学校に入りました。高校生の時にも琵琶を習い続けて、卒業後、吉林芸術学院に入学しました。今まだ吉林芸術学院に在学中ですが、私は琵琶の教師として子供を教えています。

筆者:教育の経験がなくても、子供に教えられるか。

張:教えることを少しずつ積み重なっていくと、経験になります。実は、保護者達は芸術大学の人、有名な教授から習っている人と聞くと、安心して子供を通わせます。しかも、在学中の学生から教えて貰うと授業料が少々安いので、保護者達は子供を連れて学ばせようとしています。

筆者:あなたの授業はどのように行っていますか。

張:基本的に1ヶ月4回。毎回30分の授業を行います。その30分の中で、20分は前回の復習と再指導、あとの10分は新しいものを教えます。芸術大学の教授はどうやって私たちを教えるのかを検討して、自分の学生に教えています。一般的には基礎を習得するには1、2年間は掛かります。

筆者:あなたの学生は、自からが琵琶のことが好きで、習いに来たのですか。

張:大半の子供はやはり保護者から、本人は琵琶に興味があっても通うことを強制されて習いに来ています。授業の様子は保護者からは見えるようになっています。だが、保護者は、子供の泣きながら習っている様子を見ても、何も言わずに、子供の将来(演奏家になる)の為だと考えています。

筆者:どのように子供の進歩を判断していますか。

張:当時の私たちと同じです。毎年沢山のコンクール、そして最も重要な等級試験を受けさせます。保護者達が積極的に等級試験を申し込んだとえコンクールに入賞しなくても子供にとっては良い試練になる。ですが、子供がもし等級試験に合格していたら習う自信を持ち、子供の将来の進学にも役に立つと考えています。

筆者:何故、等級試験を受けるのですか。私も当時一生懸命受けましたが…

張:実は、等級試験で一人の子供のレベルを判断することはできないと思います。当時の私たちと同じです。一般的には試験の何ヶ月か前に受験する等級の何曲かを必死に繰り返し練習し、この何曲かを上手に演奏できればその等級(1~9級まであります)をもらえます。

張:この等級試験の等級証明書を貰うと保護者達が喜び、親戚、友達たちからも羨望される。そして、近20年、等級試験というのは大変人気があります。

筆者:子供たちはかわいそうですね。

張:実は保護者達の気持ちはよく理解しています。現在は一人っ子の家庭が多く裕福で、子供に興味を持たせたいと思っているのです。自分の子供をスタートラインで他の子供より一歩リードできるように考えているのです。

筆者:あなたは芸術学院大学院卒業後、先生になりますか。

張:そうですね、現在は楽器の先生はとても人気があります。自分の専門で、しかも収入も高く、理想の職業だと思っています。でも、そんなに簡単なものではありません。私も沢山の国家試験を受け、レベル

をアップして、自分を認めてもらうように努力しています。この国家のコンクールの優勝トロフィと等級試験の最高等級（9級）を獲得すると保護所たちに信頼され、子供達を私の授業に安心して通わせることも出来ます。

筆者：現在、民族音楽楽器を習う人はまだ沢山いますか。

張：そうです。まだ沢山います。現在はピアノ、バイオリンを習う人が増えてきましたが、民族音楽楽器を習う人はまだ沢山います。何故ならば、保護所たちが民族音楽楽器ははるかに歴史が長く、西洋楽器より優美で上品とされています。伝統音楽を弾きながらその時代を味わうことを願っているのです。

④インタビュー調査の内容(顓頊琵琶学校)

人物：顓頊琵琶学校 琵琶教学部 関係者 B

時間：2015 年 03 月 29 日午後 4 時 20 分

場所：5 階のオフィス

筆者：こんにちは。長春から来ました。今日は従妹が琵琶を習いたい為、近年話題となった顓頊琵琶学校に訪ねてきました。顓頊琵琶学校のことを教えて貰えますか。

B：そうですね。うちの学校を選ぶのは間違えないと思います。

良いですよ。知りたいことを教えます。

筆者：顓頊琵琶学校の基本状況を聞かせてください。

B：現在、学校の面積は 2 万平方メートル、建築面積 8 千平方メートルです。校内には 300 余人が入れる音楽ホールがあり、20 余軒の教室と 30 余軒の琵琶練習教室を設置しています。同時に、舞踏室、美術室、図書室、パソコン室及び寄宿舍、食堂などの施設が

あります。今、教職員は 60 余名がおり、在校学生、試験前の学生、アマチュアの学生を全部含めて、660 余人がいます。

筆者：顓頊琵琶学校の生徒は何故こちらの学校を選ぶのですか。

B：まず、周顓頊校長先生が琵琶の世界で有名であり、信頼できる先生です。進学率が 100%ですので、各有名な音楽学院に入学することが期待できます。現在、顓頊琵琶学校は世界各地の琵琶演奏者が誰でも知っている学校です。顓頊琵琶学校は琵琶を習う人の理想の学校です。

筆者：琵琶学校の教師達はどちらから来ましたか。

B：この学校の教師は皆が全国各有名な音楽学院から卒業した人です(多くの人は周顓頊さんの生徒)。皆が経験あり、自分の教育手段があります。そして、周顓頊校長先生も授業を教えています。

筆者：顓頊琵琶学校の成績を聞かせてください。

B：2006 年から現在まで 600 余名の生徒が全国の音楽学院に入学しました。音楽学院の進学率は 100%です。中国では一番有名な中央音楽学院の琵琶専攻の学生は半分以上うちの校長先生の生徒です。

筆者：各音楽学院って、例えばどちらへ進学していますか。

B：写真の通りです。中央音楽学院、瀋陽音楽学院、西安音楽学院、天津音楽学院中国の伝統的な演劇学院、遼寧師範大学、東北師範大学、中央民族大学音楽学院、中国音楽学院附中、天津音楽学院附中など。

筆者：学校の授業料や、琵琶を習う為のカリキュラム、授業料などの事については詳しく聞かせてください。

B：「試験前の特訓クラス」については、全国各音楽学院に入学したい大学院、大学、高校、中学の各学生

向けで、習う期限は12か月以内で、進学率100%です。基本的に、誰でも入学できます。ただ、颯順琵琶学校に入学する時に琵琶の試験を行い、琵琶を弾くレベルによって基礎隊と演出隊に分かれます。同一レベルの学生と一緒に習うことにより、技術レベルをアップすることができます。基礎隊の学生は演出隊のレベルに達すると演出隊に移動する可能性があります。1か月の学費は2,000円(4万円)、1年の学費19,800円(40万円)を一括で払う必要があります。そして、市外の学生に対しては、学校内に寮や、食堂が設置されています。学内の寮は3種類あり、一人部屋、二人部屋、そして、大部屋に分かれ住むことができます。一番安い賃料は1か月300円(6000円)である。食事代金は含んでいません。このクラスは各有名な音楽学院に入学したい学生に対応するコースです。大体約7、8人の学生と一緒に琵琶を習うことになっています。

筆者：こちらの学校の生徒さんは年上の方がいますか。

B：今まで、二人がいました。一人は50代の女性で、ただの趣味、うちの学校で琵琶を習いました。もう一人は30代の女性ですが、自分が琵琶教室を開きたいので、うちの学校へ来て、2年間を習って自分の夢を叶えました。自分の琵琶教室をオープンしました。

筆者：例えば、中央音楽学院の民族音楽系に入学したい場合はどうすれば良いですか。

B：まず、学校の必修科目(数学、国語、物理など)は自分が外で先生を探し、教えてもらうしかありません。最近音楽学院も厳しくなっていて、必修科目の点数も重要です。これは注意してください。また、琵琶の部分はうちの学校に任せてください。先生の指導に従っていけば、うまく行けると思います。毎年、中央音楽学院の入学試験は基本的に3回が行います。

第1回目は自分が得意な2曲を自由に選びます。柔和な1曲と勇ましい1曲を選択する方が良いと思います。第2回目の試験は、音楽学院が定めた2曲を弾くことです。その2曲をよく練習することです。そして、最後に入りますが、第3回目、音楽知識などの試験を行います。

筆者：颯順琵琶学校の受験生は全員音楽学院に合格できますか。

B：学生の素質が違うため、先生たちからアドバイスを貰えます。例えば、あなたは中央音楽学院の合格には難しいですが、市の音楽学院に受験することは問題ないと思うなどのアドバイスを貰え、自分自身で判断します。ちなみに、特別の事例もありました。一人の女子学生はどうしても中央音楽学院に入りたく、ほとんど寝ないで、毎日、毎日必死に練習して、結局中央音楽院に合格しました。

颯順琵琶学校の雰囲気は他の所と違います。遊びに来る学生はほとんどいません。しかも学費は少々高いので、遊びに来ることは考えづらいです。周りの学生が一生懸命目標のため頑張る姿を見ると、自分も頑張る気持ちが強くなってきます。良い競争の雰囲気になると思います。

B：あなたの従妹がうちの学校に入学したて、必ず目標を達成します。うちの学生は皆優秀です。毎年学生を連れて、沢山の所へ演奏に行っています。うちの学生は他の所の学生と比べるとやはり強いです。

筆者：学費はちょっと高いですね。

B：個人の先生の所がもっと高いでしょう。学費は少し高いですが、良い成果が貰えると思います。

筆者：解りました。皆でよく相談します。有難うございます。

B：良いですよ。宜しくお願いします。